

綾瀬市

こどもの生活状況調査に関するアンケート調査

(こども用)

(保護者用)

令和6年3月

綾 瀬 市

目次

調査結果	2
1 こども用	2
(1) 児童・生徒の属性	2
(2) 学校の授業や勉強、将来について	4
(3) 高校生の通学状況について	11
(4) 学校以外の普段の生活について	12
(5) 生活環境や考え方について	14
(6) 生活の困難さや支援について	23
2 保護者用	30
(1) 保護者の属性	30
(2) 保護者の就労状況について	36
(3) お子さんとの関わり方について	38
(4) (高校生以上)通学状況について	41
(5) 生活や暮らしの状況について	42
調査結果からみた綾瀬市こどもの生活状況の特性	67
(1) こどものアンケートから	67
(2) 保護者アンケートから	71

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども達やそのご家族の生活状況について把握し、綾瀬市の子ども施策に資することを目的に行うものです。

2 調査対象

綾瀬市の小学5年生・中学2年生・高校2年生相当のこどものいる全世帯 **2,151世帯**にご案内を送付しています。

3 調査期間

令和5年11月20日(月)から令和5年12月17日(日)まで

4 調査方法

「ご協力をお願い」を郵送による配布、インターネットによる Web 回収

5 回収状況

	配付数	有効回答数	有効回答率
保護者用	2,151	555(うちやさしい日本語 10 件)	25.8%
子ども用	2,432	344(うちやさしい日本語 9 件)	14.1%

※保護者用と子ども用と同一家庭にご案内はがきを送付

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・今回の Web 調査では、回答を必須に設定してあるものは、「無回答」がありません。「無回答」の項目がある設問は必須の設定がされていない設問です。

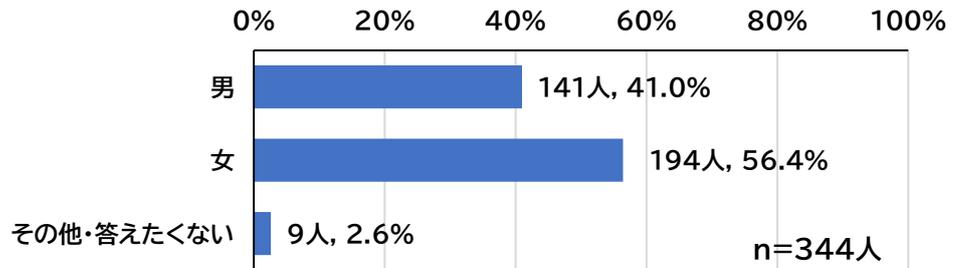
調査結果

1 こども用

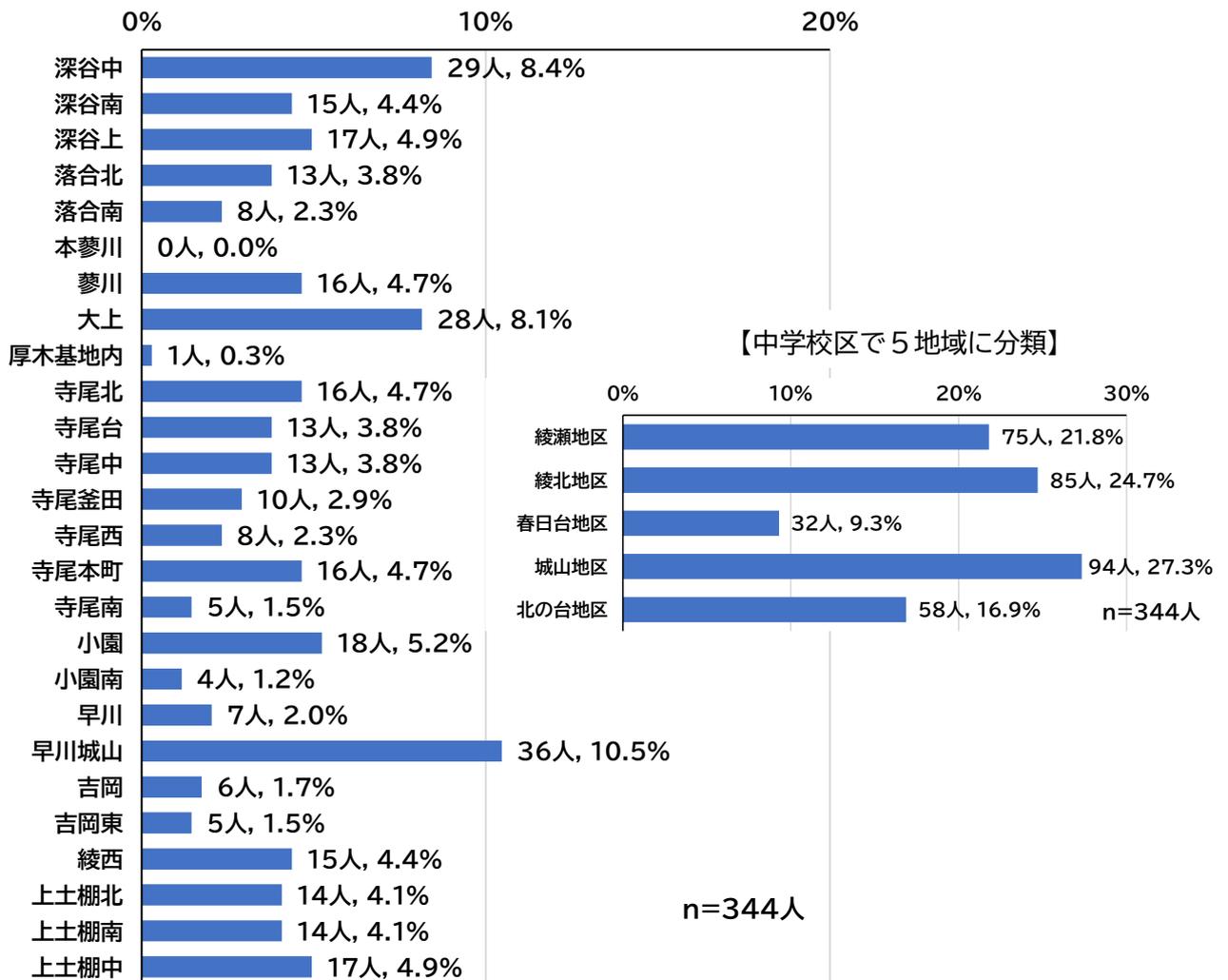
(1) 児童・生徒の属性

問1 あなたについて教えてください。

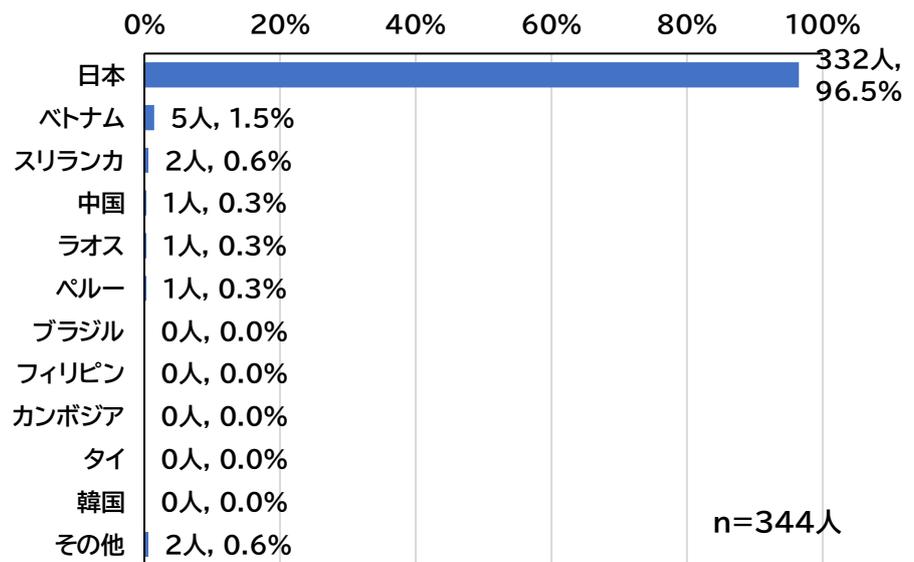
【性別】



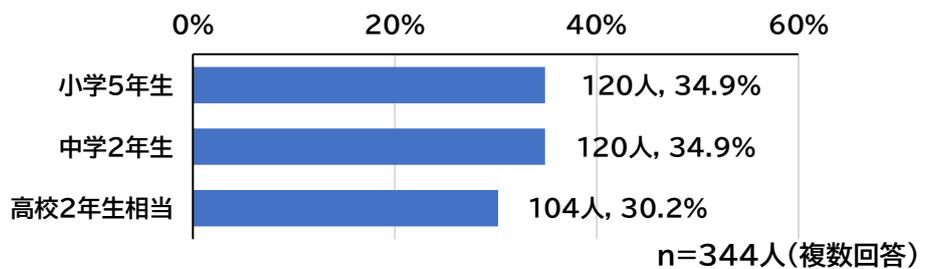
【お住まいの地区】



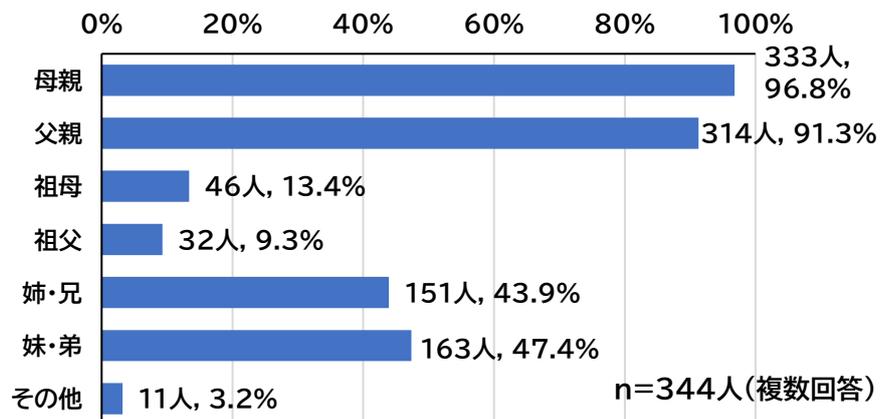
【国籍】



【学年】



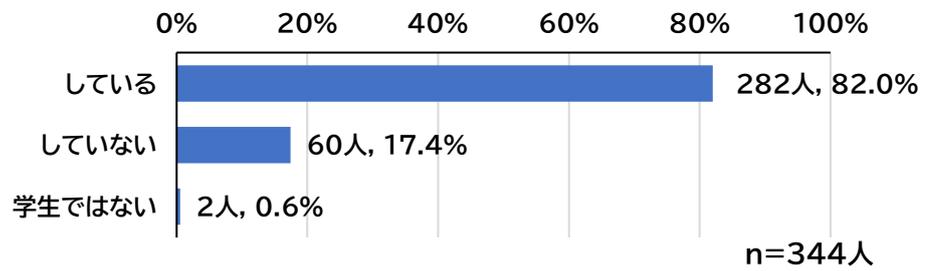
【同居の家族】



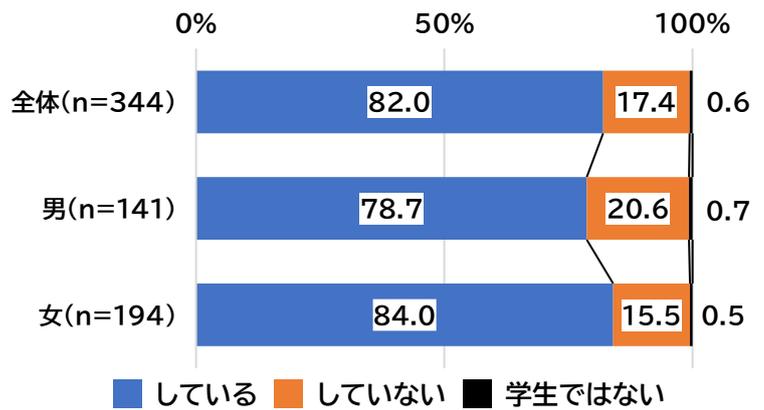
(2) 学校の授業や勉強、将来について

問2 あなたは、ふだんの学校の授業以外で、勉強をしていますか。

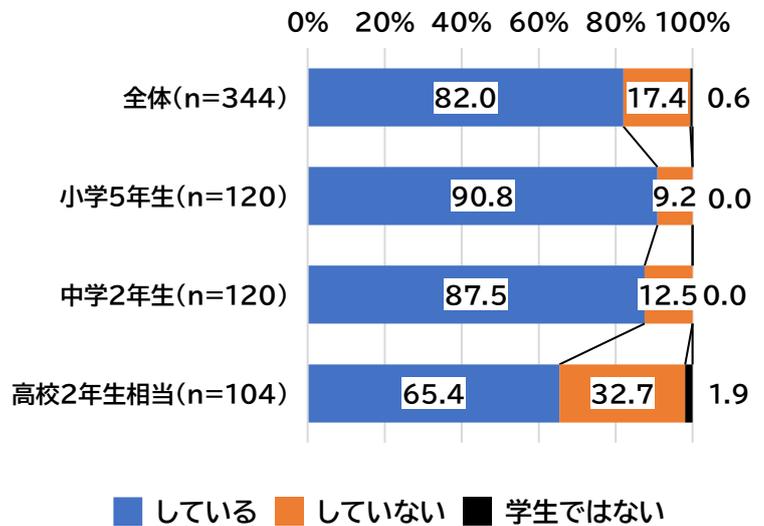
“している”8割



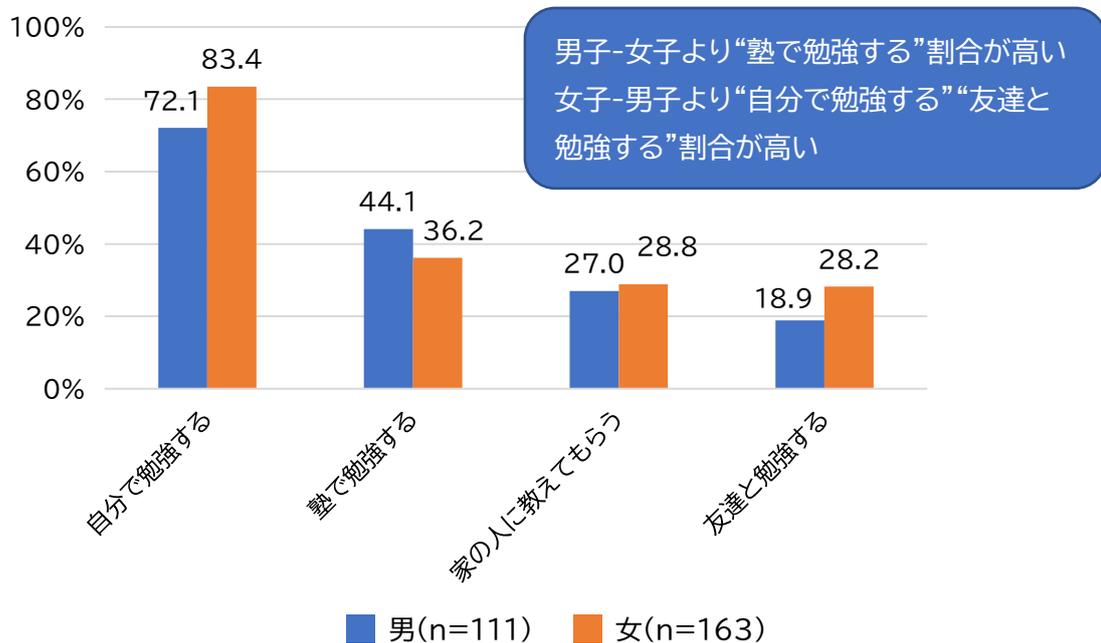
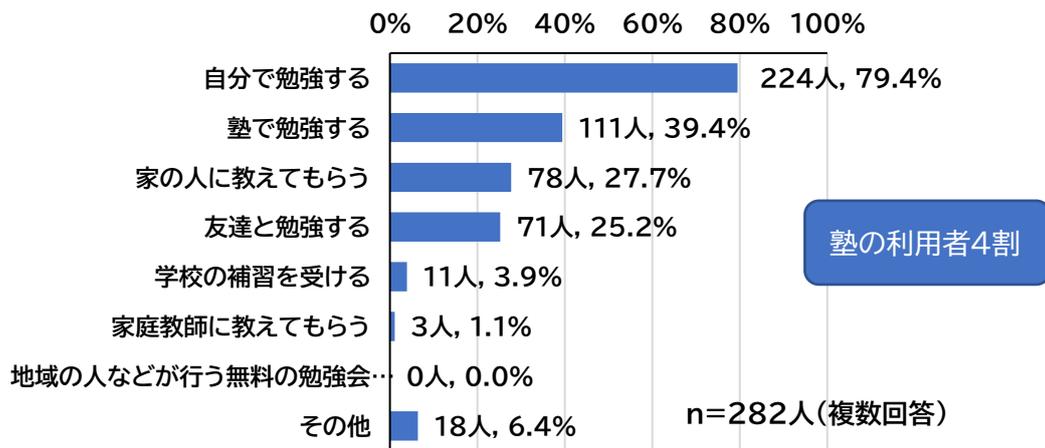
女子の方が男子より“している”割合が高い



年次が高くなるほど“している”割合は減少



【どのように勉強していますか】

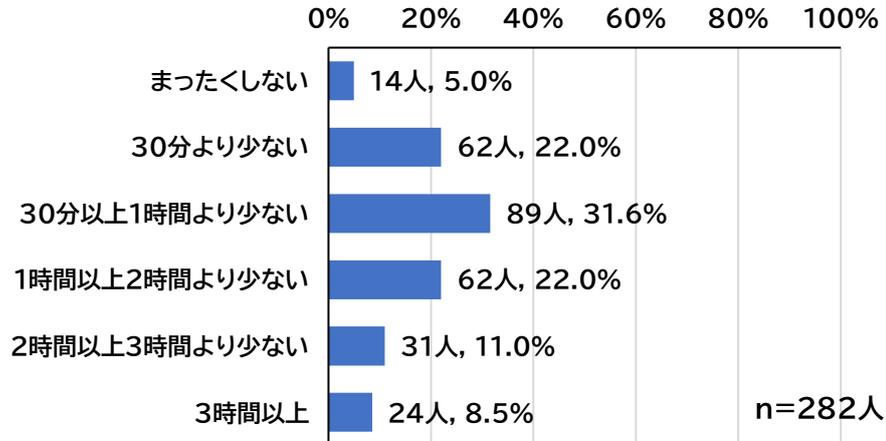


	合計	勉強方法								
		自分で勉強する	塾で勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	その他	無回答
全体(n=282)	282	79.4	39.4	3.9	1.1	0.0	27.7	25.2	6.4	0.0
性別										
男(n=111)	111	72.1	44.1	2.7	0.9	0.0	27.0	18.9	8.1	0.0
女(n=163)	163	83.4	36.2	4.3	1.2	0.0	28.8	28.2	5.5	0.0
学年										
小学5年生(n=109)	109	73.4	29.4	1.8	0.9	0.0	42.2	16.5	11.0	0.0
中学2年生(n=105)	105	77.1	55.2	3.8	1.0	0.0	22.9	27.6	4.8	0.0
高校2年生相当(n=68)	68	92.6	30.9	7.4	1.5	0.0	11.8	35.3	1.5	0.0

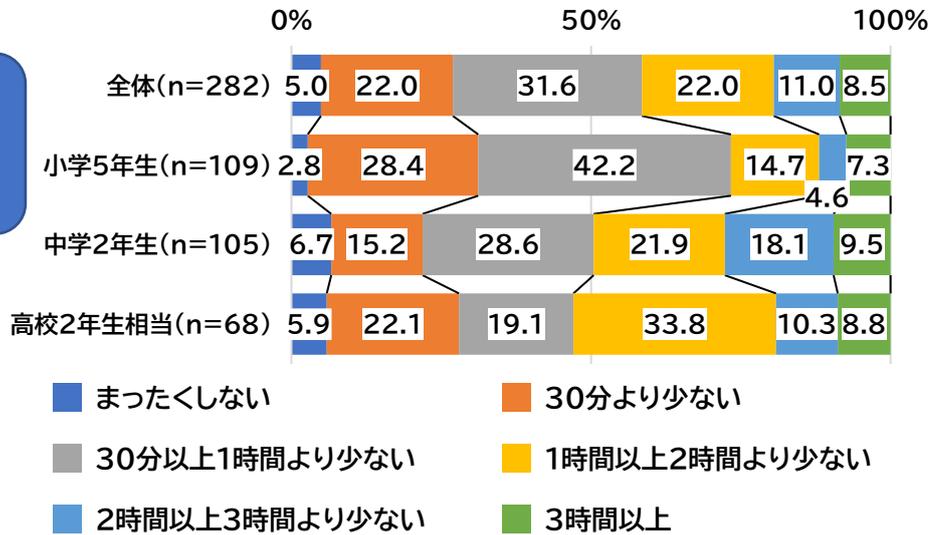
“自分で勉強する”以外では、
 小学生-“家の人に教えてもらう”
 中学生-“塾で勉強する”
 高校生-“友達と勉強する” 割合が高い

問3 あなたは、ふだんの学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしていますか。

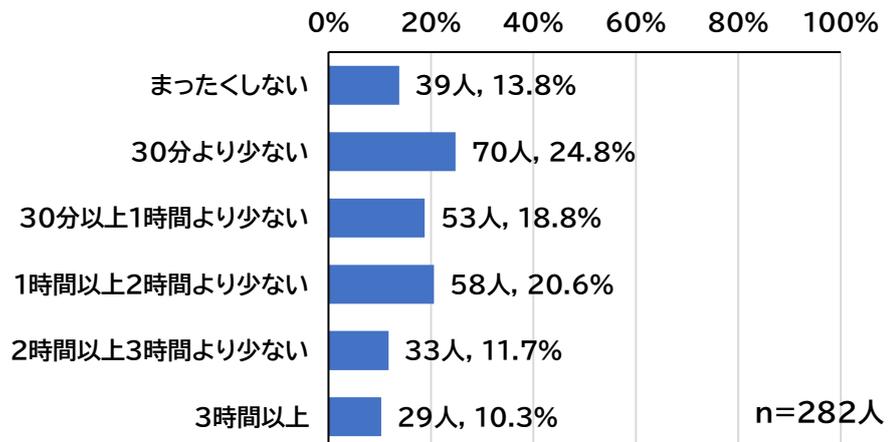
【学校がある日】



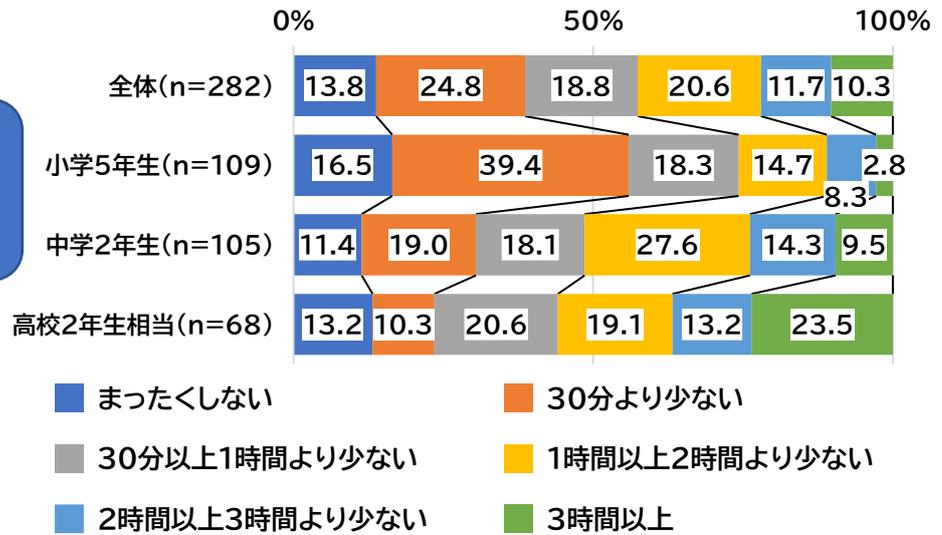
学年があがるほど学校の授業以外の1時間以上の勉強時間は長くなる傾向



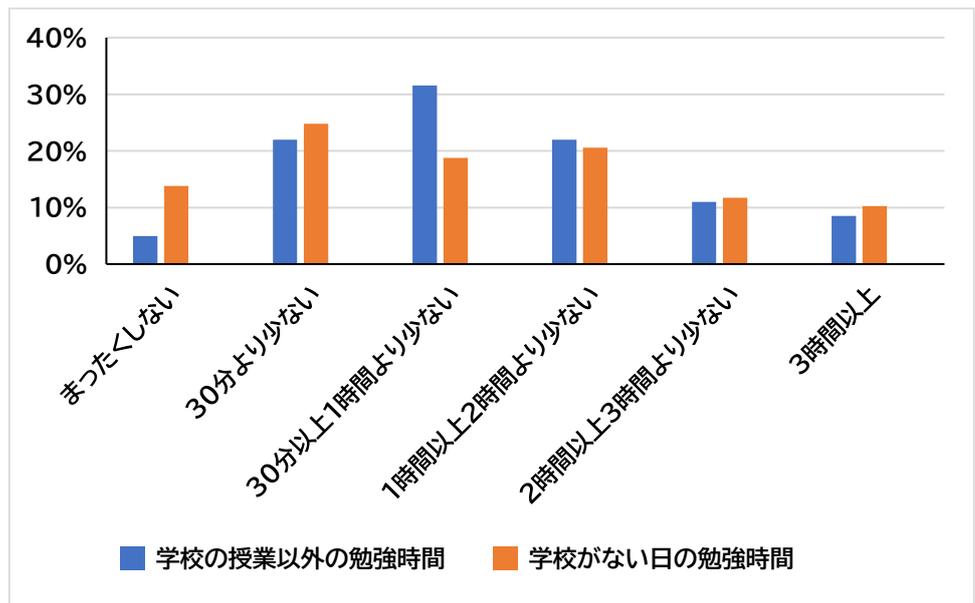
【学校がない日】



小学生は1時間以内が多いが、中学生以上になると1時間以上が多くなる

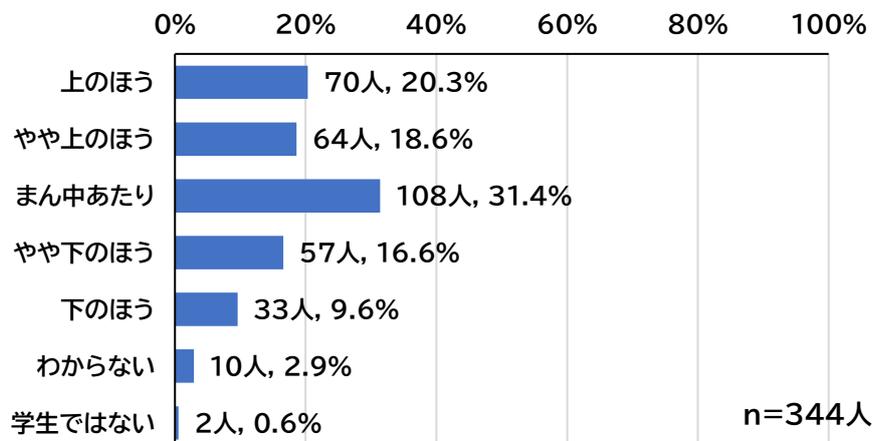


【学校がある日とない日の比較】



授業以外に1時間以上勉強する子どもは学校がない日も1時間以上勉強する

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

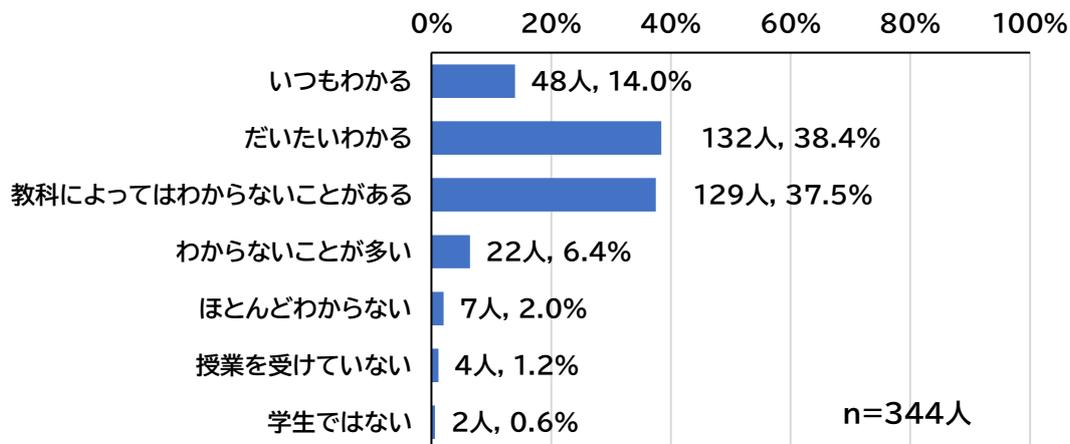


	合計	問4成績							
		上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない	学生ではない	無回答
全体	344	20.3	18.6	31.4	16.6	9.6	2.9	0.6	0.0
学校の授業以外の勉強時間	まったくくない	14	7.1	28.6	42.9	7.1	14.3	0.0	0.0
	30分より少ない	62	19.4	19.4	40.3	12.9	3.2	4.8	0.0
	30分以上1時間より少ない	89	27.0	14.6	37.1	16.9	3.4	1.1	0.0
	1時間以上2時間より少ない	62	22.6	19.4	25.8	21.0	11.3	0.0	0.0
	2時間以上3時間より少ない	31	25.8	32.3	22.6	9.7	6.5	3.2	0.0
	3時間以上	24	25.0	29.2	29.2	8.3	0.0	8.3	0.0

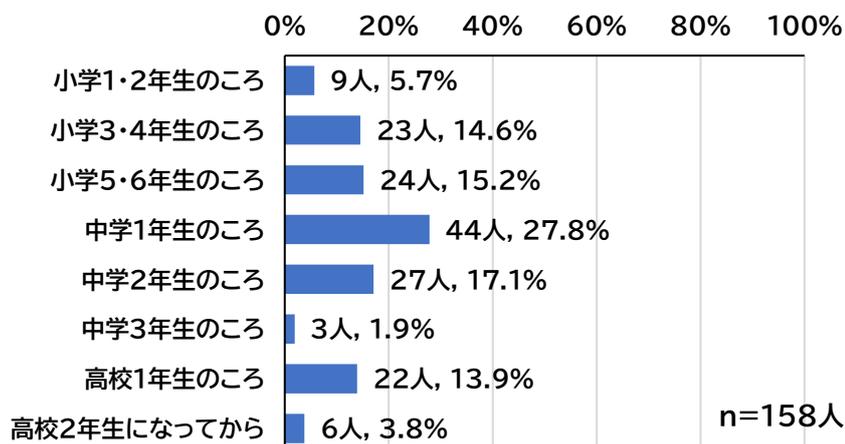
	合計	問4成績							
		上のほう	やや上のほう	まん中あたり	やや下のほう	下のほう	わからない	学生ではない	無回答
全体	344	20.3	18.6	31.4	16.6	9.6	2.9	0.6	0.0
学校がない日の勉強時間	まったくくない	39	15.4	15.4	30.8	25.6	10.3	2.6	0.0
	30分より少ない	70	18.6	21.4	34.3	17.1	5.7	2.9	0.0
	30分以上1時間より少ない	53	15.1	18.9	43.4	9.4	9.4	3.8	0.0
	1時間以上2時間より少ない	58	27.6	22.4	34.5	13.8	1.7	0.0	0.0
	2時間以上3時間より少ない	33	39.4	15.2	30.3	12.1	0.0	3.0	0.0
	3時間以上	29	31.0	31.0	17.2	10.3	6.9	3.4	0.0

学校の授業以外の勉強時間の長さは、成績にも影響している

問 5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

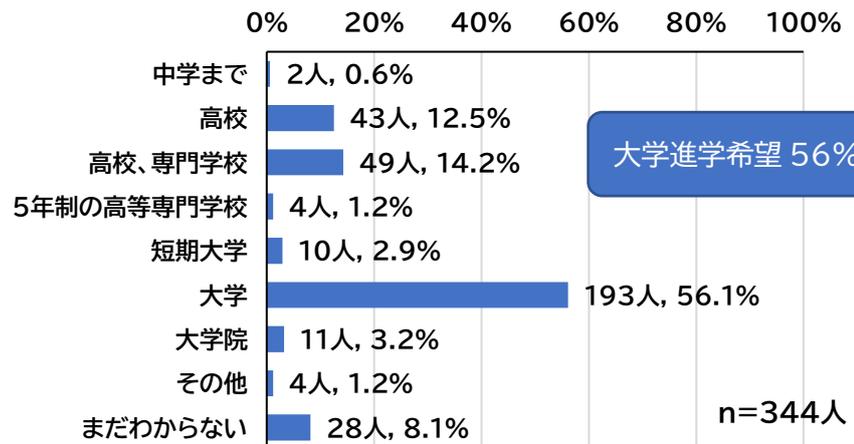


問 6「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した人、いつ頃から授業が分からなくなりましたか。

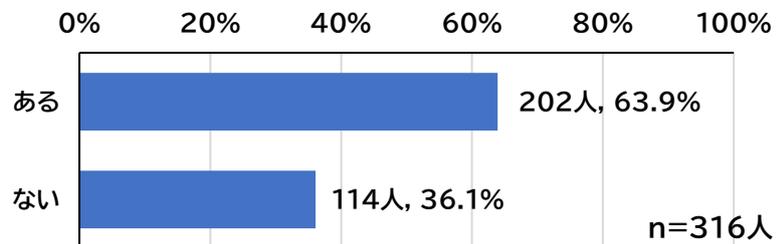


小学校から中学校に進んだ段階で
授業がわからなくなる割合が高い

問 7 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。

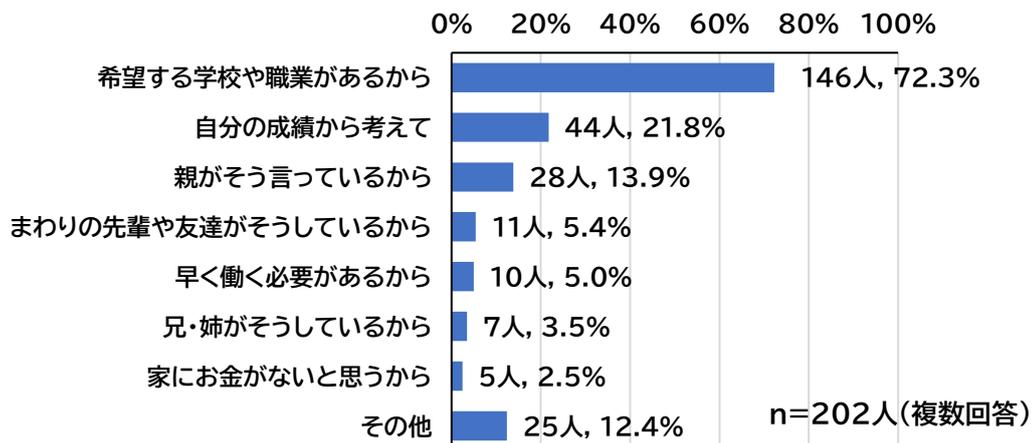


問 8 あなたは、希望の学校に行きたい理由がありますか。



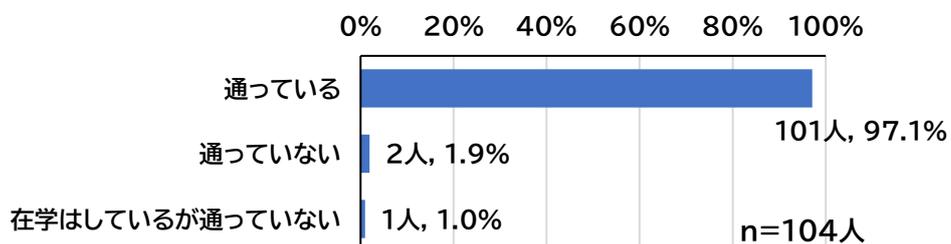
希望理由あり 6 割、うち 7 割が目的意識あり

【理由】

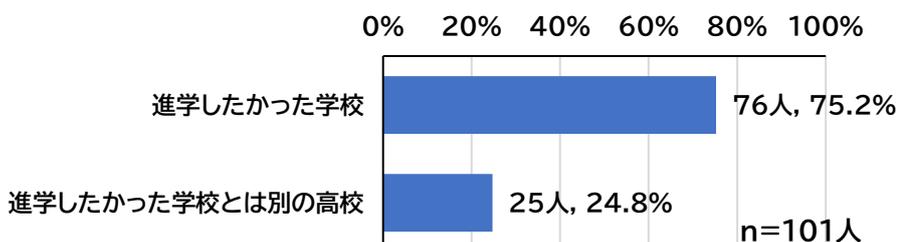


(3) 高校生の通学状況について

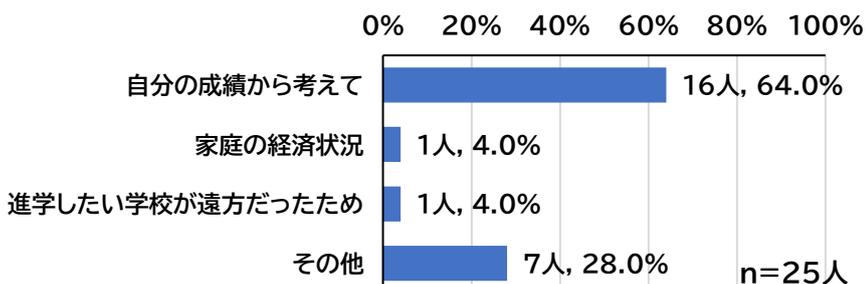
問 9 高校生世代の方のみ、現在、高校に通っていますか。



問 10 高校に通っている人、現在の学校は自分が進学したかった学校ですか。

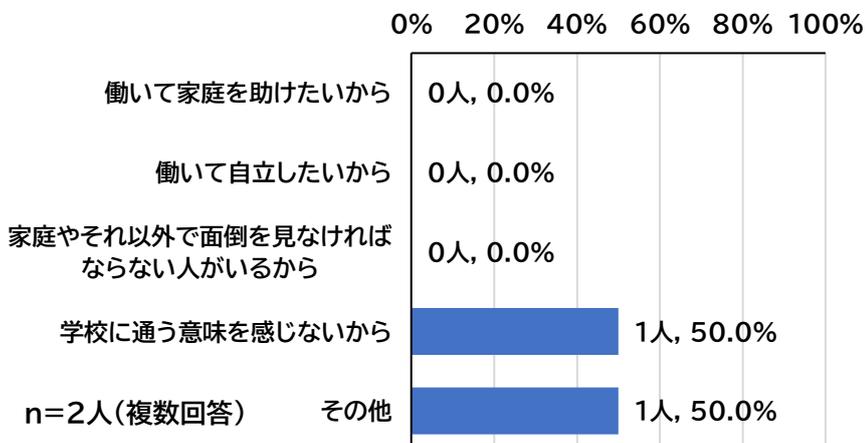


【理由】



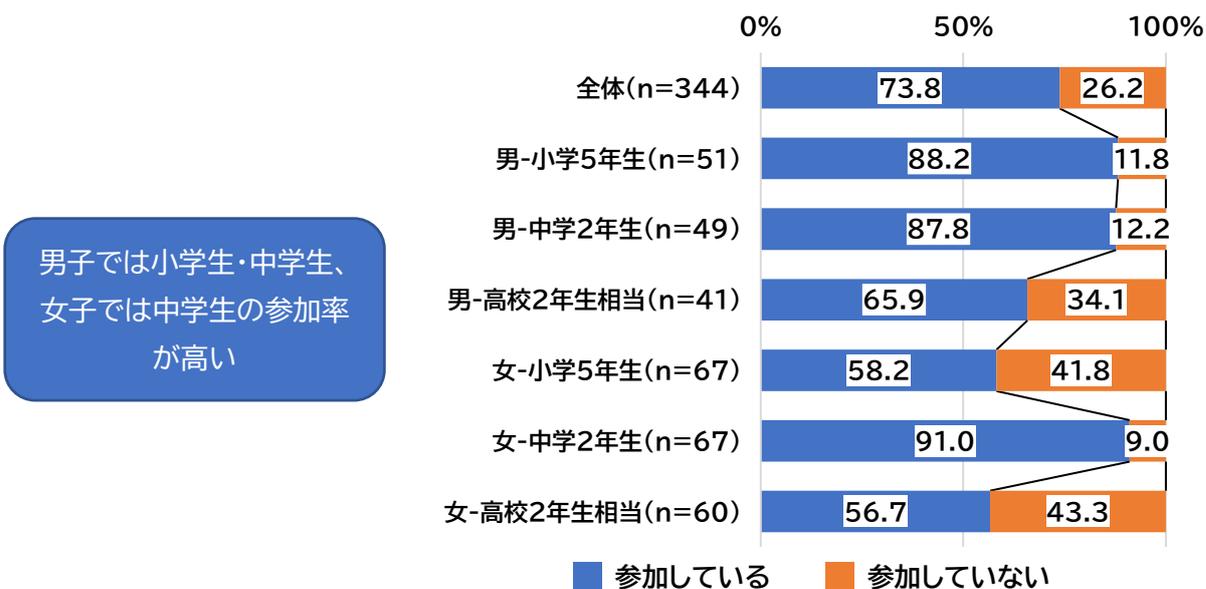
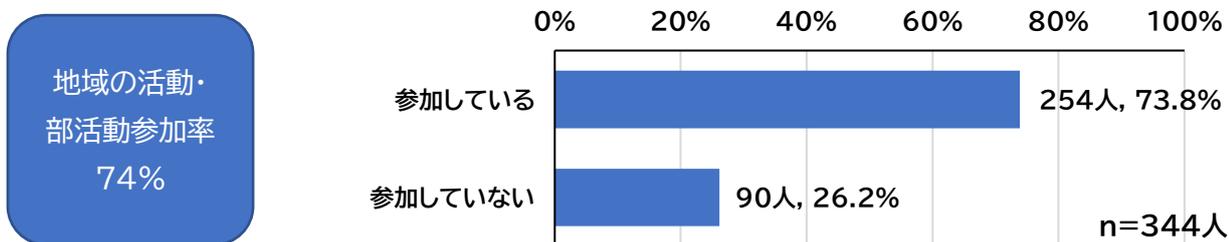
「家庭の経済状況」で高校に行けてないの回答は4%であるが、「自分の成績から考えて」の回答の中にも経済的な影響の可能性はある

問 11 高校に通っていない理由



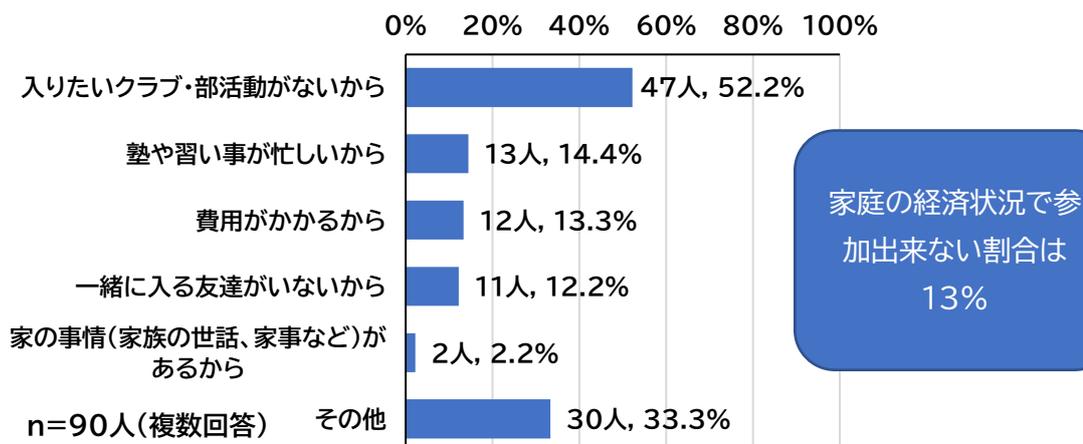
(4) 学校以外の普段の生活について

問 12 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

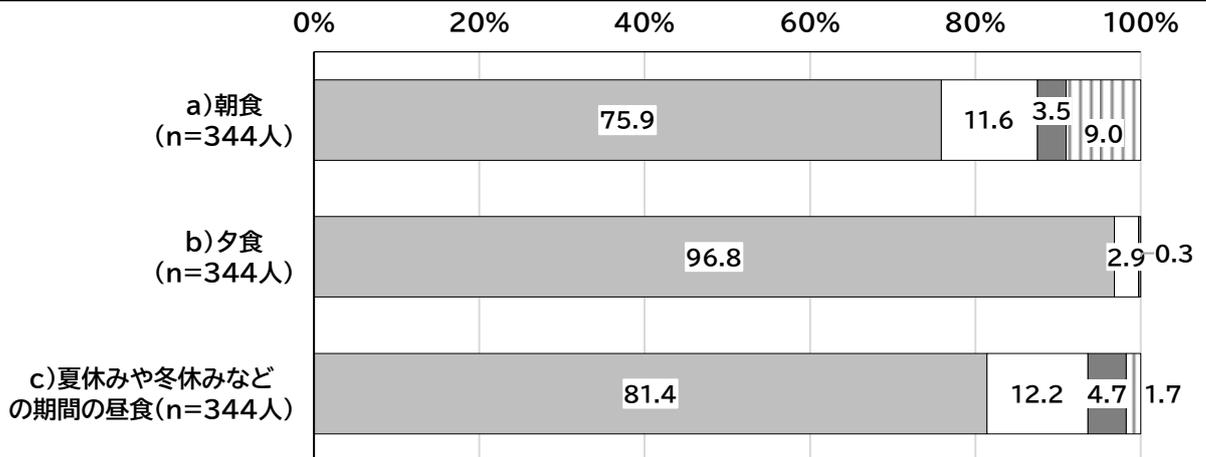


問 13 参加していない理由は何ですか。

【参加していない理由】



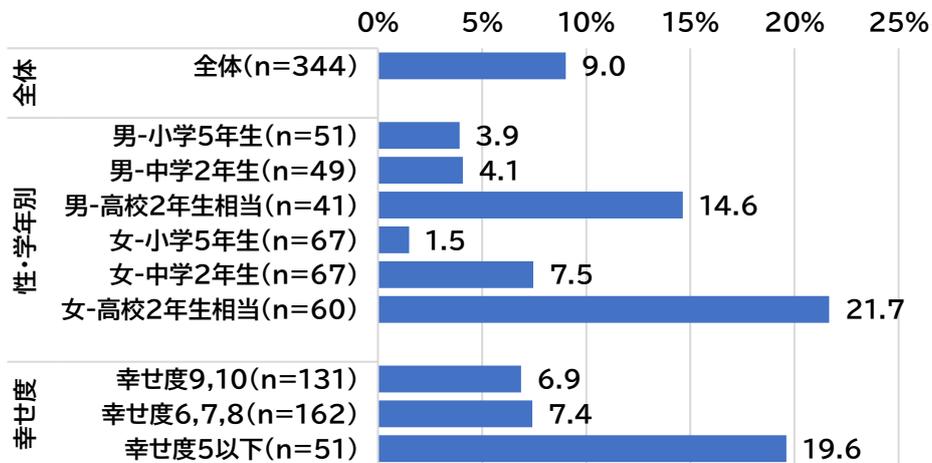
問14 週にどのくらい、食事をしていますか。



■ 毎日食べる(週7日) □ 週5~6日 ■ 週3~4日 ▨ 週1~2日、ほとんど食べない

朝食を取らない子が1割いる

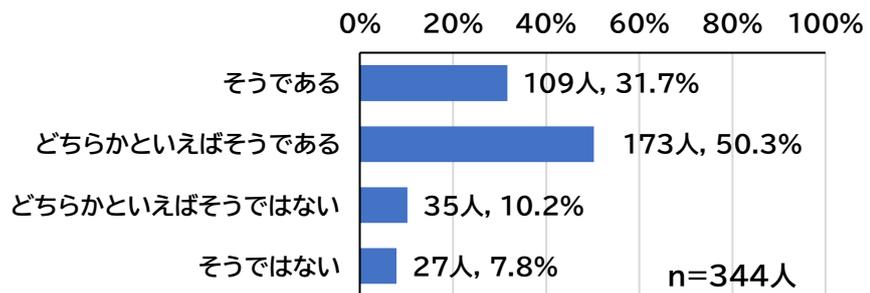
朝食 週1~2日、ほとんど食べない



高校生の女子で朝食を取らない割合が高い
幸せ度が低い人で朝食を取らない割合が高い

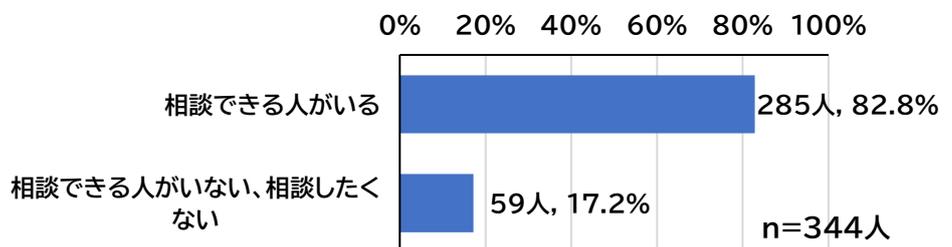
問15ふだん同じ時間に寝ていますか。

概ね8割は定時に寝ている



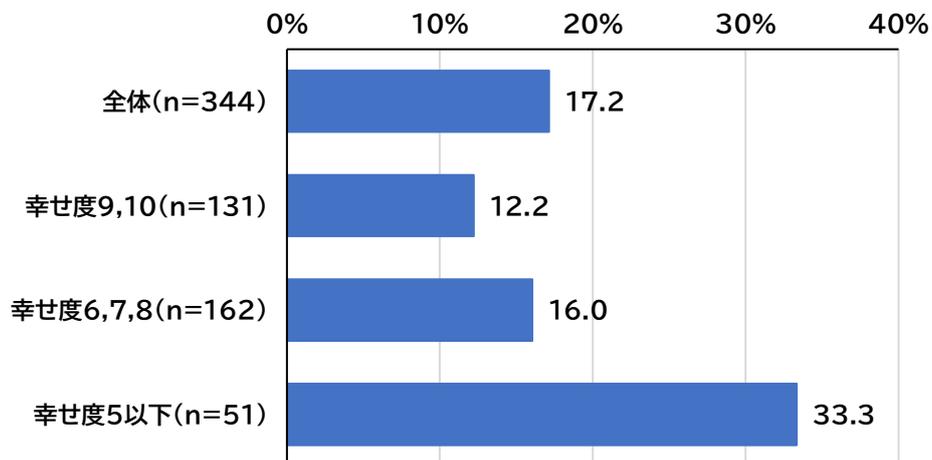
(5) 生活環境や考え方について

問16困っていることや悩みごとを相談できる人はいますか。



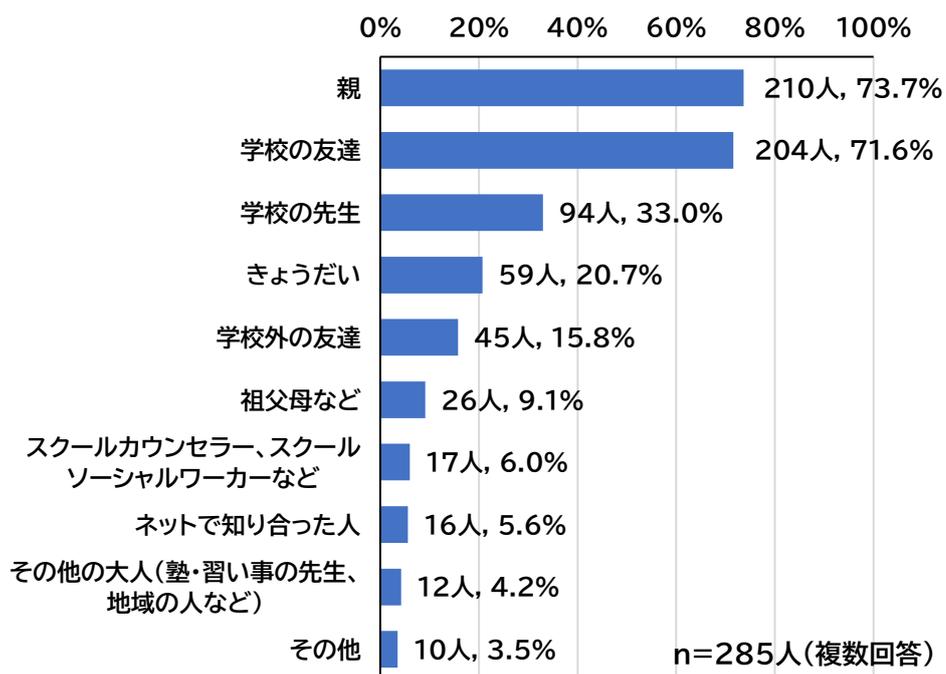
相談できる人がいない、相談したくない 17%

相談できる人がいない、相談したくない



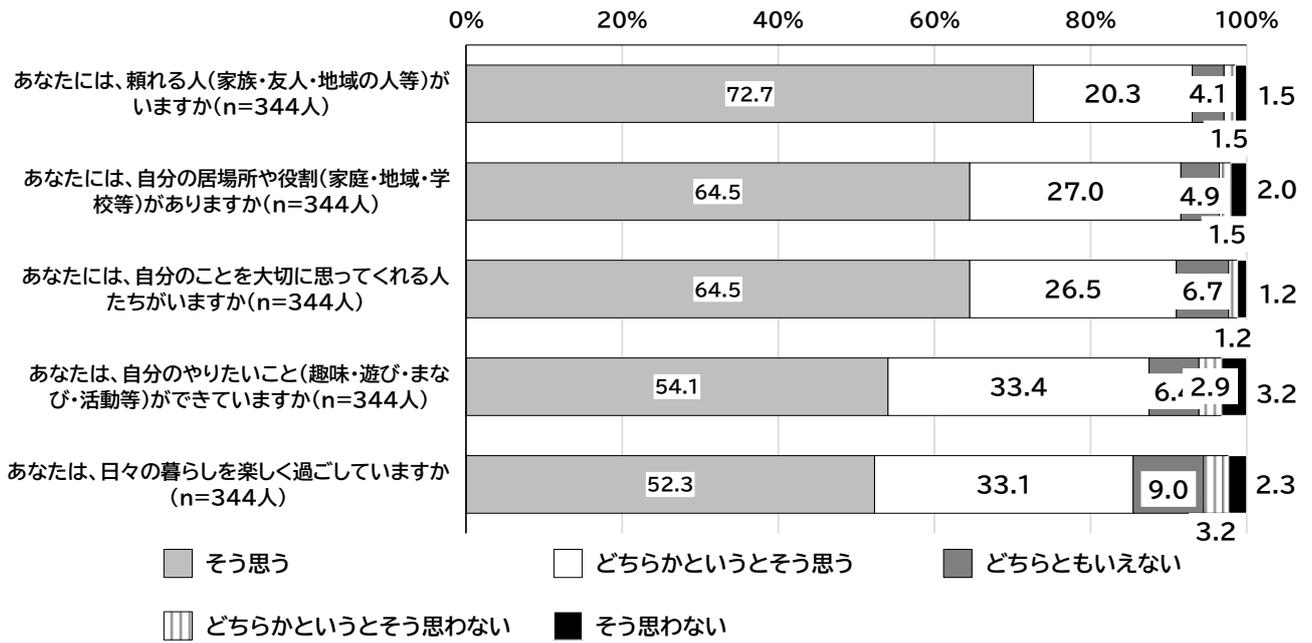
幸せ度の低い人は、相談できる人がいない、相談したくない割合が高い

【相談できる人】



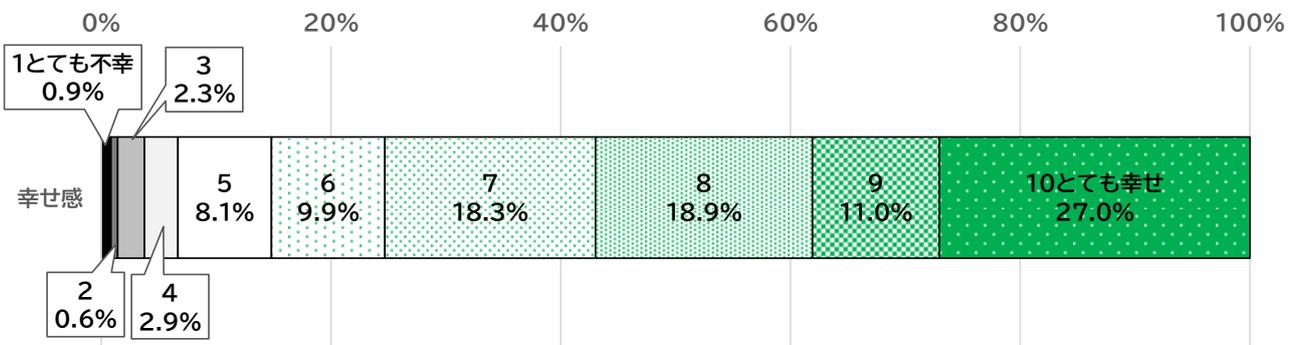
相談できる人は、「親」と「学校の友達」がそれぞれ7割

問 17 あなたの生活の充実度について教えてください。



とくに「頼れる人がいる」、「大切に思ってくれる人がいる」、「居場所がある」の対人関係面での生活の充実度はかなり高い

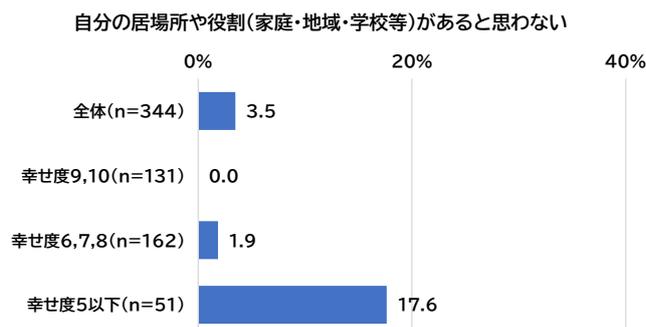
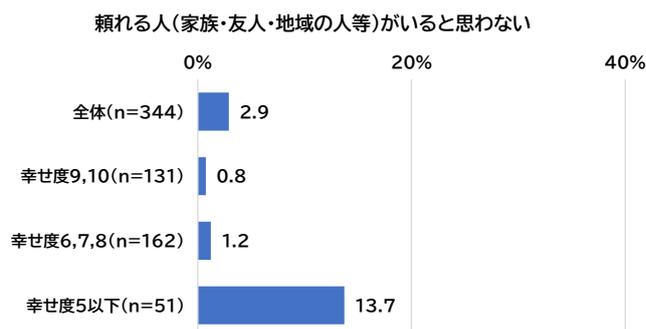
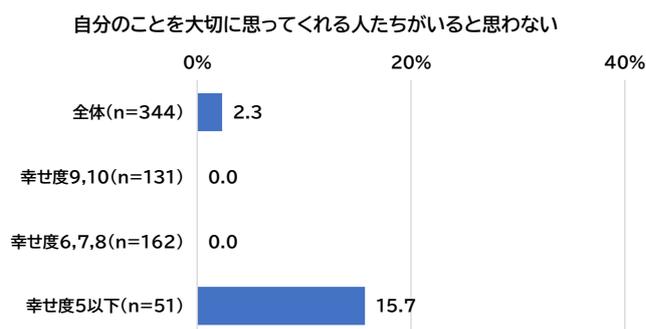
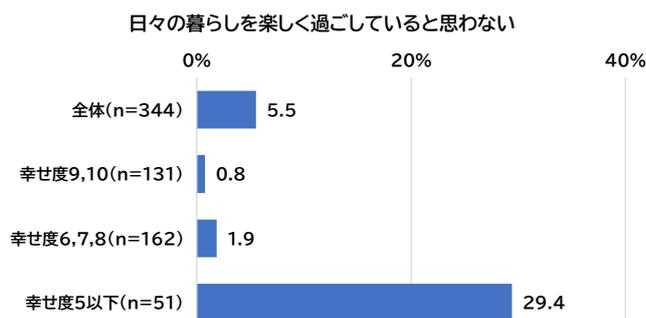
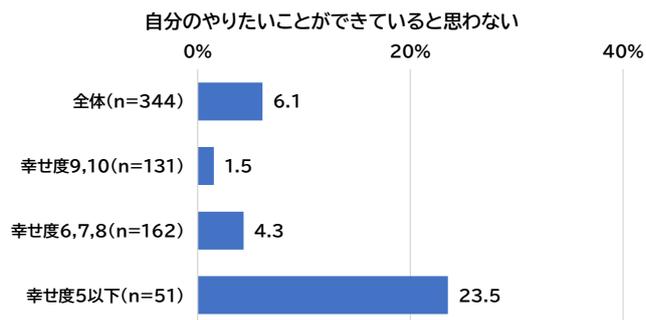
問 18 あなたは、現在どの程度幸せだと感じていますか。



「とても幸せ」27.0%
 幸せ度7以上 75.2%
 幸せ度4以下 6.7%

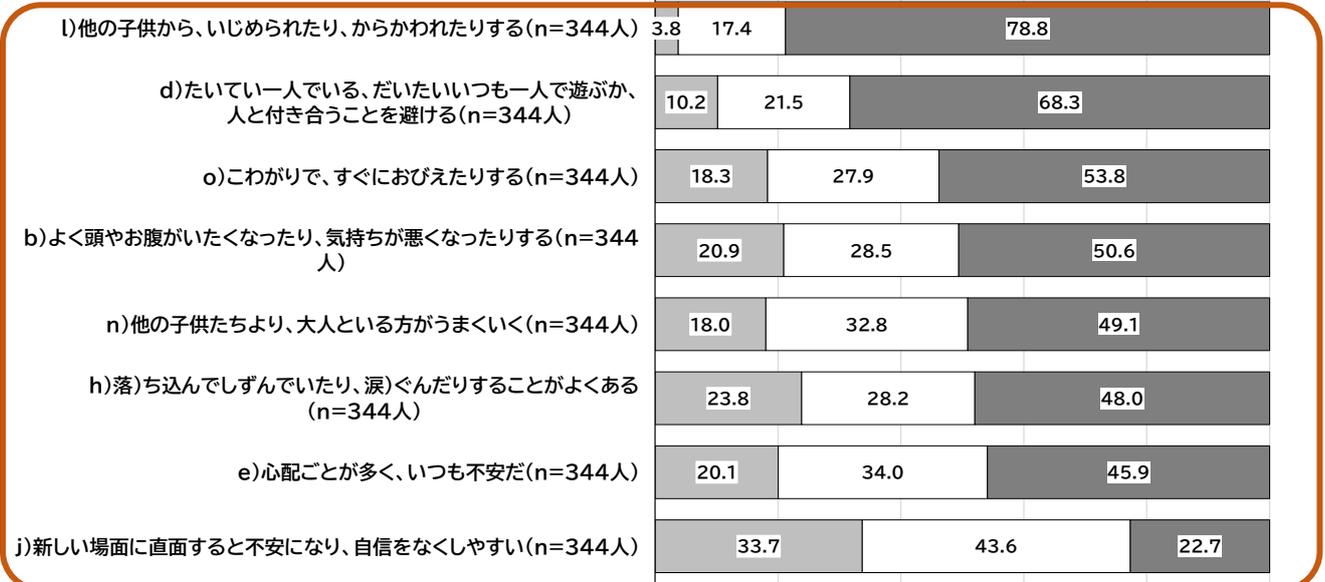
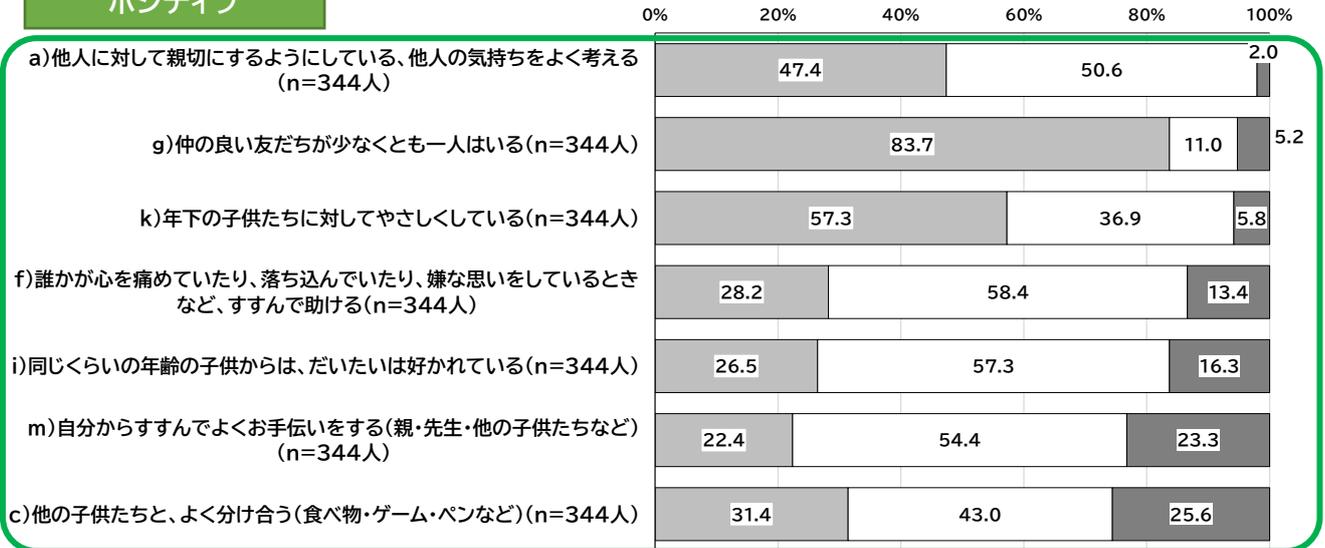
幸せ度と生活の充実度

幸せ度の低い人(幸せ度5以下)では生活の充実度のいずれの項目でも“そう思わない”の割合が高く、とくに、「日々の暮らしを楽しく過ごしていると思わない」(29.4%)、「自分のやりたいことができていると思わない」(23.5%)の割合が高い



問 19 あなたの考えに当てはまるものを選択してください。

ポジティブ



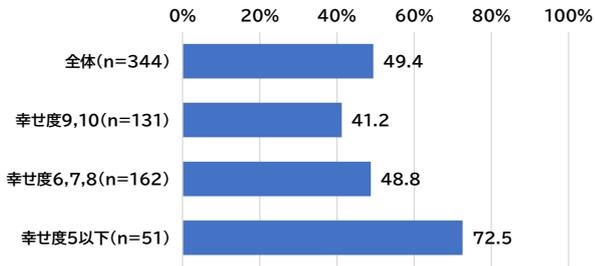
ネガティブ

■ あてはまる □ まああてはまる ■ あてはまらない

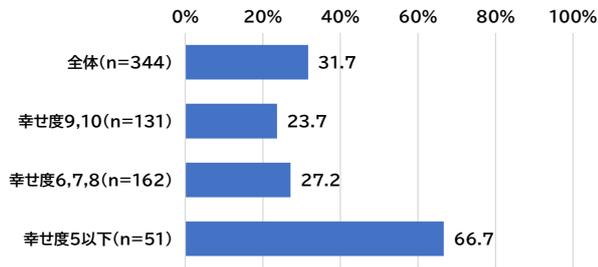
思いやり、やさしさ、助け合い、手伝いなどの“人との関係性”は良好
不安、心配、落ち込む、人を避けるなど“個人の精神面”はやや問題あり

ネガティブな指標

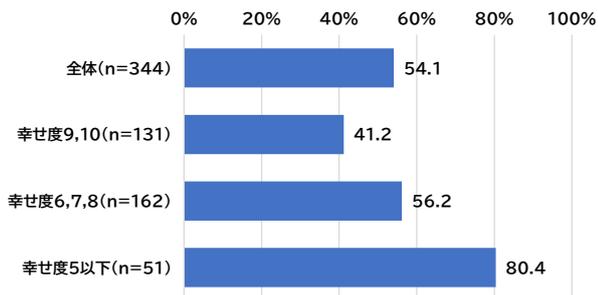
よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする



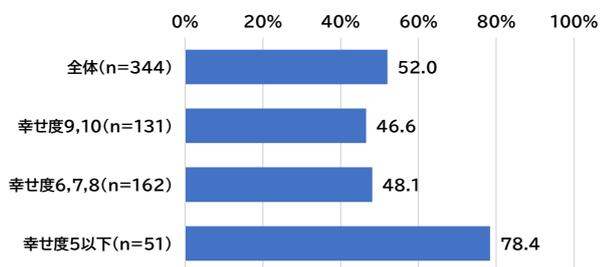
たいてい一人でいる、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける



心配ごとが多く、いつも不安だ

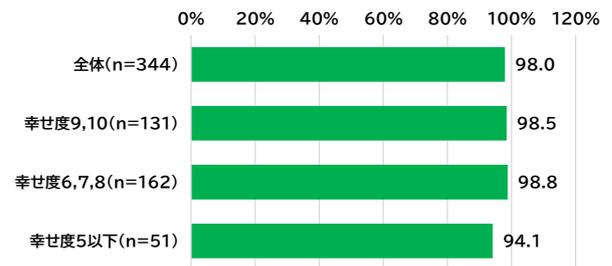


落ち込んでずんできていたり、涙ぐんだりすることがよくある

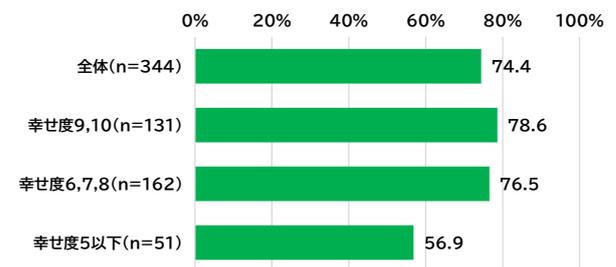


ポジティブな指標

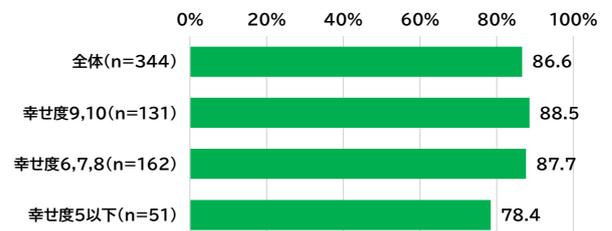
他人に対して親切にするようにしている、他人の気持ちをよく考える



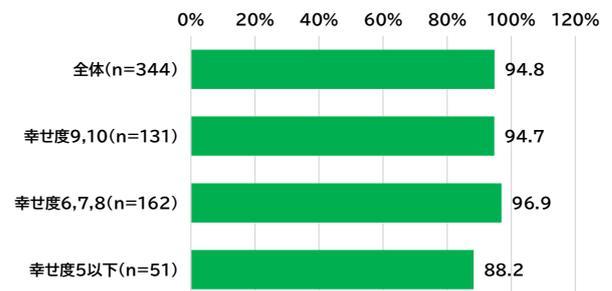
他の子供たちと、よく分け合う(食べ物・ゲーム・ペンなど)



誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける

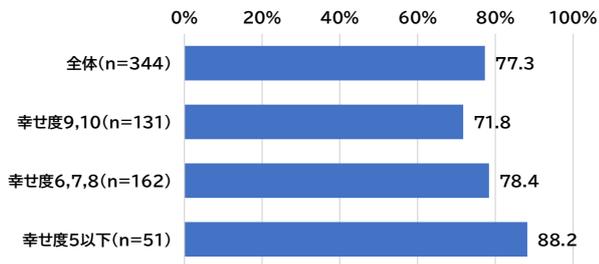


仲の良い友だちが少なくとも一人はいる

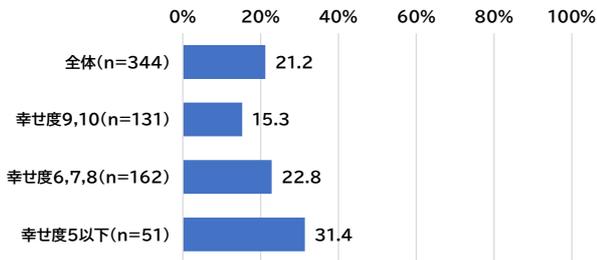


ネガティブな指標

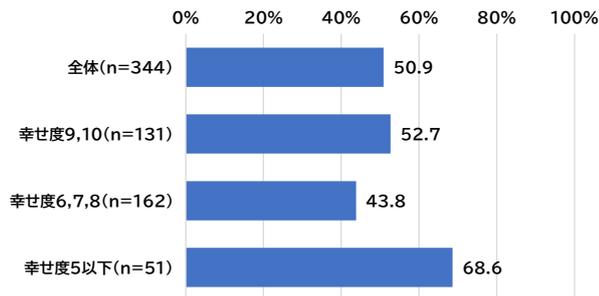
新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい



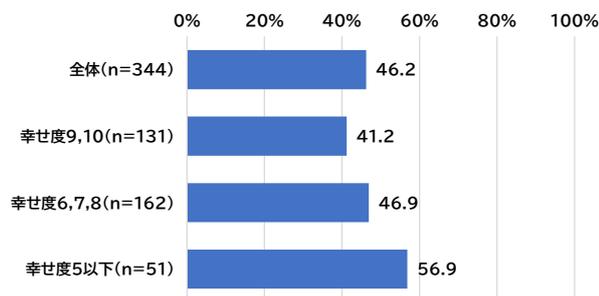
他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする



他の子供たちより、大人という方がうまくいく

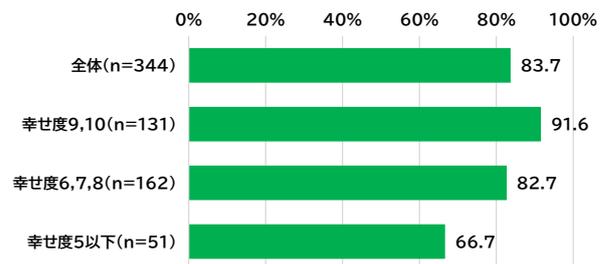


こわがりで、すぐにおびえたりする

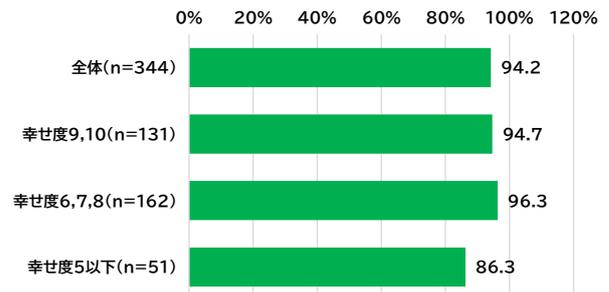


ポジティブな指標

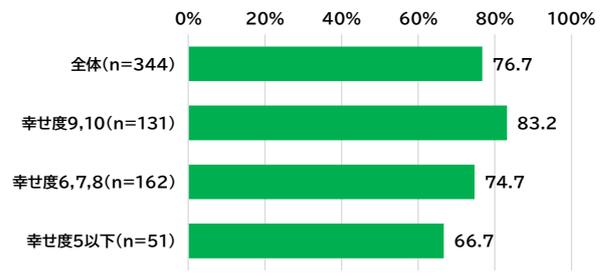
同じくらいの子供からは、だいたい好かれている



年下の子供たちに対してやさしくしている

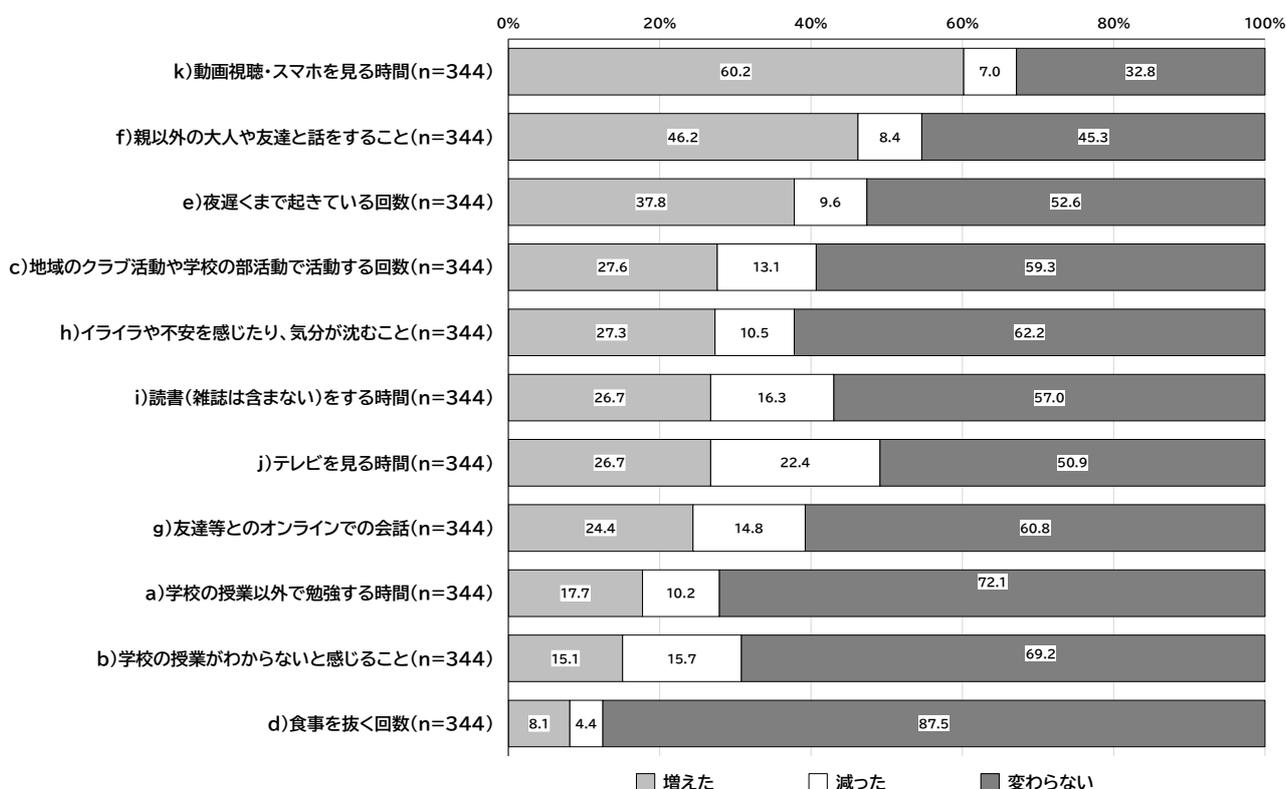


自分からすすんでよくお手伝いをする(親・先生・他の子供たちなど)



幸せ度別にみて、
ポジティブな指標では大きな差はないが、
ネガティブな指標では幸せ度の低い層の
割合が高い傾向にある

問 20 新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた現在のあなたの生活は、昨年(2022年7月頃)と比べて、どのように変わったと思いますか。



上位3項目

「増えた」

- k) 動画視聴・スマホを見る時間
- f) 親以外の大人や友達と話をすること
- e) 夜遅くまで起きている回数

「減った」

- j) テレビを見る時間
- i) 読書(雑誌は含まない)をする時間
- b) 学校の授業がわからないと感じること

「変わらない」

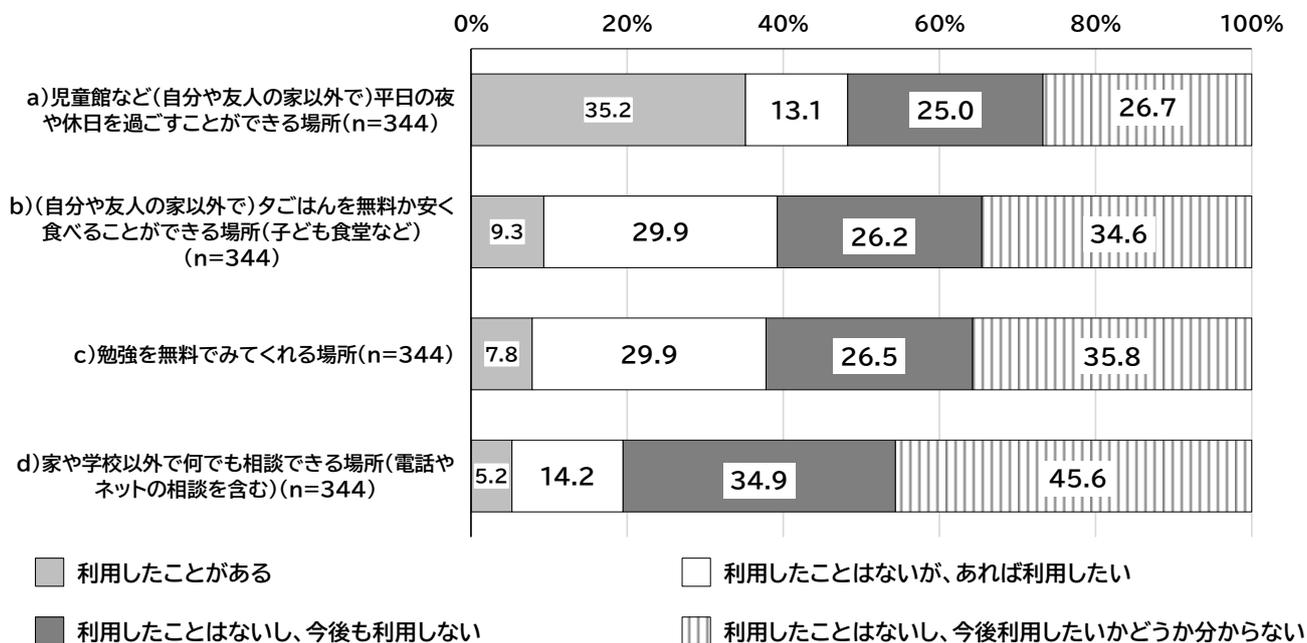
- d) 食事を抜く回数
- a) 学校の授業以外で勉強する時間
- b) 学校の授業がわからないと感じること

		問20新型コロナウイルス感染拡大後の変化f)親以外の大人や友達と話をすること					問20新型コロナウイルス感染拡大後の変化j)テレビを見る時間		
		増えた	減った	変わらない			増えた	減った	変わらない
全体(n=344)		46.2	8.4	45.3	全体(n=344)		26.7	22.4	50.9
性別	男(n=141)	48.9	7.1	44.0	性別	男(n=141)	26.2	20.6	53.2
	女(n=194)	44.3	9.8	45.9		女(n=194)	27.8	23.2	49.0
学年	小学5年生(n=120)	55.0	7.5	37.5	学年	小学5年生(n=120)	40.8	11.7	47.5
	中学2年生(n=120)	36.7	6.7	56.7		中学2年生(n=120)	25.8	20.8	53.3
	高校2年生相当(n=104)	47.1	11.5	41.3		高校2年生相当(n=104)	11.5	36.5	51.9
性・学年別	男-小学5年生(n=51)	72.5	3.9	23.5	性・学年別	男-小学5年生(n=51)	45.1	7.8	47.1
	男-中学2年生(n=49)	28.6	6.1	65.3		男-中学2年生(n=49)	22.4	16.3	61.2
	男-高校2年生相当(n=41)	43.9	12.2	43.9		男-高校2年生相当(n=41)	7.3	41.5	51.2
	女-小学5年生(n=67)	41.8	10.4	47.8		女-小学5年生(n=67)	38.8	14.9	46.3
	女-中学2年生(n=67)	41.8	7.5	50.7		女-中学2年生(n=67)	28.4	23.9	47.8
	女-高校2年生相当(n=60)	50.0	11.7	38.3		女-高校2年生相当(n=60)	15.0	31.7	53.3
地区	綾瀬地区(n=75)	53.3	12.0	34.7	地区	綾瀬地区(n=75)	18.7	26.7	54.7
	綾北地区(n=85)	42.4	9.4	48.2		綾北地区(n=85)	31.8	20.0	48.2
	春日台地区(n=32)	43.8	3.1	53.1		春日台地区(n=32)	28.1	18.8	53.1
	城山地区(n=94)	51.1	7.4	41.5		城山地区(n=94)	27.7	24.5	47.9
	北の台地区(n=58)	36.2	6.9	56.9		北の台地区(n=58)	27.6	19.0	53.4
幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	48.1	6.9	45.0	幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	29.8	16.0	54.2
	幸せ度6,7,8(n=162)	47.5	7.4	45.1		幸せ度6,7,8(n=162)	26.5	23.5	50.0
	幸せ度5以下(n=51)	37.3	15.7	47.1		幸せ度5以下(n=51)	19.6	35.3	45.1

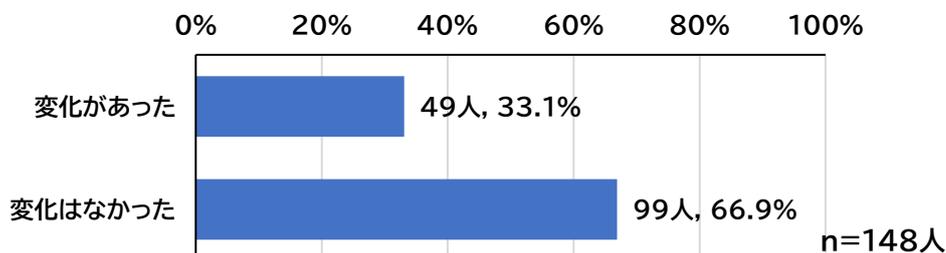
		問20新型コロナウイルス感染拡大後の変化h)イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと					問20新型コロナウイルス感染拡大後の変化k)動画視聴・スマホを見る時間		
		増えた	減った	変わらない			増えた	減った	変わらない
全体(n=344)		27.3	10.5	62.2	全体(n=344)		60.2	7.0	32.8
性別	男(n=141)	19.9	13.5	66.7	性別	男(n=141)	62.4	5.7	31.9
	女(n=194)	32.5	8.8	58.8		女(n=194)	58.2	8.2	33.5
学年	小学5年生(n=120)	22.5	15.8	61.7	学年	小学5年生(n=120)	60.8	5.8	33.3
	中学2年生(n=120)	24.2	5.0	70.8		中学2年生(n=120)	60.8	5.0	34.2
	高校2年生相当(n=104)	36.5	10.6	52.9		高校2年生相当(n=104)	58.7	10.6	30.8
性・学年別	男-小学5年生(n=51)	19.6	15.7	64.7	性・学年別	男-小学5年生(n=51)	68.6	0.0	31.4
	男-中学2年生(n=49)	16.3	6.1	77.6		男-中学2年生(n=49)	59.2	4.1	36.7
	男-高校2年生相当(n=41)	24.4	19.5	56.1		男-高校2年生相当(n=41)	58.5	14.6	26.8
	女-小学5年生(n=67)	25.4	16.4	58.2		女-小学5年生(n=67)	55.2	10.4	34.3
	女-中学2年生(n=67)	28.4	4.5	67.2		女-中学2年生(n=67)	61.2	6.0	32.8
	女-高校2年生相当(n=60)	45.0	5.0	50.0		女-高校2年生相当(n=60)	58.3	8.3	33.3
地区	綾瀬地区(n=75)	29.3	12.0	58.7	地区	綾瀬地区(n=75)	56.0	10.7	33.3
	綾北地区(n=85)	24.7	12.9	62.4		綾北地区(n=85)	69.4	3.5	27.1
	春日台地区(n=32)	18.8	9.4	71.9		春日台地区(n=32)	50.0	6.3	43.8
	城山地区(n=94)	30.9	7.4	61.7		城山地区(n=94)	62.8	7.4	29.8
	北の台地区(n=58)	27.6	10.3	62.1		北の台地区(n=58)	53.4	6.9	39.7
幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	19.1	14.5	66.4	幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	53.4	6.1	40.5
	幸せ度6,7,8(n=162)	22.8	9.9	67.3		幸せ度6,7,8(n=162)	64.2	9.3	26.5
	幸せ度5以下(n=51)	62.7	2.0	35.3		幸せ度5以下(n=51)	64.7	2.0	33.3

(6) 生活の困難さや支援について

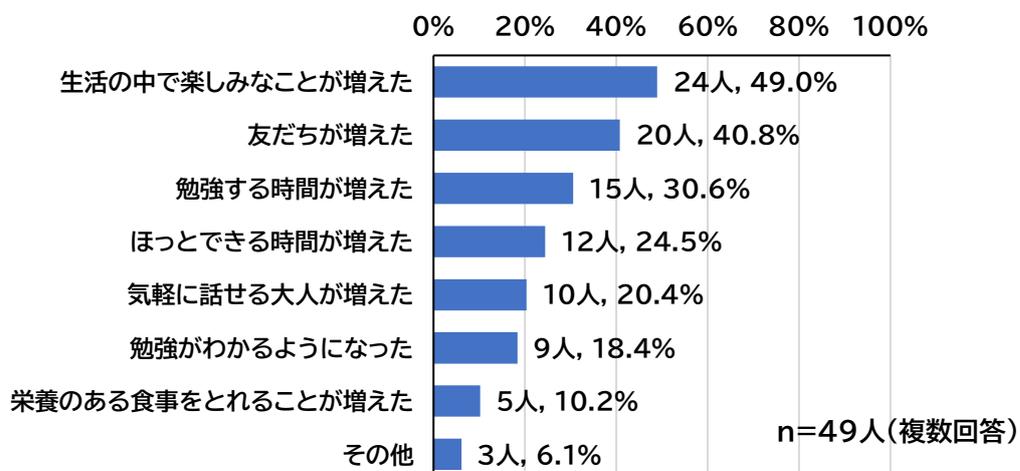
問 21 あなたは次の場所を利用したことがありますか、利用した事がない場合、今後利用したいと思いますか。



問 22 問 21 で 1 つでも利用したことがある人、利用したことで変化がありましたか。



【変化した内容】

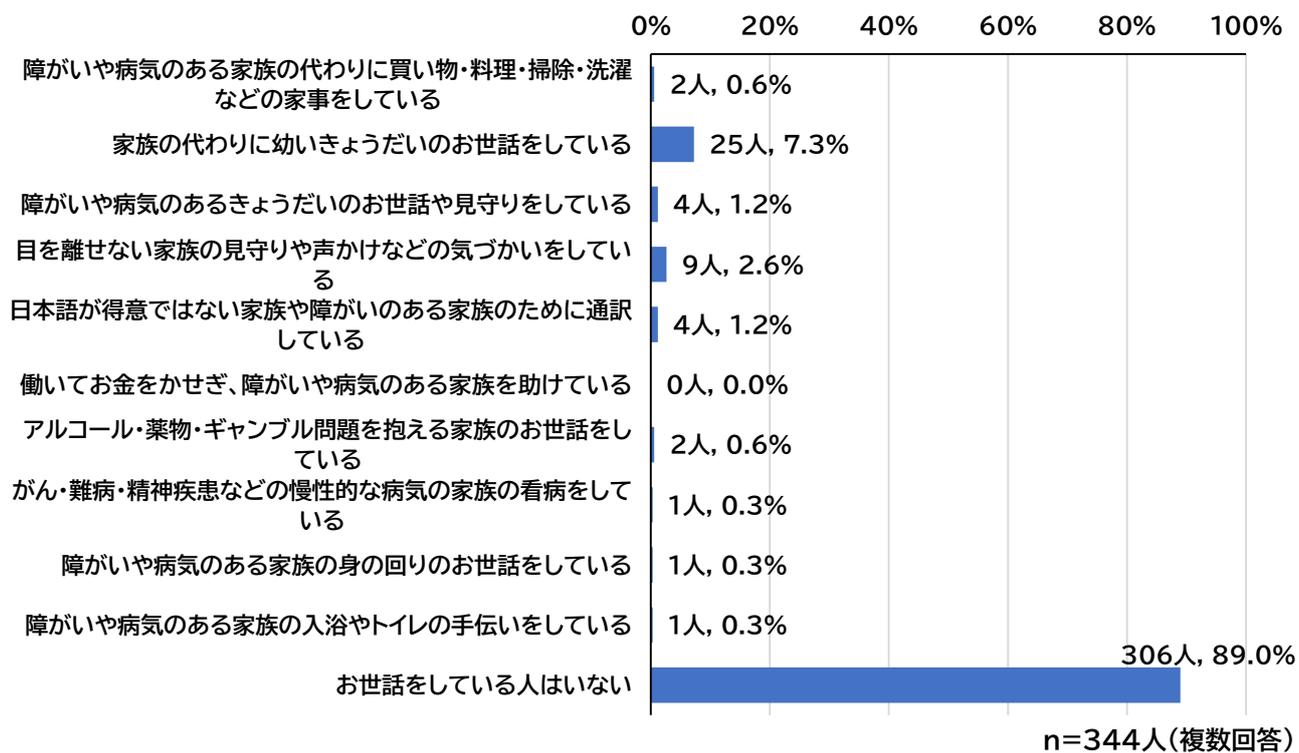


施設の利用実績・利用意向 いずれも半数以下(児童館が最も高い)
 利用による変化の認識 3割
 変化の内容 楽しみが増えた 5割

		問21利用経験・利用意向a)児童館など(自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所						問21利用経験・利用意向b)(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)			
		利用したことがある	利用したことはないが、あれば利用したい	利用したことはないし、今後も利用しない	利用したことはないし、今後利用したいかどうか分からない			利用したことがある	利用したことはないが、あれば利用したい	利用したことはないし、今後も利用しない	利用したことはないし、今後利用したいかどうか分からない
	全体(n=344)	35.2	13.1	25.0	26.7		全体(n=344)	9.3	29.9	26.2	34.6
性別	男(n=141)	34.0	14.9	24.1	27.0	性別	男(n=141)	7.8	39.0	28.4	24.8
	女(n=194)	37.6	11.9	24.7	25.8		女(n=194)	10.3	24.2	23.7	41.8
学年	小学5年生(n=120)	30.8	18.3	26.7	24.2	学年	小学5年生(n=120)	11.7	35.0	20.0	33.3
	中学2年生(n=120)	35.8	15.0	23.3	25.8		中学2年生(n=120)	8.3	27.5	27.5	36.7
	高校2年生相当(n=104)	39.4	4.8	25.0	30.8		高校2年生相当(n=104)	7.7	26.9	31.7	33.7
性・学年別	男-小学5年生(n=51)	29.4	23.5	27.5	19.6	性・学年別	男-小学5年生(n=51)	3.9	47.1	17.6	31.4
	男-中学2年生(n=49)	38.8	10.2	24.5	26.5		男-中学2年生(n=49)	16.3	32.7	32.7	18.4
	男-高校2年生相当(n=41)	34.1	9.8	19.5	36.6		男-高校2年生相当(n=41)	2.4	36.6	36.6	24.4
	女-小学5年生(n=67)	32.8	14.9	26.9	25.4		女-小学5年生(n=67)	16.4	26.9	22.4	34.3
	女-中学2年生(n=67)	35.8	17.9	20.9	25.4		女-中学2年生(n=67)	3.0	23.9	22.4	50.7
	女-高校2年生相当(n=60)	45.0	1.7	26.7	26.7		女-高校2年生相当(n=60)	11.7	21.7	26.7	40.0
地区	綾瀬地区(n=75)	24.0	22.7	22.7	30.7	地区	綾瀬地区(n=75)	5.3	42.7	24.0	28.0
	綾北地区(n=85)	32.9	8.2	29.4	29.4		綾北地区(n=85)	12.9	22.4	31.8	32.9
	春日台地区(n=32)	34.4	12.5	37.5	15.6		春日台地区(n=32)	6.3	37.5	25.0	31.3
	城山地区(n=94)	54.9	9.6	14.9	21.3		城山地区(n=94)	14.9	23.4	21.3	40.4
	北の台地区(n=58)	22.4	13.8	31.0	32.8		北の台地区(n=58)	1.7	31.0	29.3	37.9
幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	35.1	11.5	29.8	23.7	幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	9.2	32.8	30.5	27.5
	幸せ度6,7,8(n=162)	34.6	16.0	22.2	27.2		幸せ度6,7,8(n=162)	8.6	29.0	24.1	38.3
	幸せ度5以下(n=51)	37.3	7.8	21.6	33.3		幸せ度5以下(n=51)	11.8	25.5	21.6	41.2

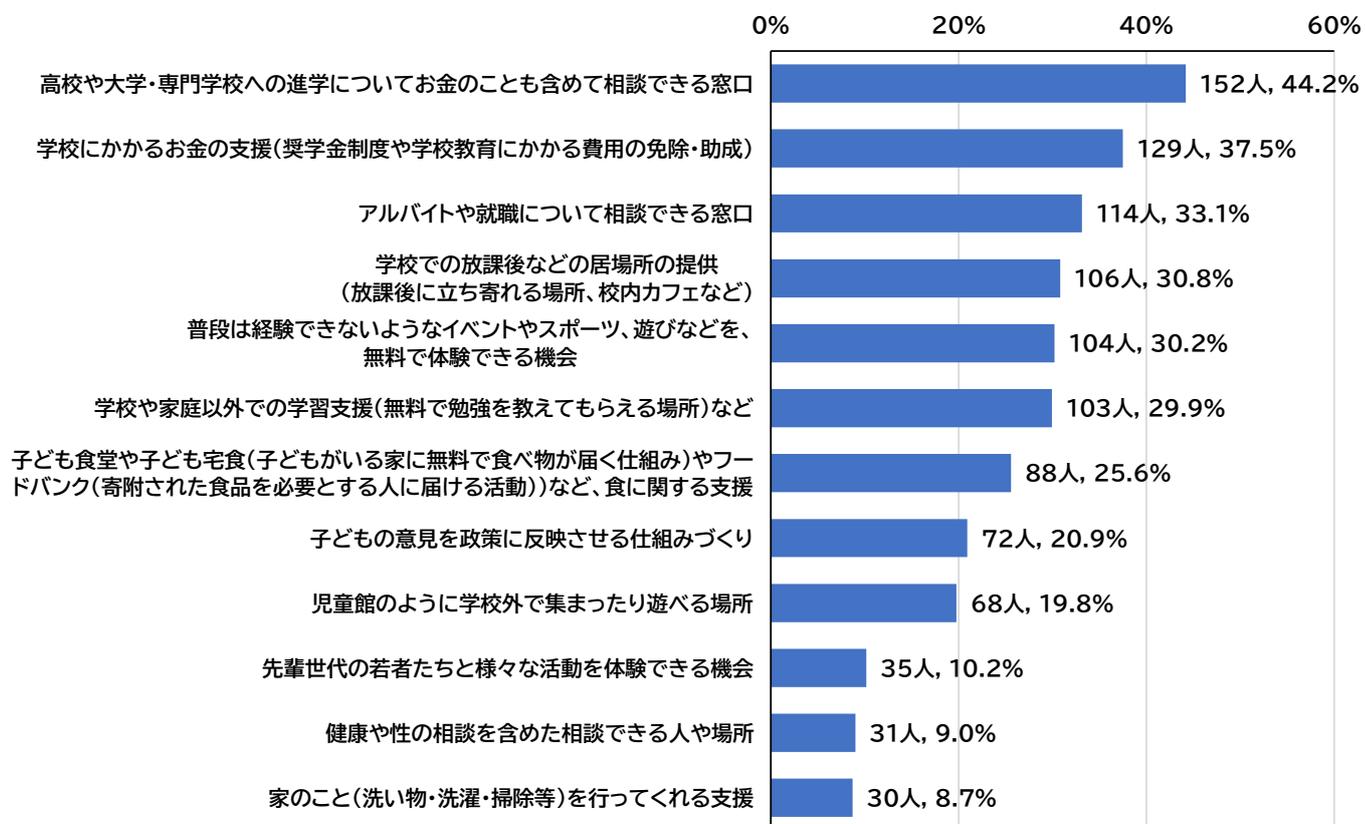
		問21利用経験・利用意向c)勉強を無料でみてくれる場所						問21利用経験・利用意向d)家や学校以外で何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む)			
		利用したことがある	利用したことはないが、あれば利用したい	利用したことはないし、今後も利用しない	利用したことはないし、今後利用したいかどうか分からない			利用したことがある	利用したことはないが、あれば利用したい	利用したことはないし、今後も利用しない	利用したことはないし、今後利用したいかどうか分からない
	全体(n=344)	7.8	29.9	26.5	35.8		全体(n=344)	5.2	14.2	34.9	45.6
性別	男(n=141)	5.7	34.8	31.2	28.4	性別	男(n=141)	4.3	16.3	38.3	41.1
	女(n=194)	9.8	26.8	22.7	40.7		女(n=194)	5.7	13.4	33.0	47.9
学年	小学5年生(n=120)	2.5	31.7	24.2	41.7	学年	小学5年生(n=120)	2.5	11.7	34.2	51.7
	中学2年生(n=120)	10.0	30.0	26.7	33.3		中学2年生(n=120)	7.5	16.7	35.0	40.8
	高校2年生相当(n=104)	11.5	27.9	28.8	31.7		高校2年生相当(n=104)	5.8	14.4	35.6	44.2
性・学年別	男-小学5年生(n=51)	0.0	37.3	23.5	39.2	性・学年別	男-小学5年生(n=51)	0.0	11.8	33.3	54.9
	男-中学2年生(n=49)	10.2	30.6	40.8	18.4		男-中学2年生(n=49)	8.2	16.3	44.9	30.6
	男-高校2年生相当(n=41)	7.3	36.6	29.3	26.8		男-高校2年生相当(n=41)	4.9	22.0	36.6	36.6
	女-小学5年生(n=67)	4.5	28.4	25.4	41.8		女-小学5年生(n=67)	4.5	11.9	35.8	47.8
	女-中学2年生(n=67)	10.4	28.4	16.4	44.8		女-中学2年生(n=67)	6.0	17.9	28.4	47.8
	女-高校2年生相当(n=60)	15.0	23.3	26.7	35.0		女-高校2年生相当(n=60)	6.7	10.0	35.0	48.3
地区	綾瀬地区(n=75)	2.7	32.0	28.0	37.3	地区	綾瀬地区(n=75)	8.0	20.0	29.3	42.7
	綾北地区(n=85)	14.1	22.4	27.1	36.5		綾北地区(n=85)	3.5	7.1	44.7	44.7
	春日台地区(n=32)	6.3	31.3	37.5	25.0		春日台地区(n=32)	0.0	15.6	53.1	31.3
	城山地区(n=94)	9.6	25.5	22.3	42.6		城山地区(n=94)	7.4	11.7	27.7	53.2
	北の台地区(n=58)	3.4	44.8	24.1	27.6		北の台地区(n=58)	3.4	20.7	29.3	46.6
幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	6.1	29.0	29.8	35.1	幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	2.3	13.7	41.2	42.7
	幸せ度6,7,8(n=162)	8.0	30.9	26.5	34.6		幸せ度6,7,8(n=162)	4.3	16.0	30.9	48.8
	幸せ度5以下(n=51)	11.8	29.4	17.6	41.2		幸せ度5以下(n=51)	15.7	9.8	31.4	43.1

問 23 家族の中で以下の理由であなたがお世話している人はいますか。



家族の世話をしている子どもの割合が1割みられ、障害や病気、アルコール・薬物・ギャンブル問題等を抱える家族など、若者にとってかなり困難な状況に置かれていることが推察される

問 24 あなたにとって、どのような支援があったらいいと思いますか。



n=344人(複数回答)

上位 3 項目

高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口
 学校にかかるお金の支援(奨学金制度や学校教育にかかる費用の免除・助成)
 アルバイトや就職について相談できる窓口



いずれも現在よりも将来を見ている

		問24あなたにとって必要な支援											
		高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口	アルバイトや就職について相談できる窓口	学校や家庭以外での学習支援など	子ども食堂や子ども宅食やフードバンクなど、食に関する支援	児童館のように学校外で集まったり遊べる場所	普段は経験できないようなイベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会	先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会	学校にかかるお金の支援	健康や性の相談を含めた相談できる人や場所	学校での放課後などの居場所の提供	家のことを行ってくれる支援	子どもの意見を政策に反映させる仕組みづくり
	全体(n=344)	44.2	33.1	29.9	25.6	19.8	30.2	10.2	37.5	9.0	30.8	8.7	20.9
性別	男(n=141)	44.7	32.6	27.7	27.0	22.7	38.3	9.9	35.5	8.5	19.9	10.6	22.7
	女(n=194)	43.8	32.0	32.0	25.3	18.0	24.2	10.8	40.2	8.2	38.7	7.7	19.1
学年	小学5年生(n=120)	21.7	22.5	30.0	34.2	42.5	47.5	11.7	28.3	6.7	27.5	7.5	20.0
	中学2年生(n=120)	50.0	30.8	34.2	21.7	10.0	25.8	11.7	31.7	10.8	39.2	10.8	23.3
	高校2年生相当(n=104)	63.5	48.1	25.0	20.2	4.8	15.4	6.7	54.8	9.6	25.0	7.7	19.2
性・学年別	男-小学5年生(n=51)	27.5	23.5	29.4	27.5	49.0	58.8	9.8	25.5	3.9	17.6	7.8	19.6
	男-中学2年生(n=49)	46.9	34.7	32.7	28.6	8.2	32.7	12.2	32.7	10.2	22.4	14.3	24.5
	男-高校2年生相当(n=41)	63.4	41.5	19.5	24.4	7.3	19.5	7.3	51.2	12.2	19.5	9.8	24.4
	女-小学5年生(n=67)	16.4	20.9	29.9	38.8	37.3	38.8	13.4	31.3	9.0	35.8	7.5	20.9
	女-中学2年生(n=67)	50.7	26.9	35.8	17.9	11.9	20.9	11.9	32.8	9.0	50.7	9.0	22.4
	女-高校2年生相当(n=60)	66.7	50.0	30.0	18.3	3.3	11.7	6.7	58.3	6.7	28.3	6.7	13.3
地区	綾瀬地区(n=75)	41.3	36.0	30.7	28.0	20.0	34.7	6.7	34.7	13.3	30.7	5.3	18.7
	綾北地区(n=85)	51.8	29.4	24.7	24.7	21.2	28.2	14.1	41.2	9.4	30.6	9.4	15.3
	春日台地区(n=32)	28.1	40.6	34.4	21.9	25.0	31.3	9.4	46.9	9.4	25.0	9.4	18.8
	城山地区(n=94)	44.7	36.2	30.9	22.3	18.1	29.8	12.8	36.2	3.2	33.0	6.4	26.6
	北の台地区(n=58)	44.8	25.9	32.8	31.0	17.2	27.6	5.2	32.8	12.1	31.0	15.5	24.1
幸せ度	幸せ度9,10(n=131)	40.5	25.2	30.5	31.3	21.4	36.6	9.2	35.9	9.2	32.1	9.2	19.1
	幸せ度6,7,8(n=162)	48.1	36.4	30.9	19.1	21.6	25.9	13.0	38.3	7.4	31.5	6.2	21.6
	幸せ度5以下(n=51)	41.2	43.1	25.5	31.4	9.8	27.5	3.9	39.2	13.7	25.5	15.7	23.5

問 25 あったらいいと思う支援(具体的に)

78人の方から83件の意見をいただきました。

意見内容	件数
遊び場、交流場所、居場所	13
教育関連の経済的支援(高校無償化等)	9
学校	7
経済的支援	5
食事の支援	4
教育内容の充実	4
無料で勉強できる場所	4
相談	4
障害児・者支援	4
物品の支援	3
スポーツ施設	3
就労支援	3
学習支援	3
人間関係	2
交通	2
いじめ対策	1
教職員への支援	1
教員等の資質向上	1
図書館	1
美容、ファッション	1
ボランティア	1
防犯対策	1
移動支援	1
アルバイト	1
その他	4
合計	83

問25の自由記述について、意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 遊び場、交流場所、居場所 に関する意見

- ・みんなが自分のやりたいこと、好きなことを全力で楽しめるような場所を作って欲しい。
- ・学校以外の場所で自分の好きなことが揃う人とそれぞれ分かれてその好きなことの話しをしたら遊んだりできる。
- ・年齢に関係なく、子どもが外で遊べる場所、花火やサッカーなどもできる公園があったらいいと思う。
- ・趣味などを好きに自由に行える場の提供。

⇒ 市に対して、子どもたちが「自由に使える場所」を提供して欲しい、という意見があります。

2 教育関連の経済的支援(高校無償化等)に関する意見

- ・学業や今後の未来で親に負担をかけさせない為に、補助金などの支援。
- ・学校通学にかかる交通費の助成。
- ・高校までの学費全額免除、大学一部学費免除があって欲しい。

⇒ 将来を見据えた高校や大学、専門学校等への進学に係る経済的支援を求める声があります。

3 学校に関する意見

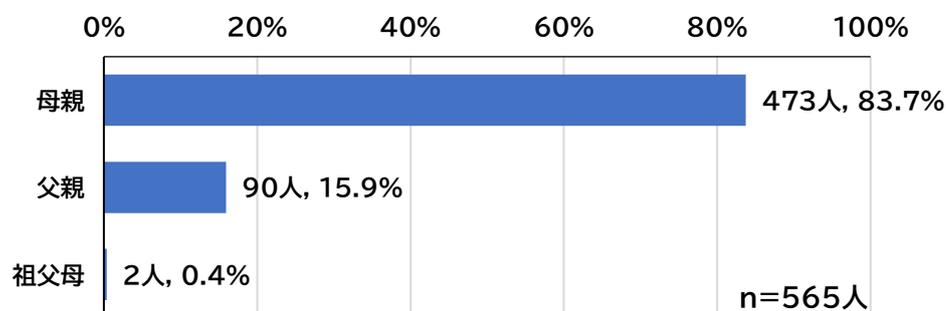
- ・学校で何かあった時匿名で報告できるアプリ。
- ・学校で自分の意見を認めてもらう。
- ・給食の品数を増やす支援。
- ・給食費無料、サッカーボールなどの配布、学校での治療。

⇒ こどもたちの一番身近な問題として、学校に係る意見が多くみられました。給食に対する品数や費用に対する意見、なにかあった時のアプリの活用など、こども・若者ならではの意見があります。

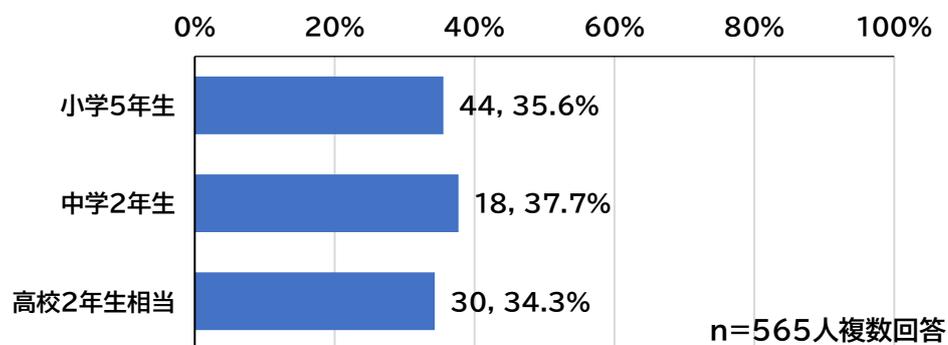
2 保護者用

(1) 保護者の属性

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。

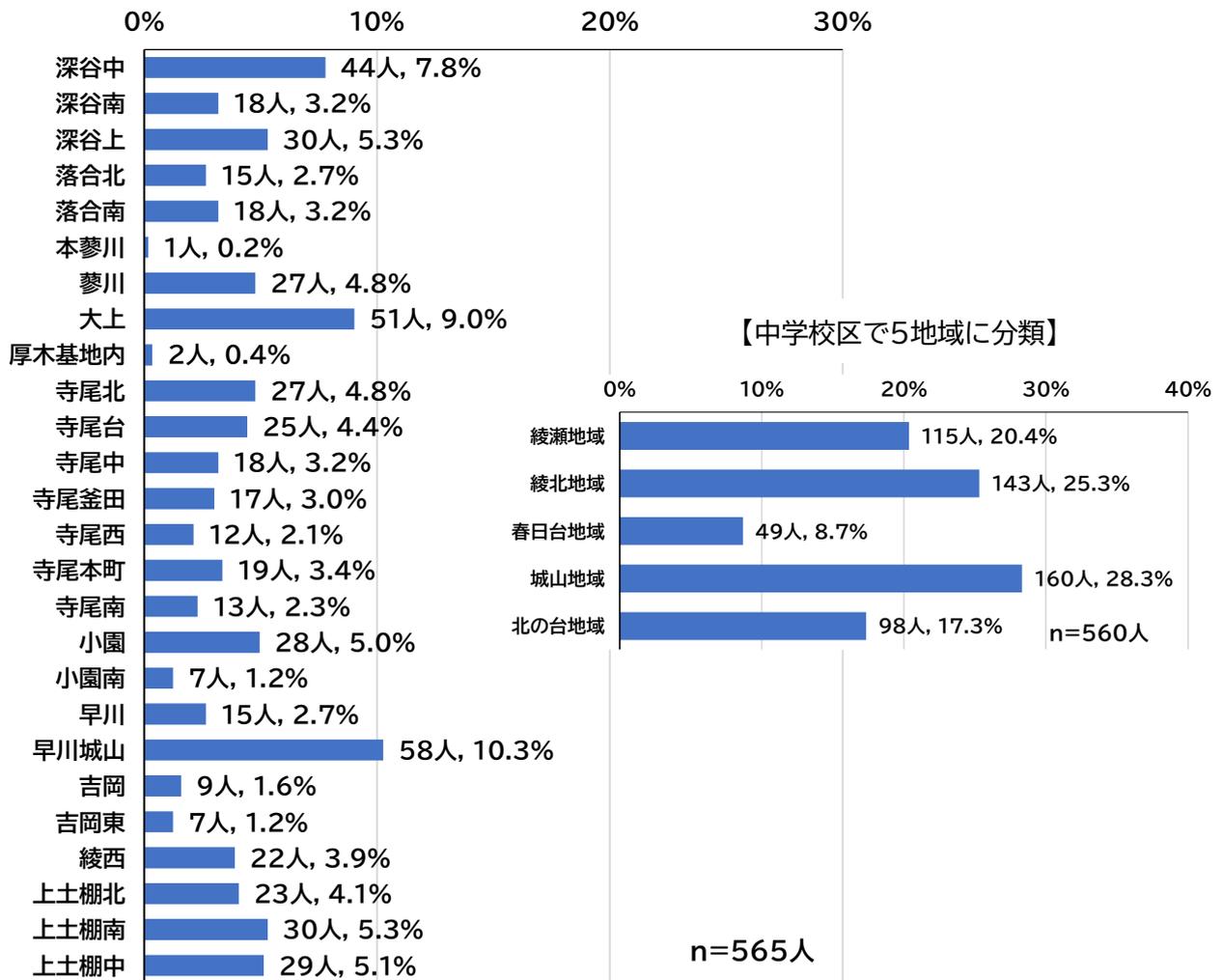


【お子さんの年次】(複数回答)

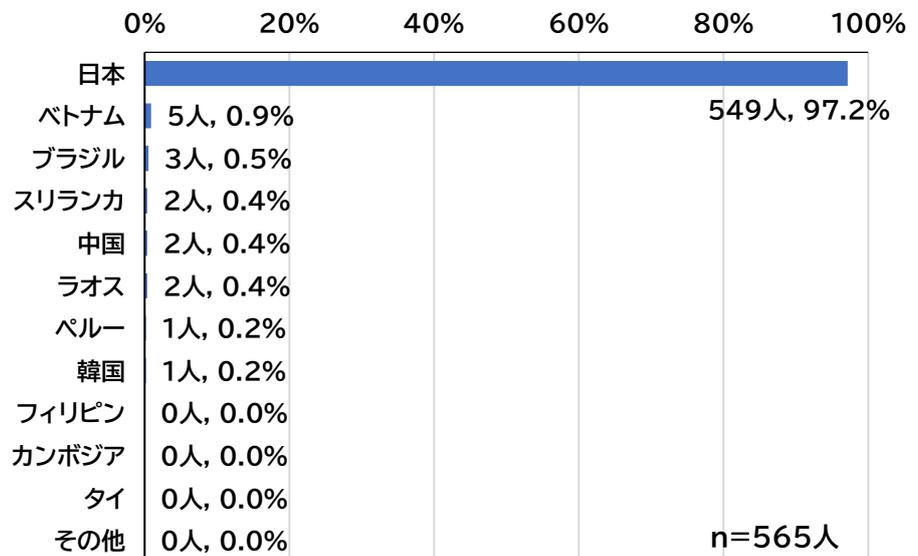


問2 あなたについて教えてください、

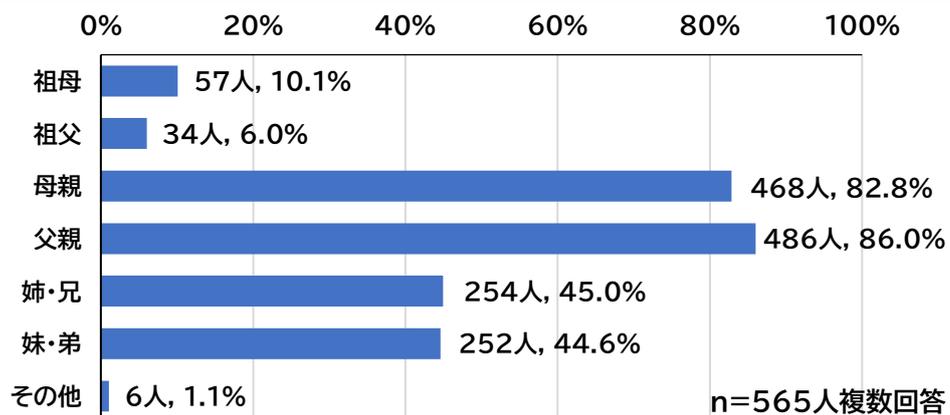
【お住まいの地区】



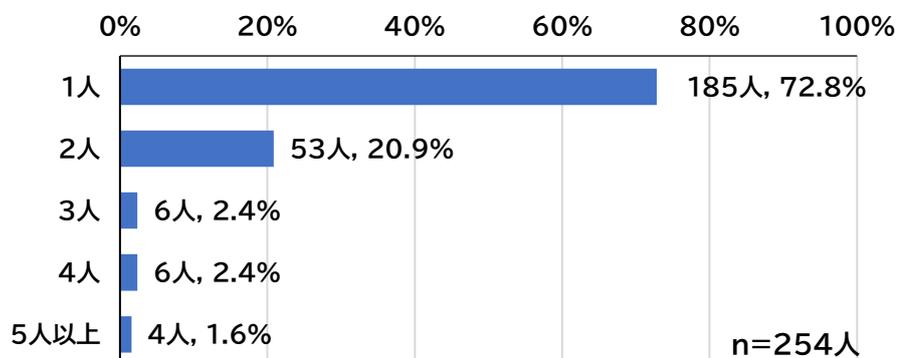
【あなたの国籍】



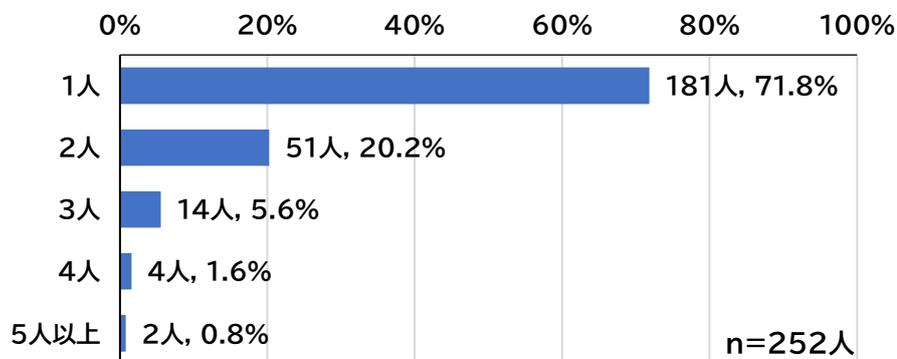
問3 同居し、生計を同一にしているご家族の構成を教えてください。(複数回答)



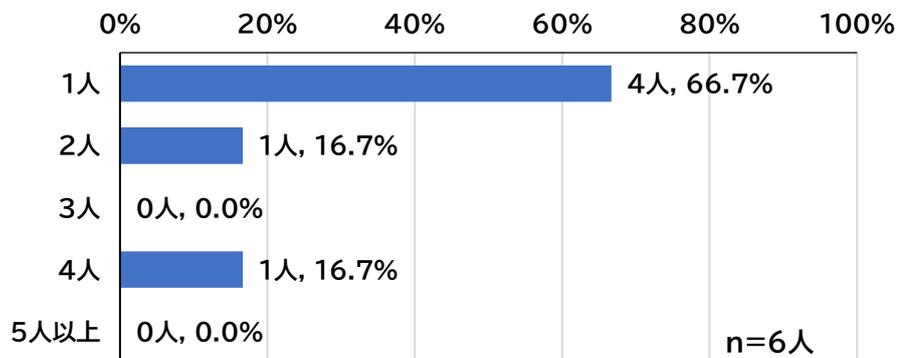
【姉・兄】



【妹・弟】

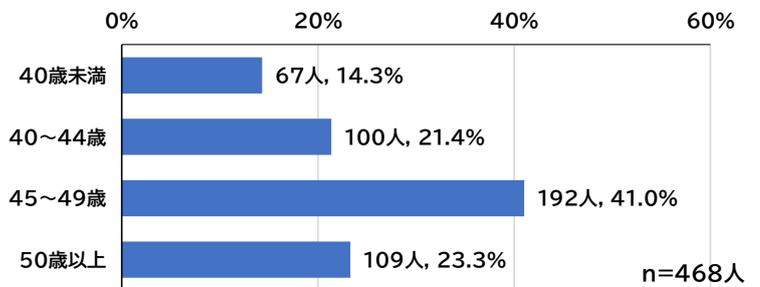
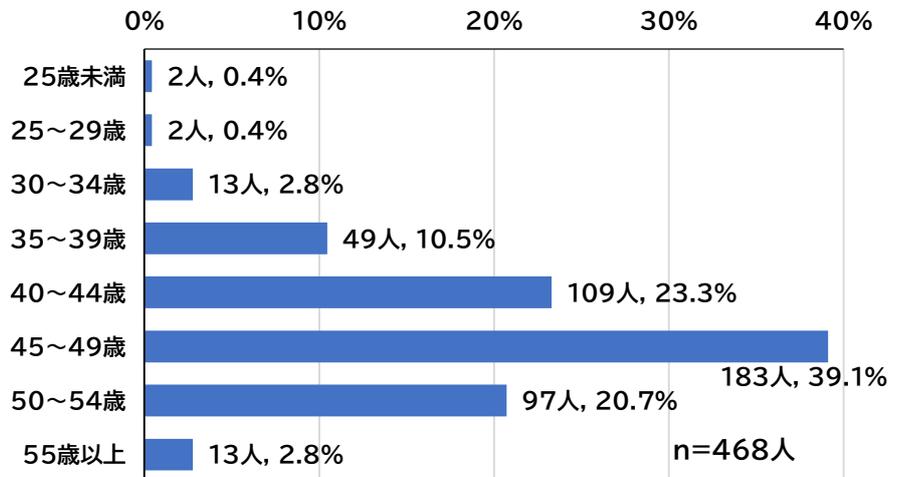


【その他.】

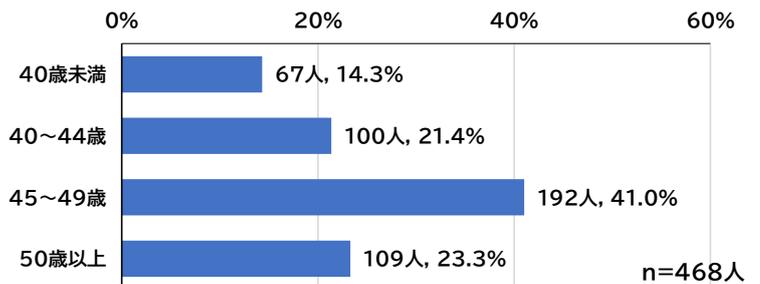
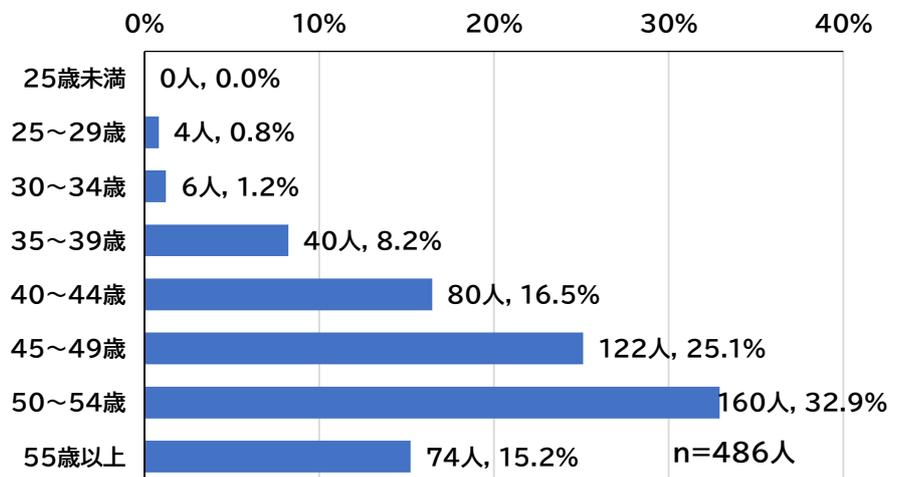


問 4 保護者の方の年齢を教えてください。

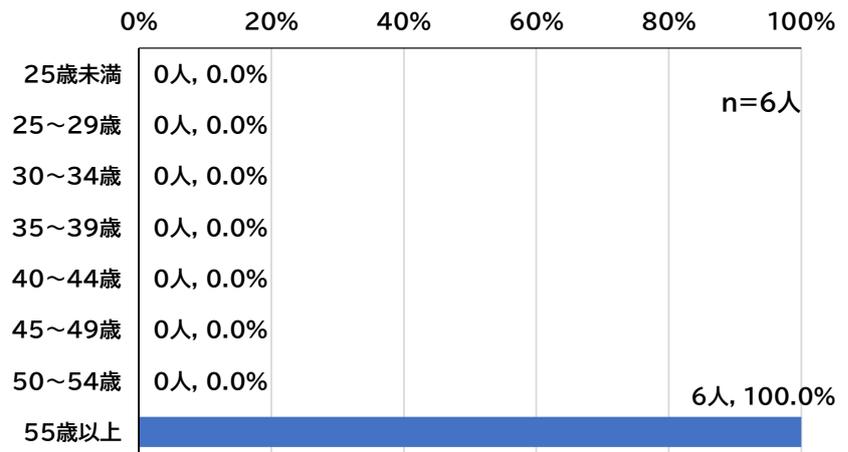
【母親】



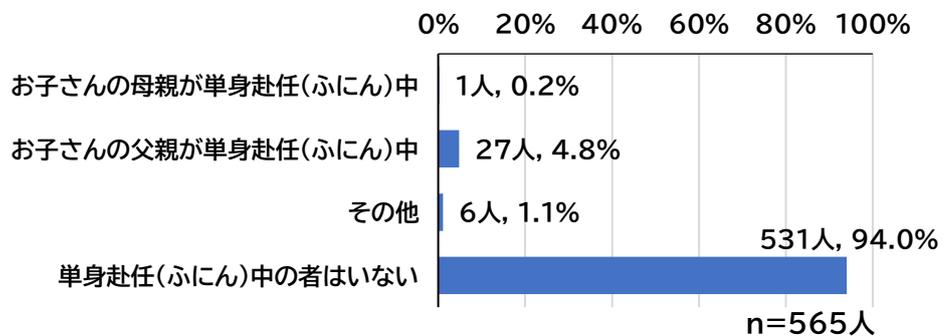
【父親】



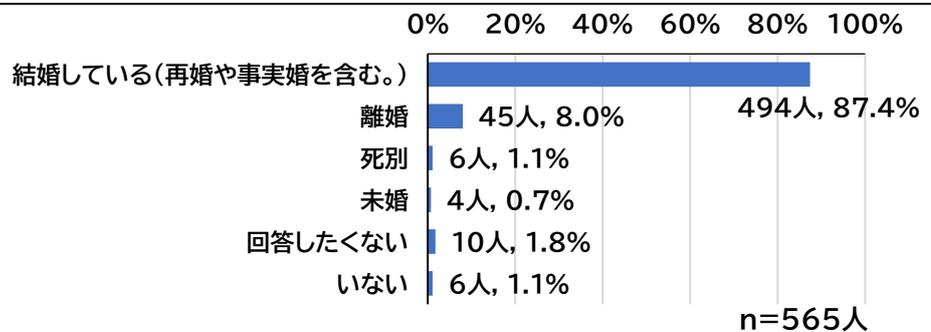
【母親・父親以外の保護者】



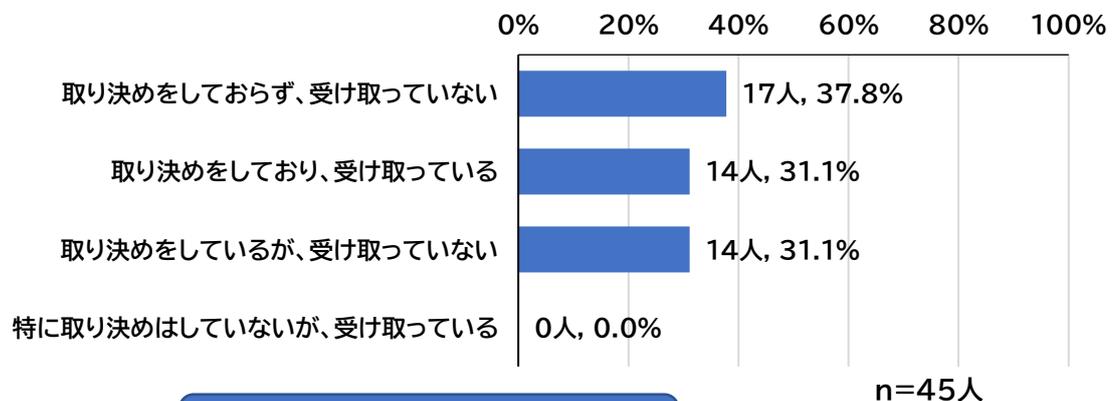
問 5 単身赴任中の方はいらっしゃいますか。



問 6 親の婚姻状況を教えてください。

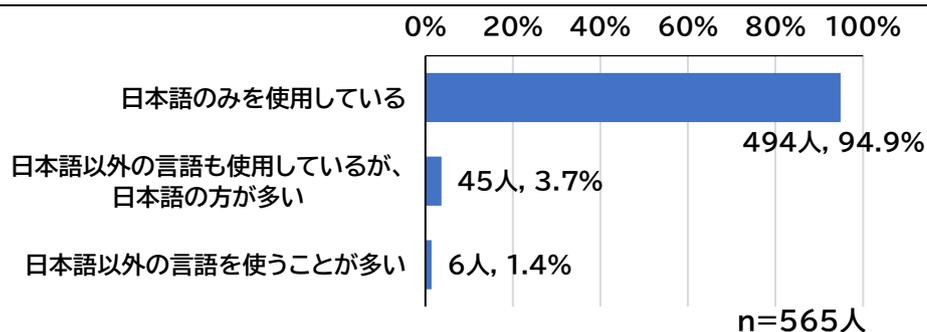


問 7 問 6 で「離婚」を選択した場合、離婚相手と子どもの養育費の取決をしていますか。



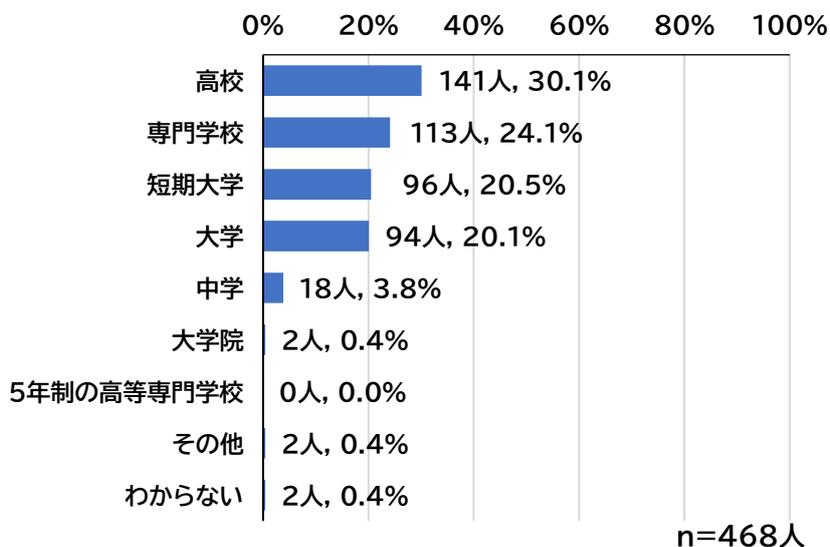
7割が養育費を受け取っていない

問 8 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

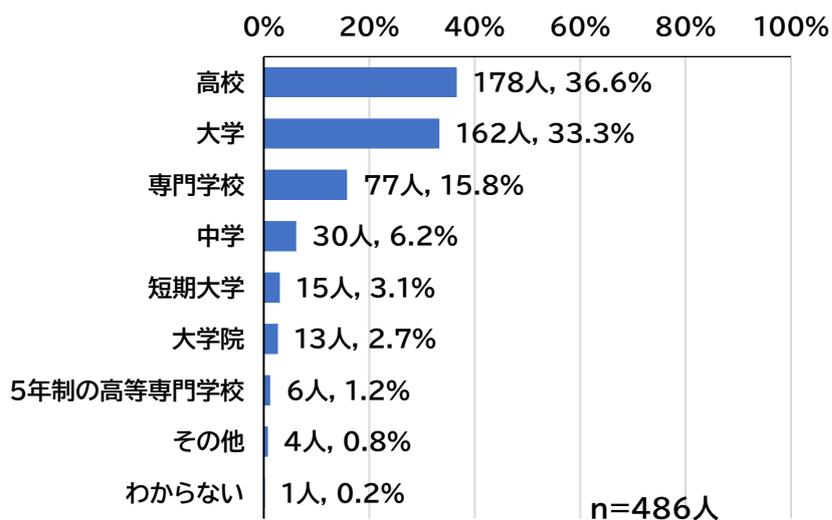


問 9 保護者が卒業・修了した学校をお答えください。

【母親】



【父親】



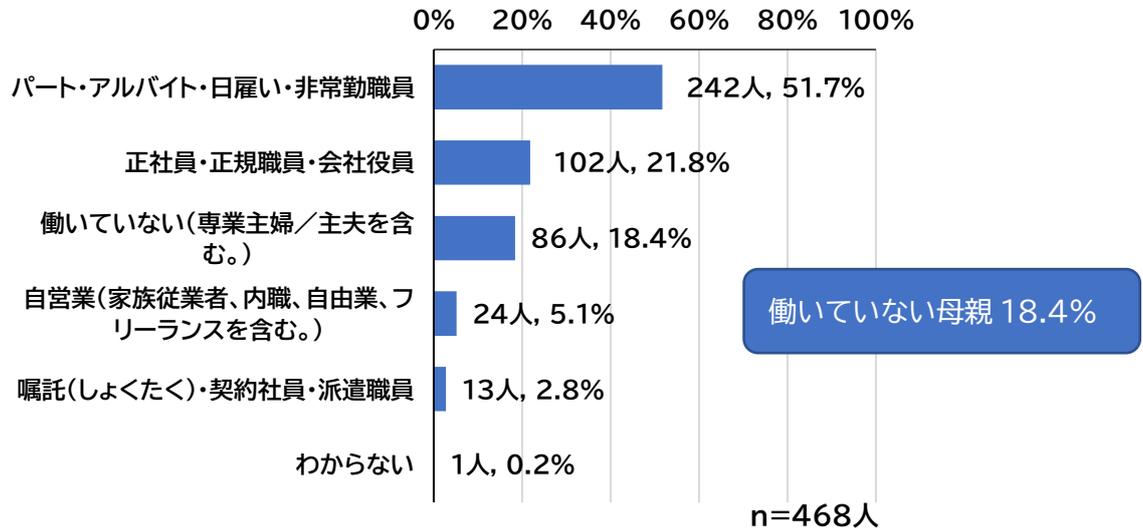
父親,母親ともに「高卒」が最も多い

(2) 保護者の就労状況について

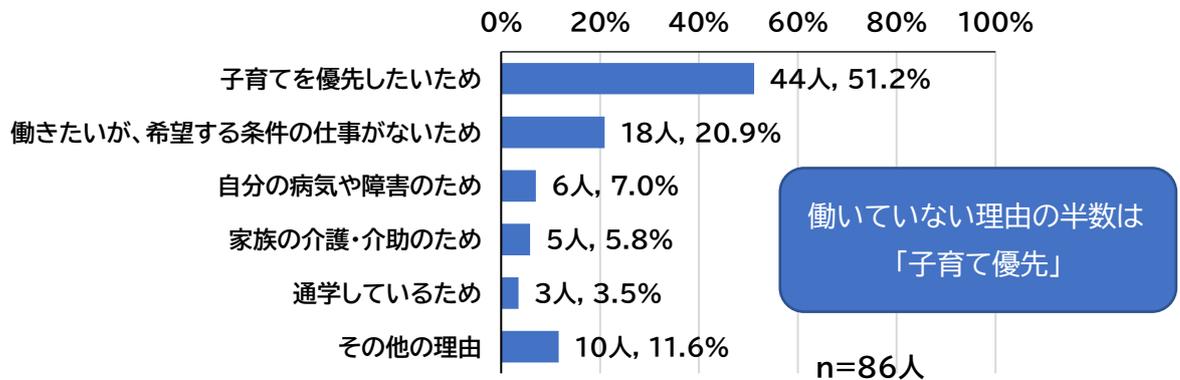
問 10 保護者の就労状況をお答えください。問 11 働いていない理由

問 11 問 10 で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。

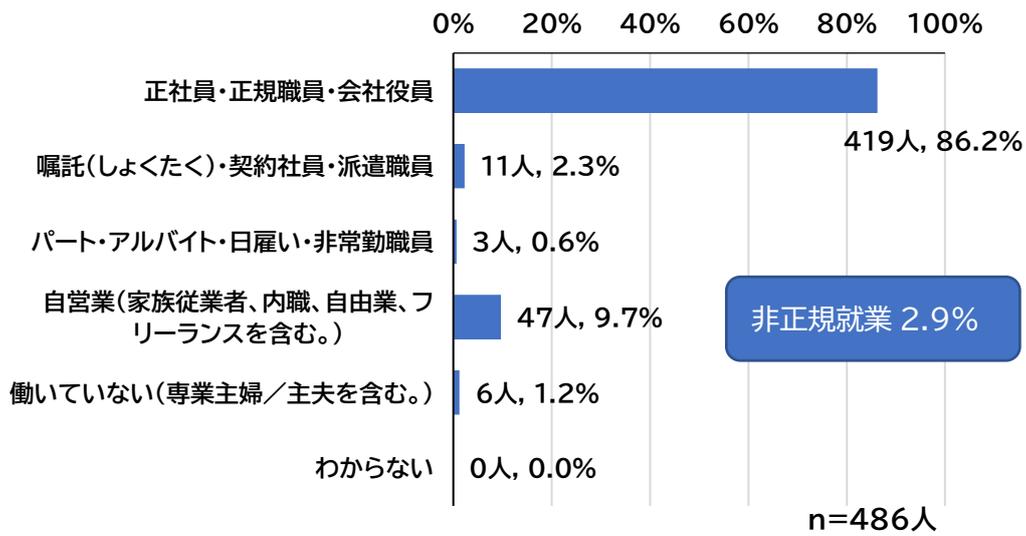
【母親】



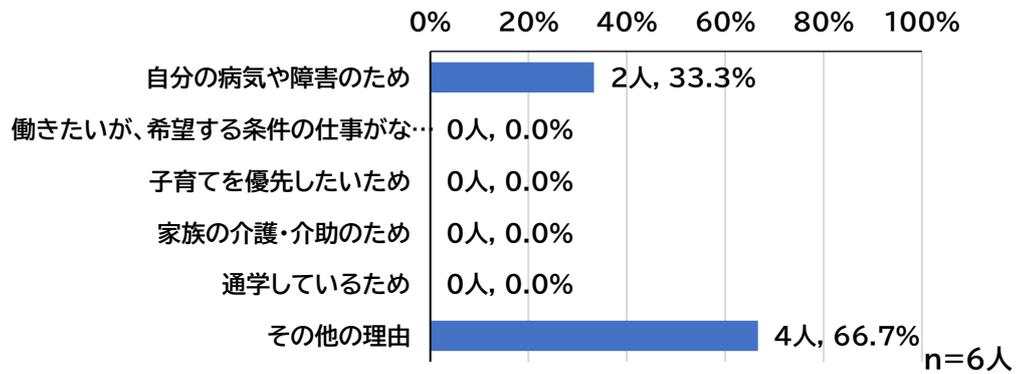
【働いていない理由】



【父親】

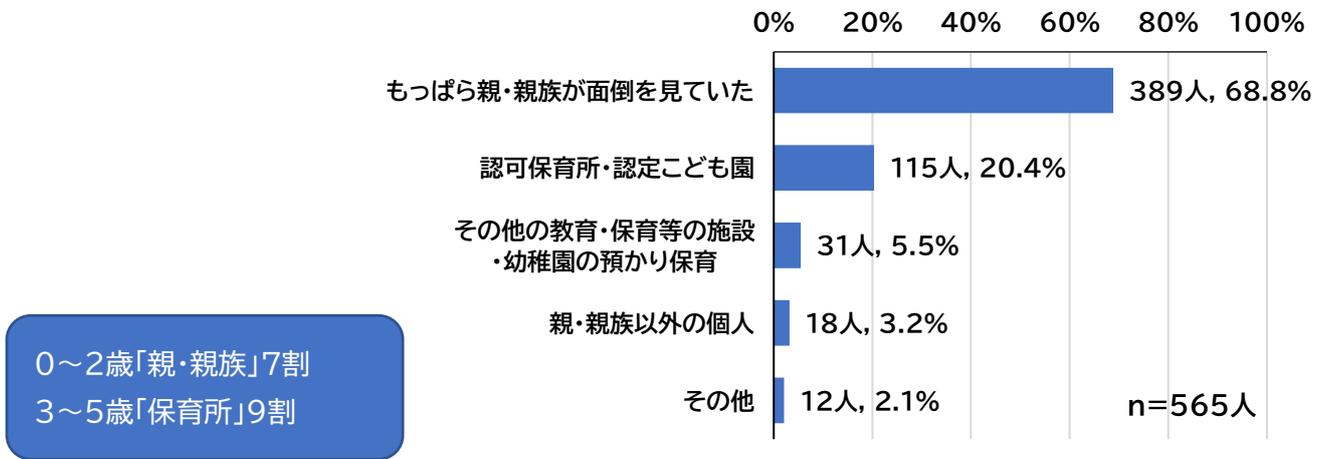


【働いていない理由】

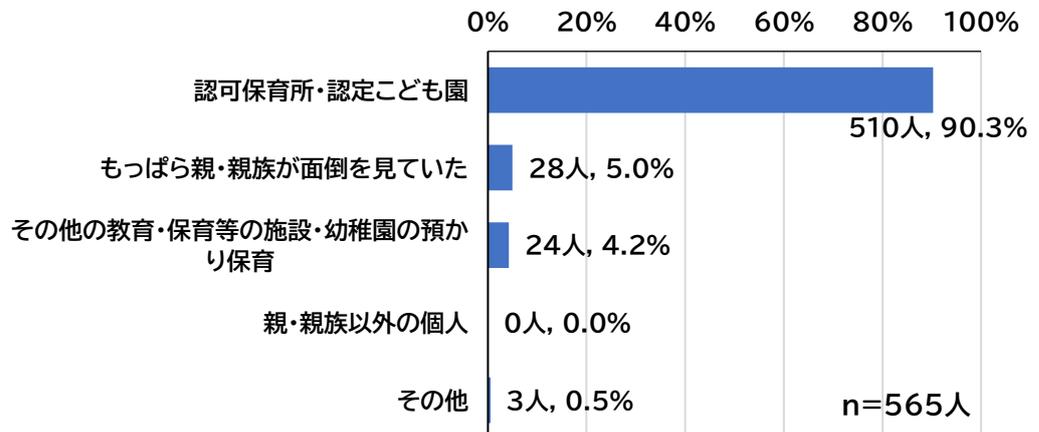


(3) お子さんとの関わり方について

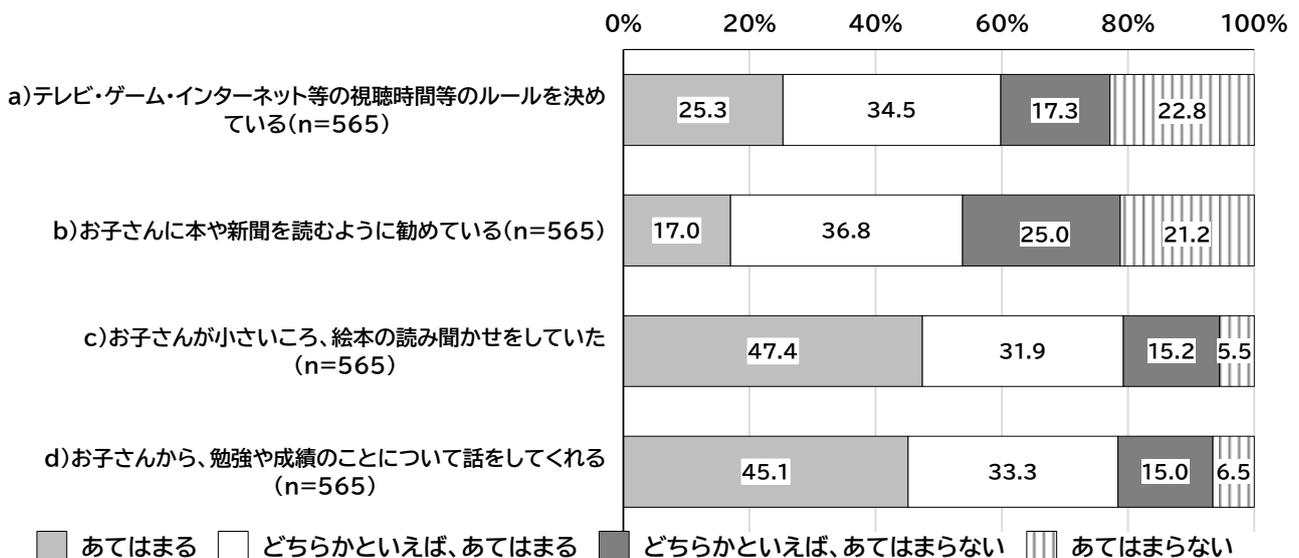
問 12 0～2 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)



問 13 3～5 歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)

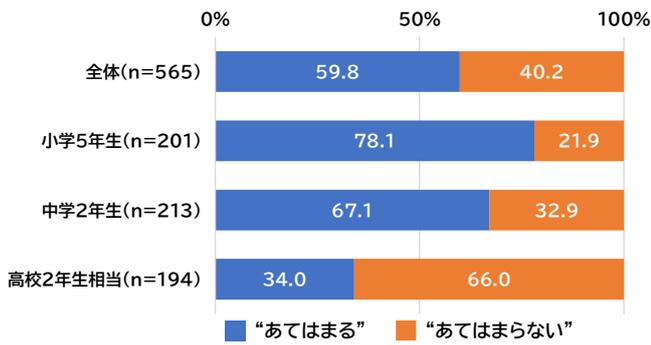


問 14 お子さんとの関わり方

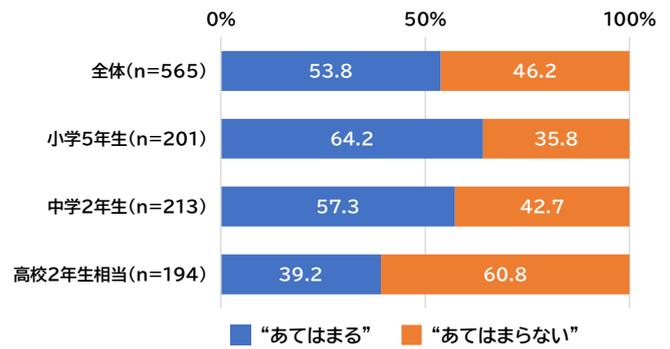


「視聴時間」59.8% 「読書」53.8% 「読み聞かせ」79.3% 「子どもから話がある」78.4%

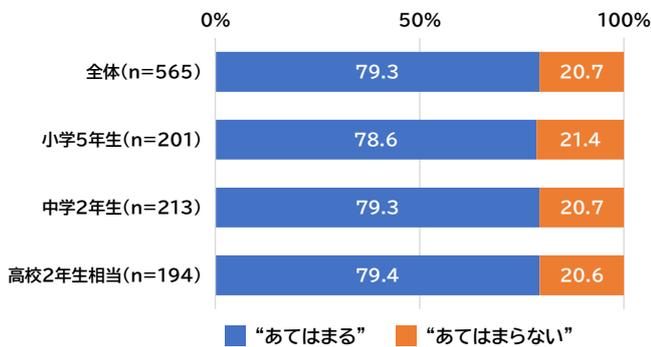
テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている



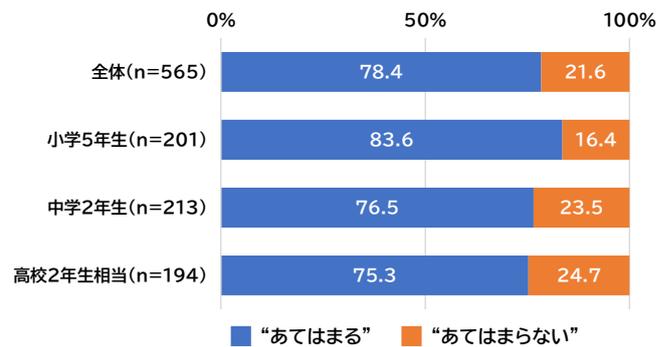
お子さんに本や新聞を読むように勧めている



お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた



お子さんから、勉強や成績のことで話をしてくれる



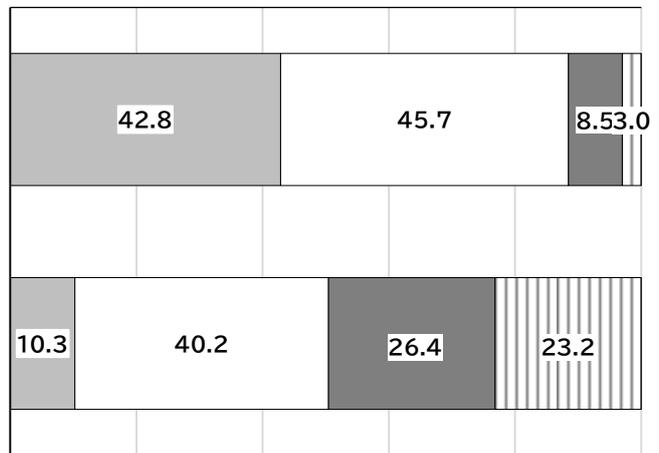
問 15 あなたは次のことをどの程度していますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%

a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加(n=565)

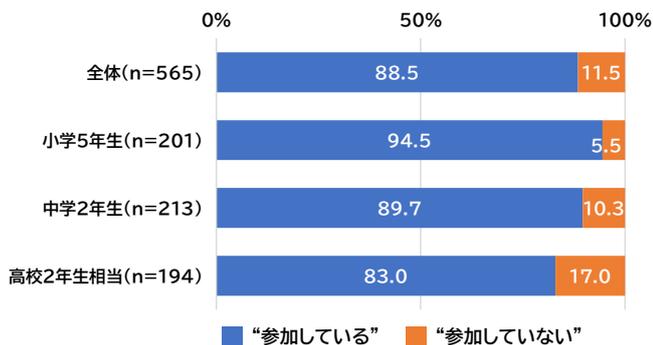
学校行事への不参加 3%
PTA・ボランティア不参加 23.2%

b) PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加(n=565)

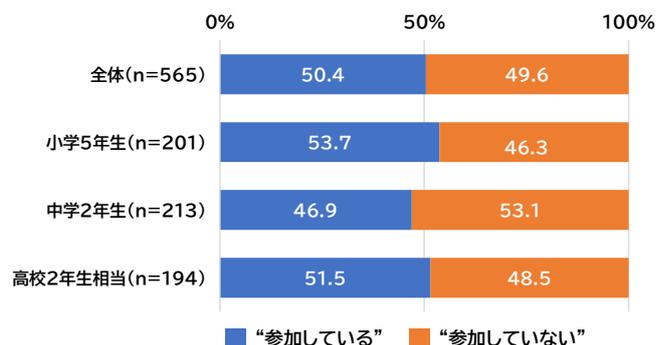


■ 必ず参加している □ できるだけ参加している ■ ときどき参加している ▨ 参加していない

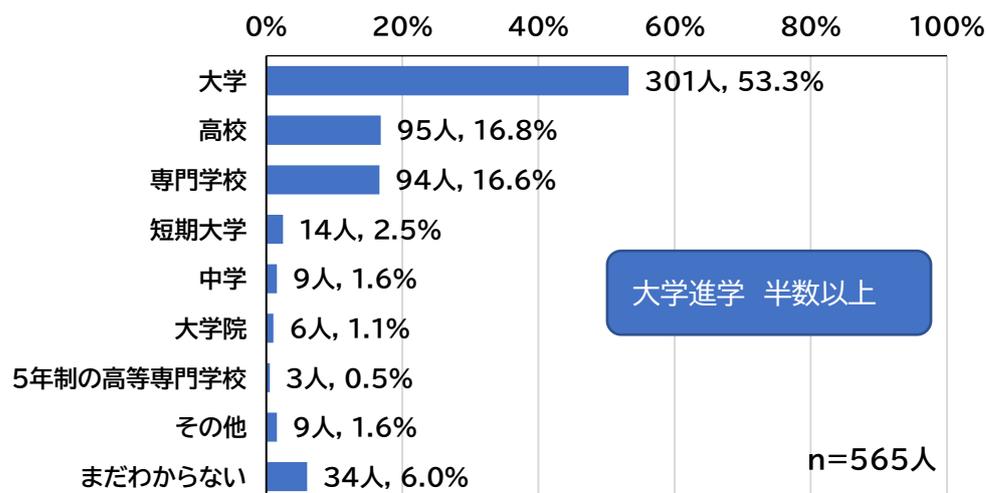
授業参観や運動会などの学校行事への参加



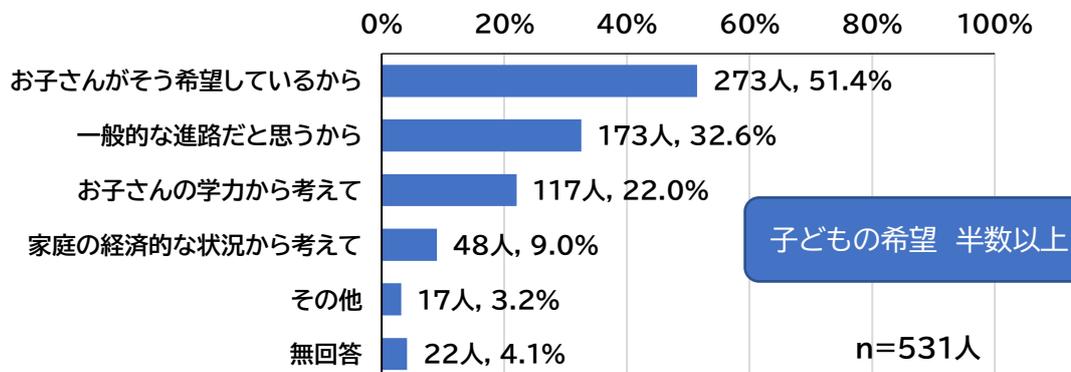
PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加



問 16 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

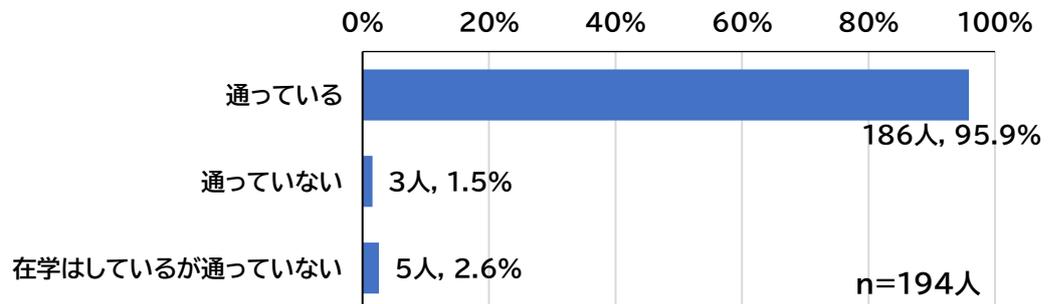


問 17 お子さんが将来その学校に進学すると思う理由は何ですか。

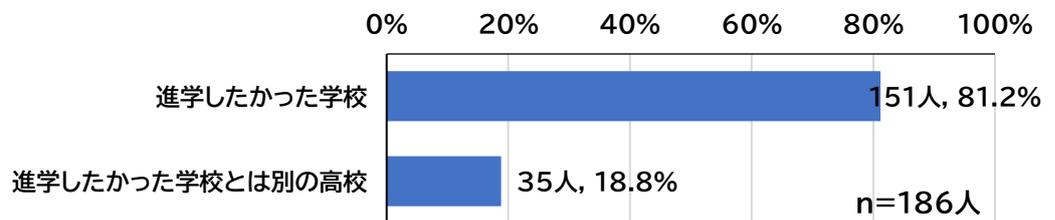


(4) (高校生以上)通学状況について

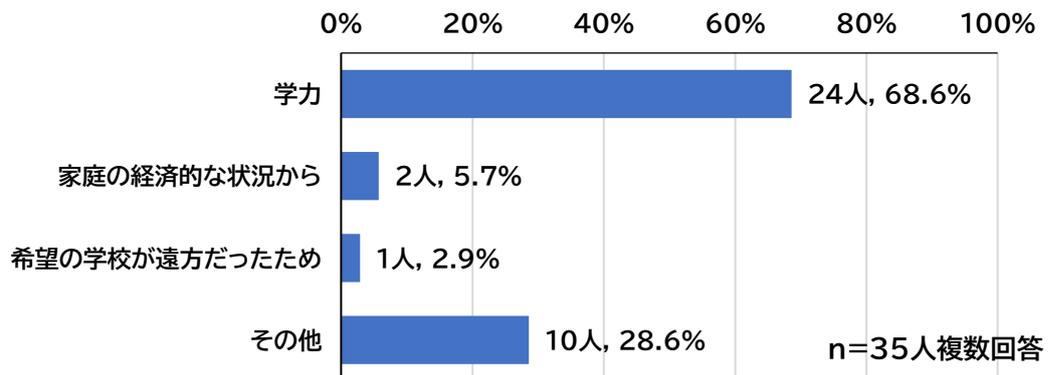
問18 高校生世代の保護者方のみお答えください。現在、お子さんは高校に通っていますか。



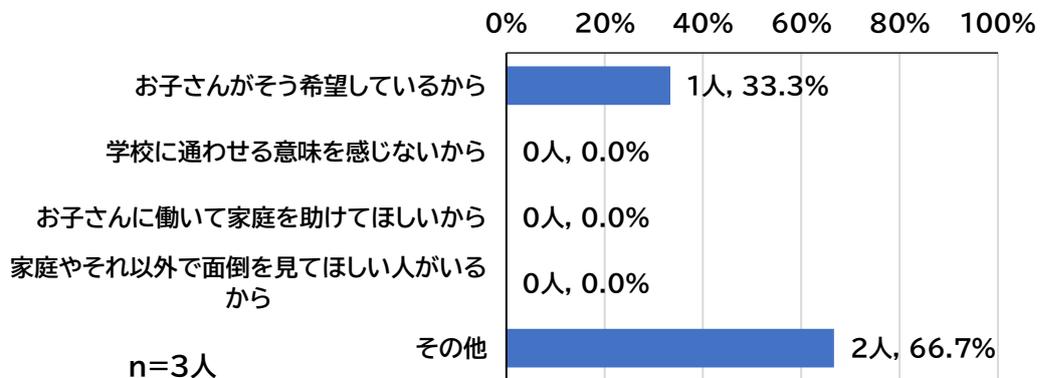
問19 現在通っている高校は、お子さんが進学したかった高校ですか



【進学したかった学校とは別の高校を選択した理由】(複数回答)



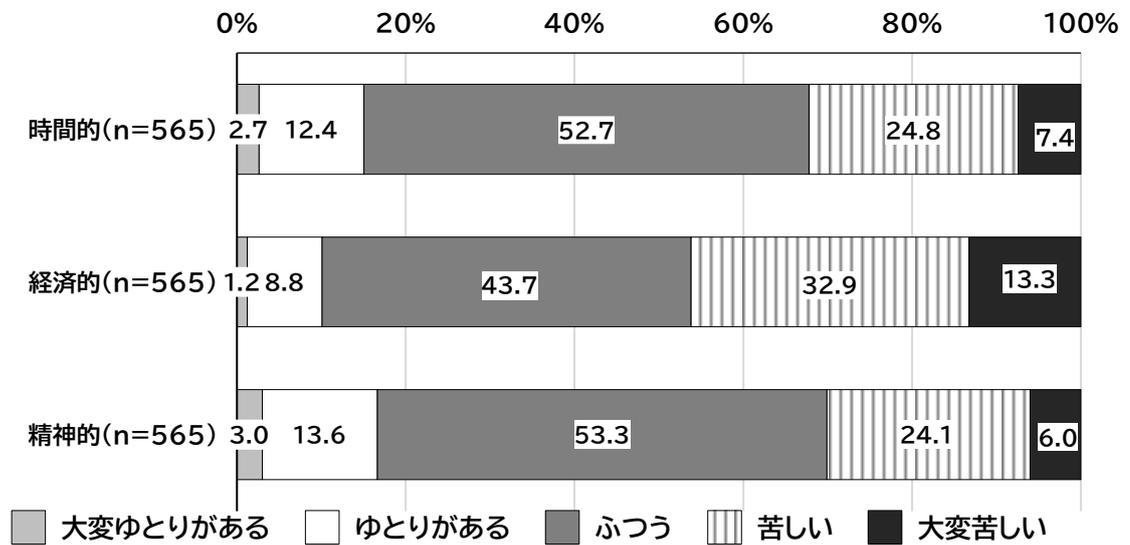
問20 高校に通っていないと回答した方、通っていない理由



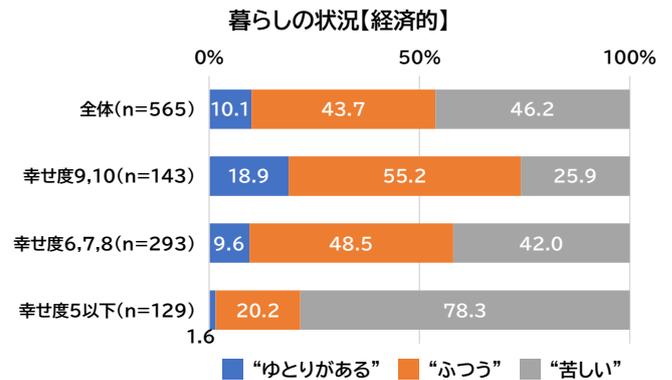
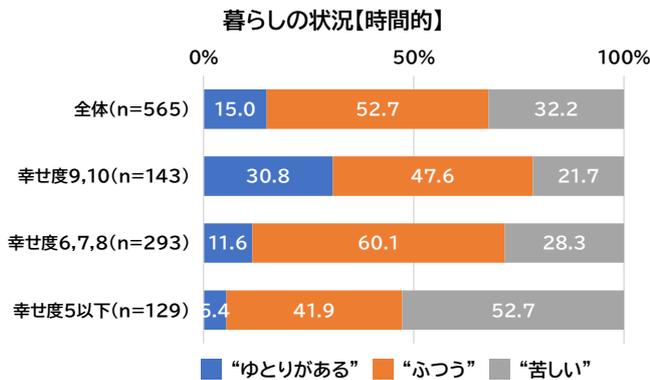
経済的理由で高校に通っていない人はいなかった

(5) 生活や暮らしの状況について

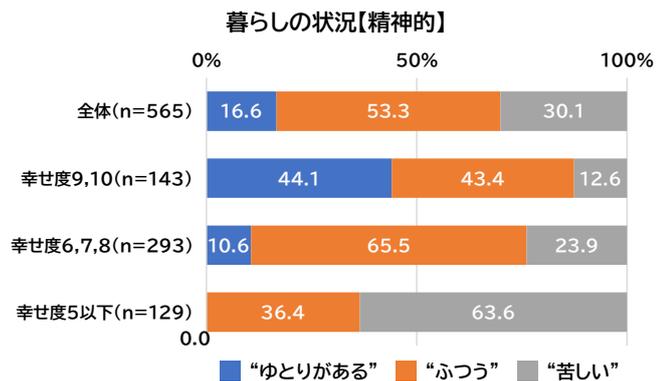
問 21 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。



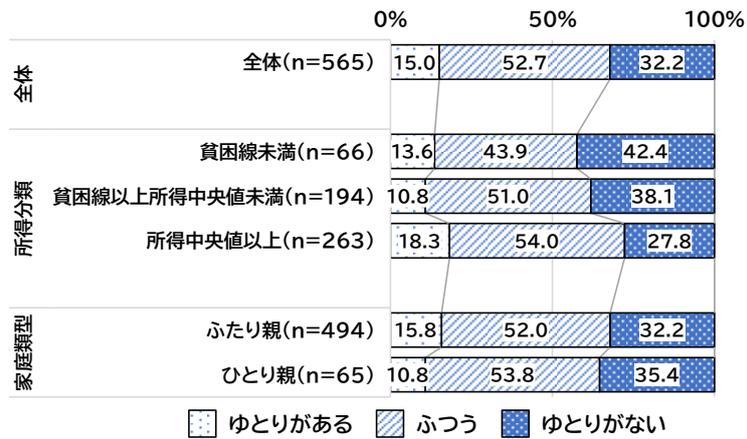
	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい
時間的	14.9%			32.2%	
経済的	10.0%			46.2%	
精神的	16.6%			30.1%	



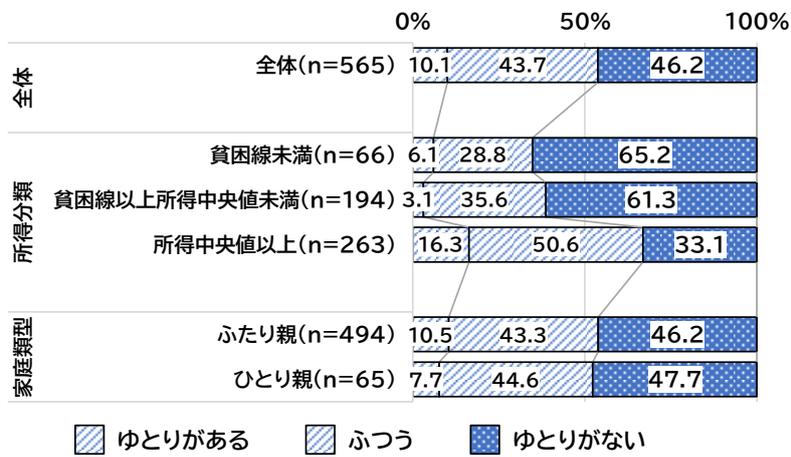
幸せ度が低い人では、経済的に苦しい割合がとくに高いが、時間的、精神的にも苦しい割合の方が高い



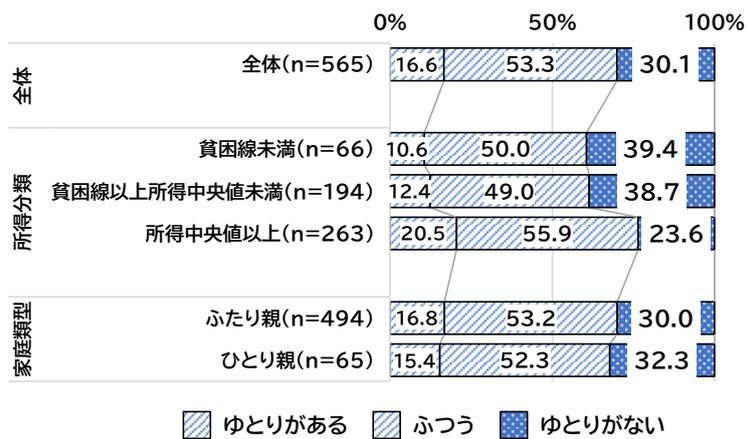
暮らしの状況【時間的】



暮らしの状況【経済的】



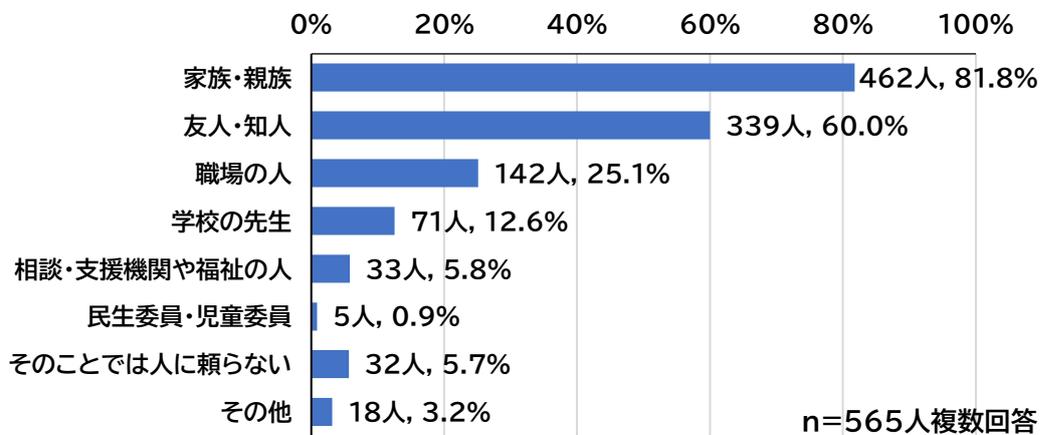
暮らしの状況【精神的】



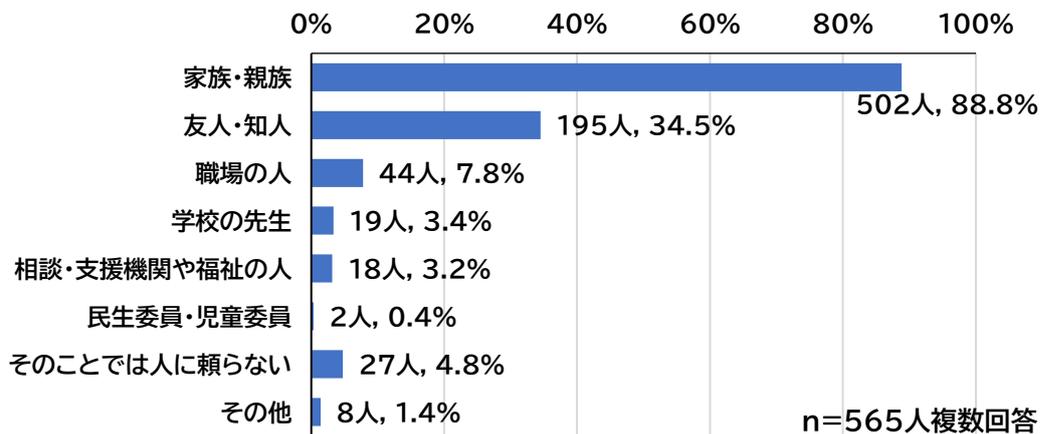
相対的貧困の視点で見ると、貧困線前後の差よりも所得中央値前後の差が顕著である
ふたり親に比べて、ひとり親のゆとりのなさが見られるが、その差は少ない

問 22 あなたは、頼れる人がいますか。(複数回答)

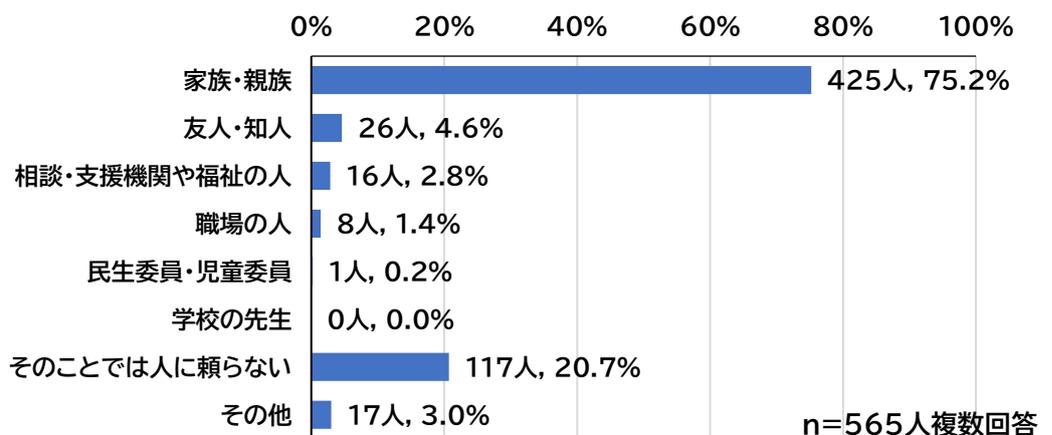
【子育てに関する相談】



【重要な事柄の相談】



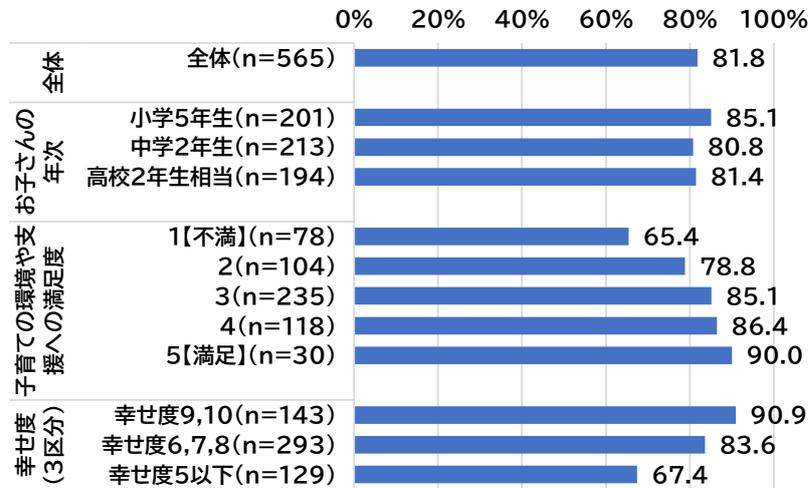
【いざという時のお金の相談】



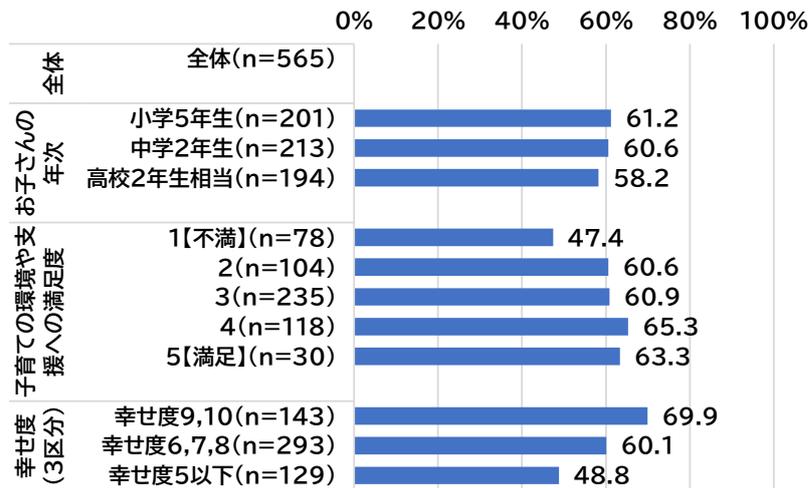
頼れる人は、基本的に「家族・親族」「友人・知人」
お金の相談を「友人・知人」にする割合は低い

子育てに関する相談

家族・親族



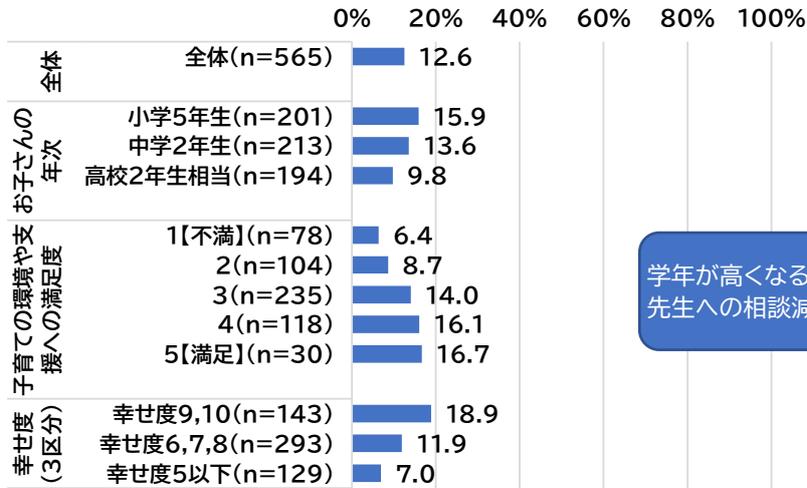
友人・知人



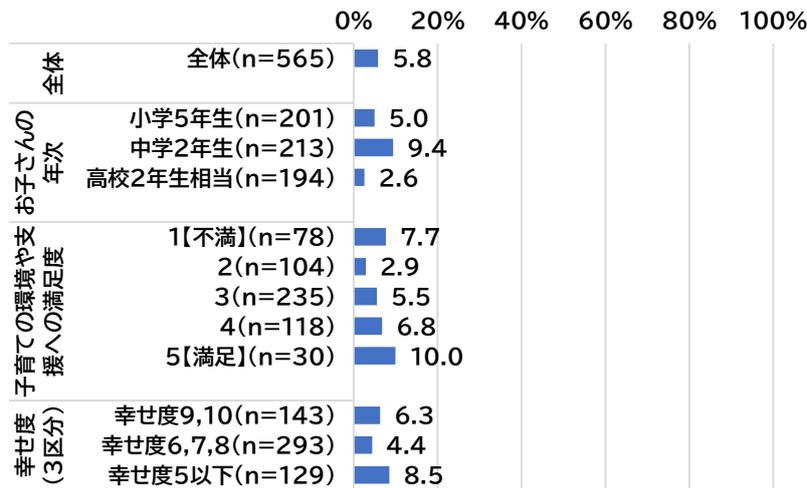
職場の人



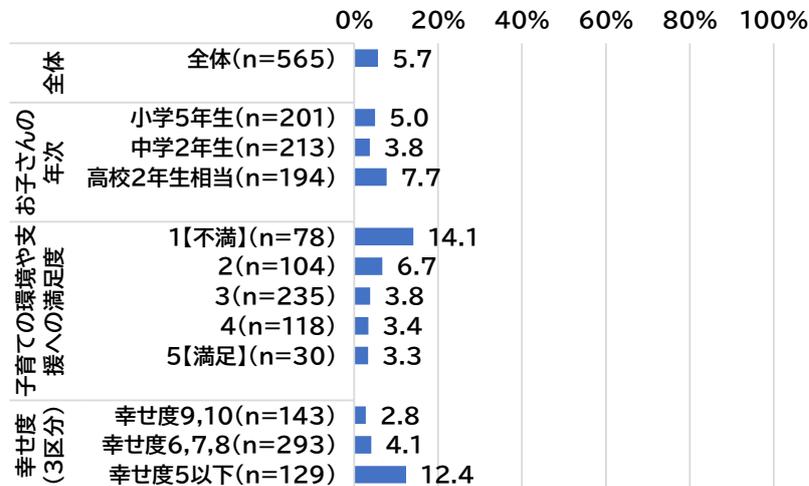
学校の先生



相談・支援機関や福祉の人

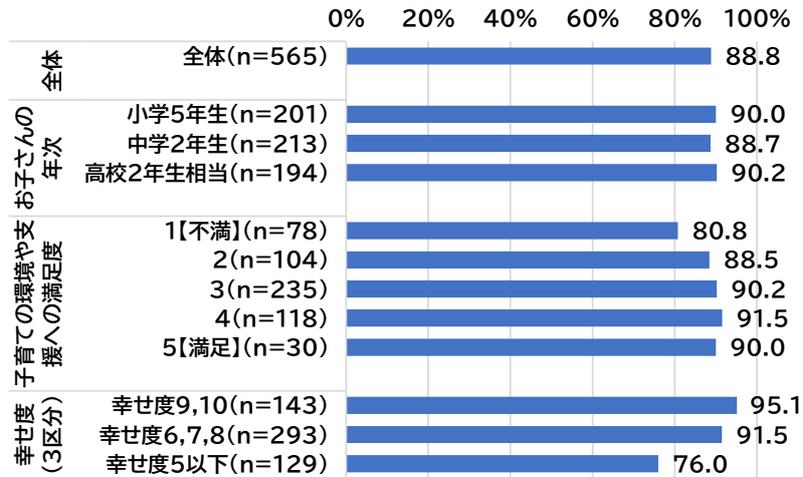


そのことでは人に頼らない

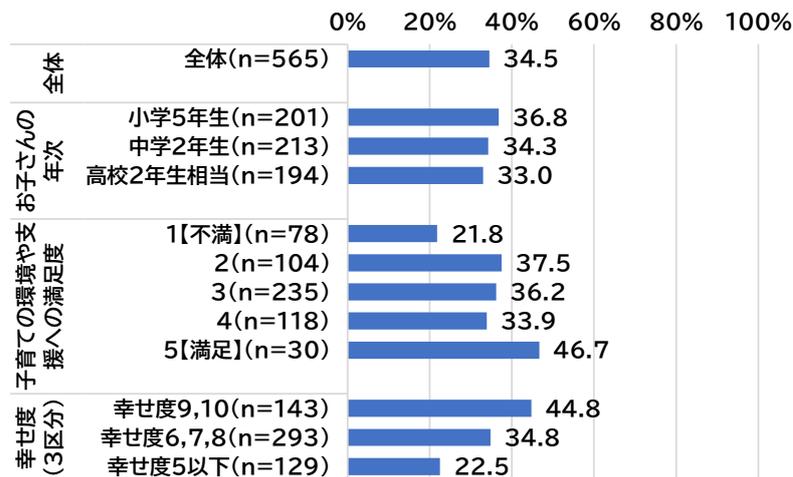


重要な事柄の相談

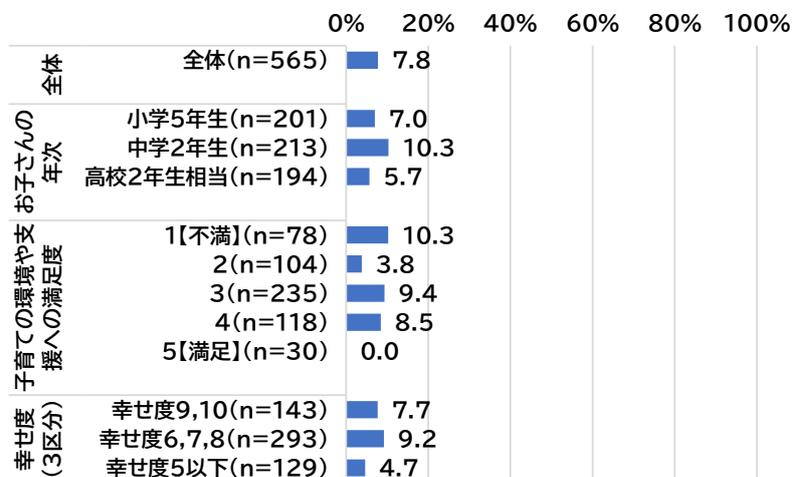
家族・親族



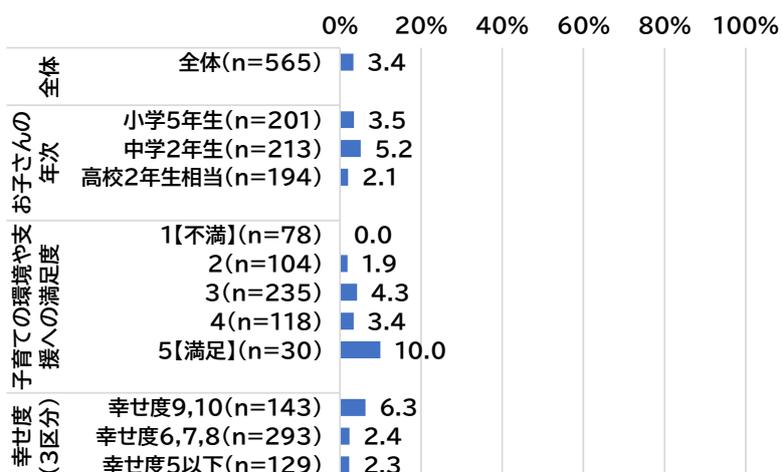
友人・知人



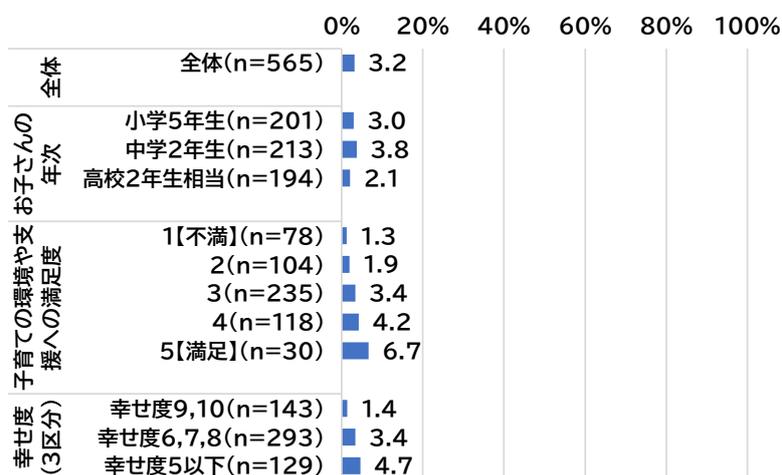
職場の人



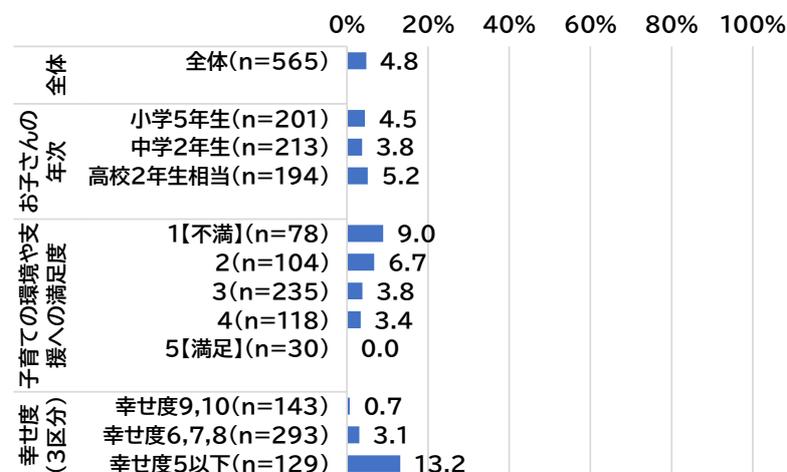
学校の先生



相談・支援機関や福祉の人

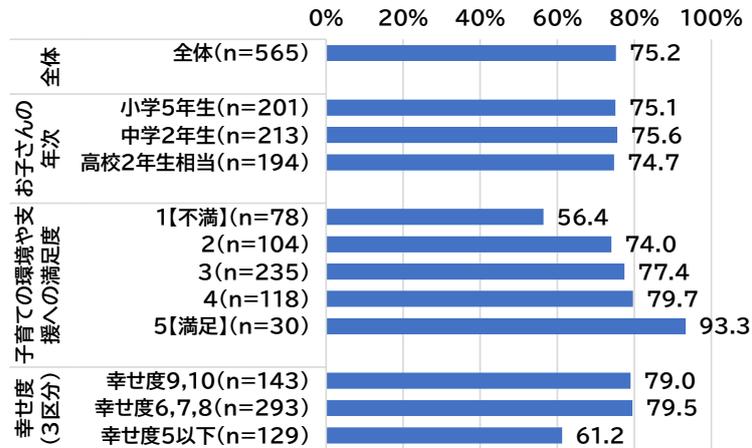


そのことでは人に頼らない

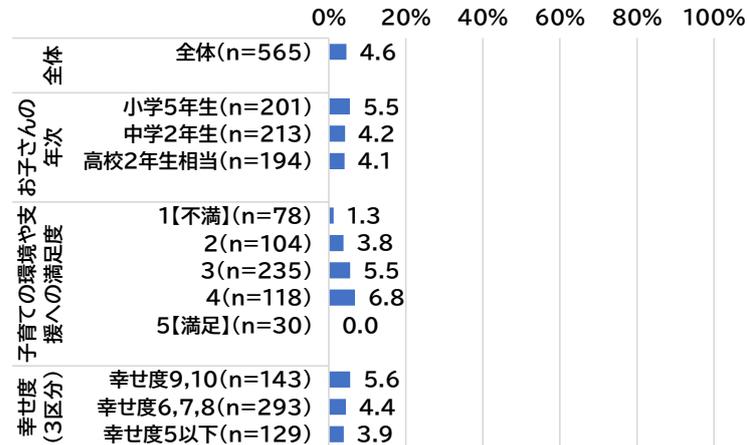


いざという時のお金の相談

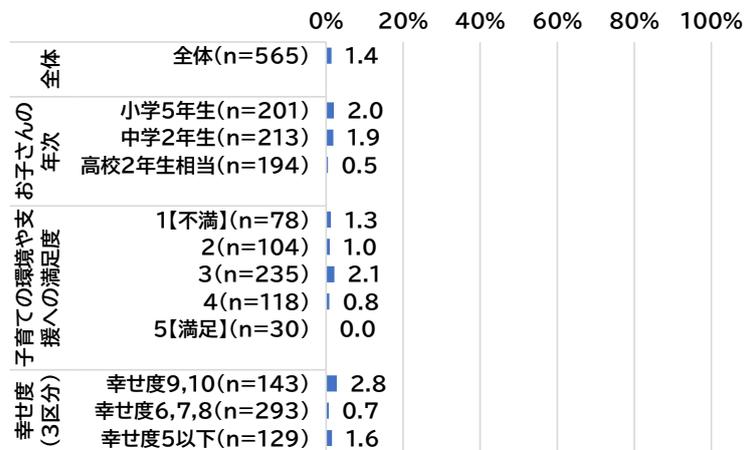
家族・親族



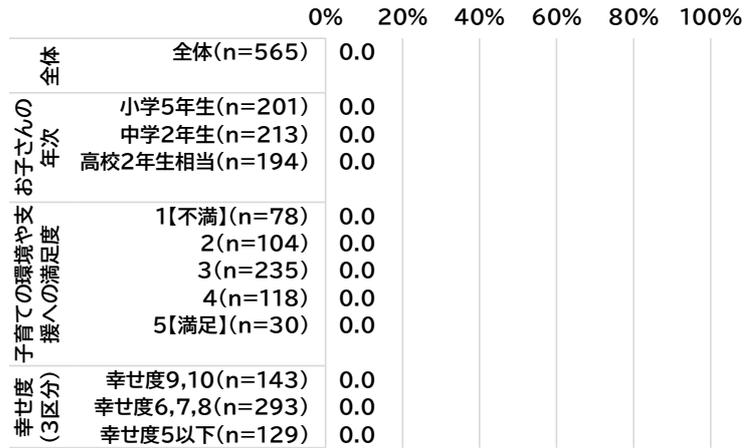
友人・知人



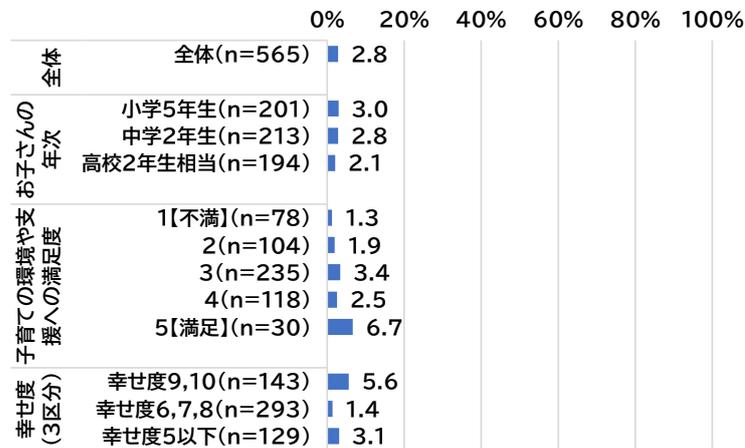
職場の人



学校の先生



相談・支援機関や福祉の人

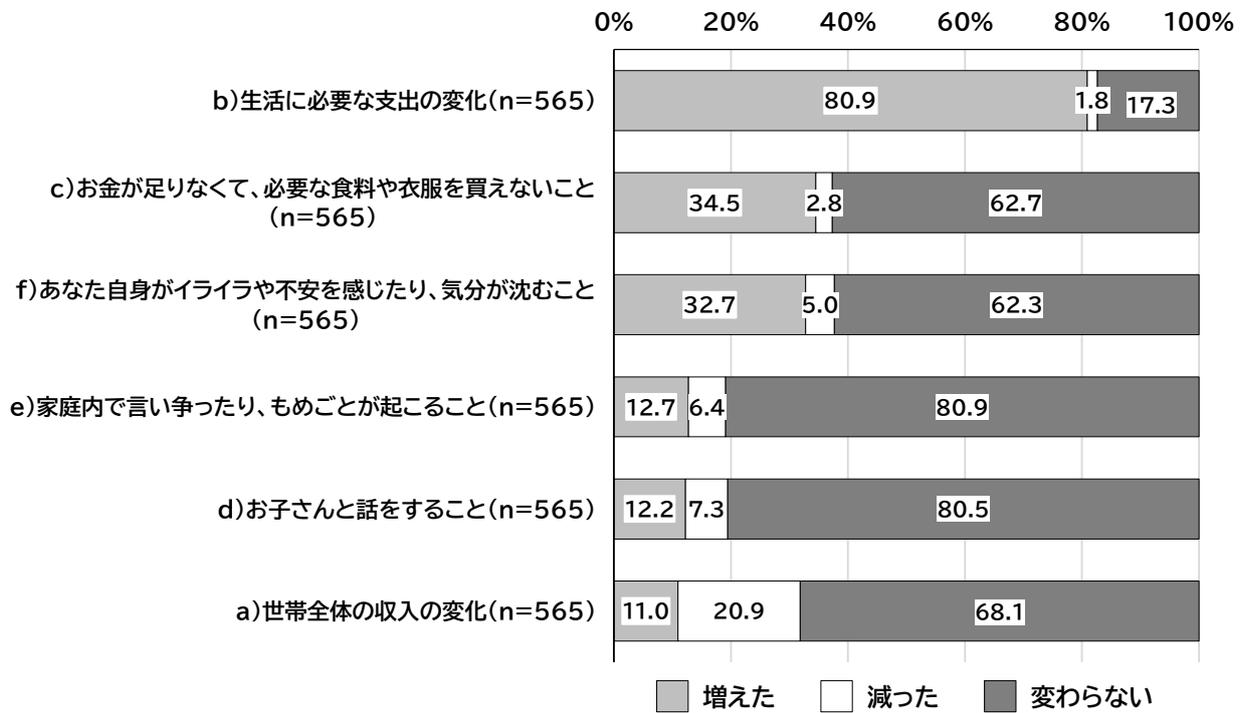


そのことでは人に頼らない



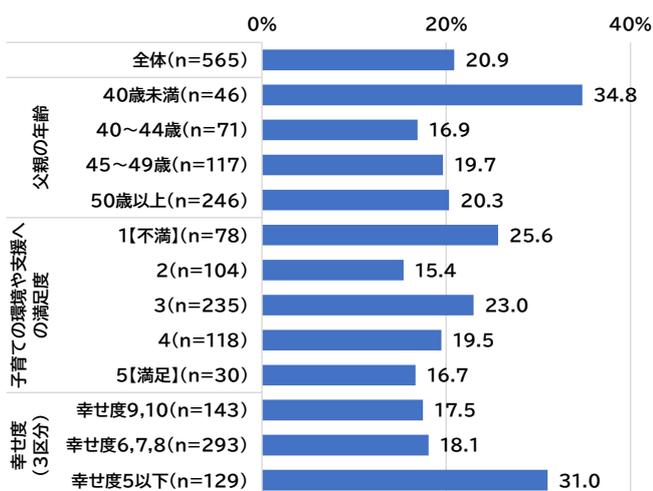
お金のことで頼らない割合がやや高いが、幸せ度の低い人ほど頼らない傾向

問 23 新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた現在のあなたの生活は、昨年(2022年7月頃)と比べて、どのように変わったと思いますか。

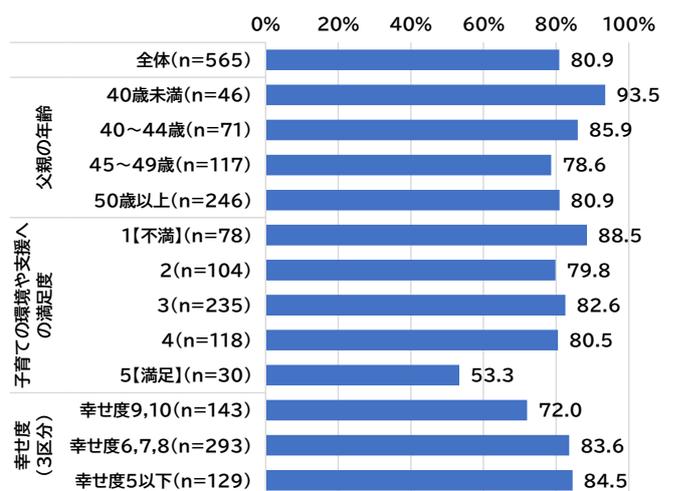


大きく変化しているのは「支出」→増えている
 その他は「変わらない」が6割以上
 「収入」は2割減っている

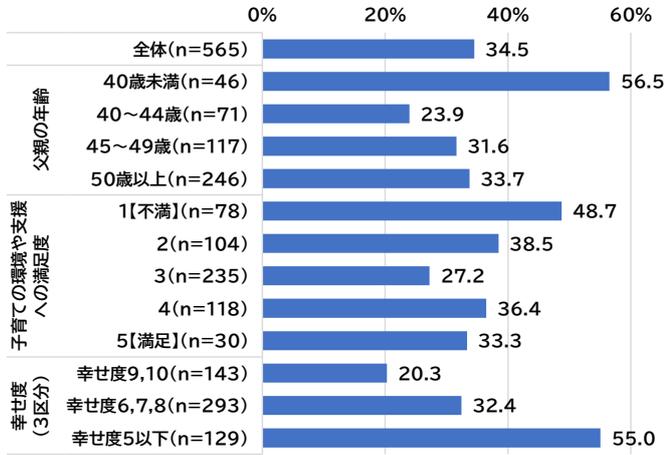
世帯全体の収入が減った



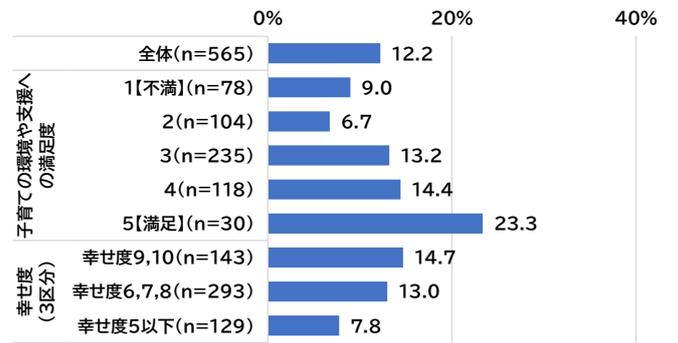
生活に必要な支出が増えた



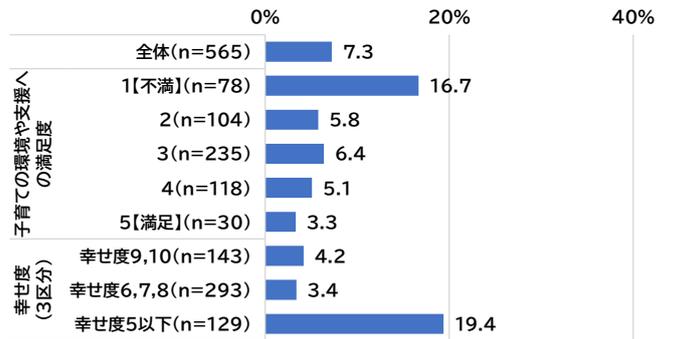
お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないことが増えた



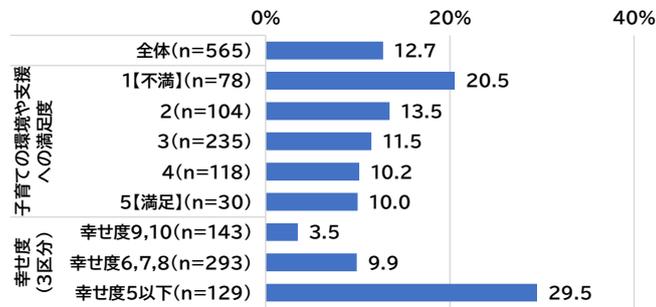
お子さんと話をすることが増えた



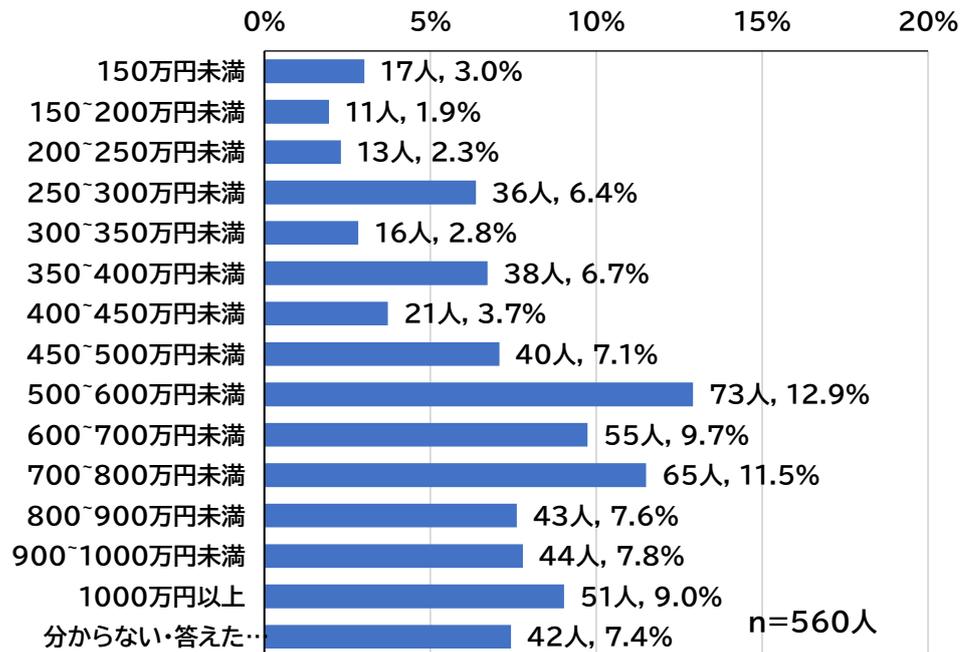
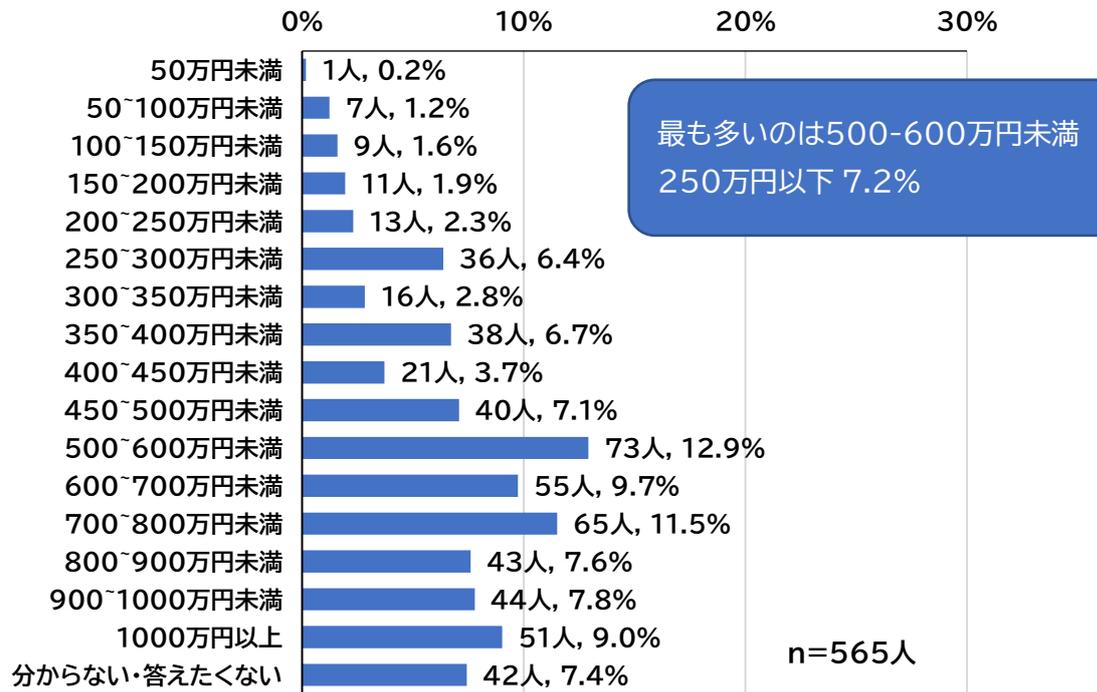
お子さんと話をすることが減った



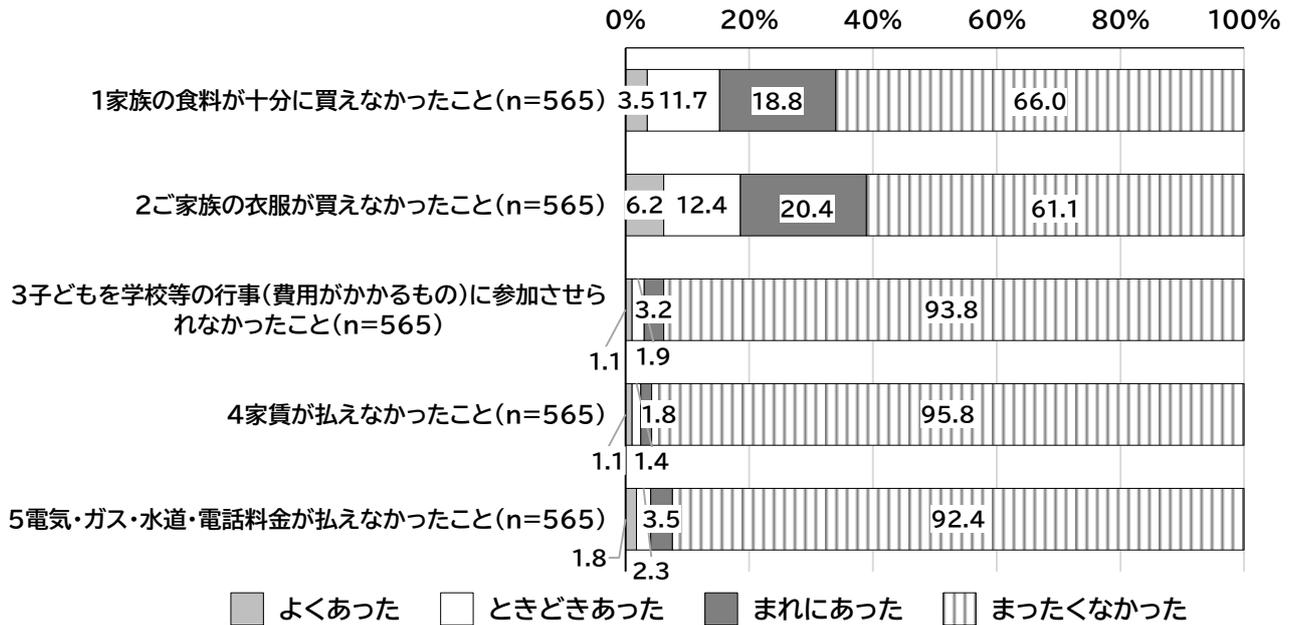
家庭内で言い争ったり、もめごとが増えた



問 24 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

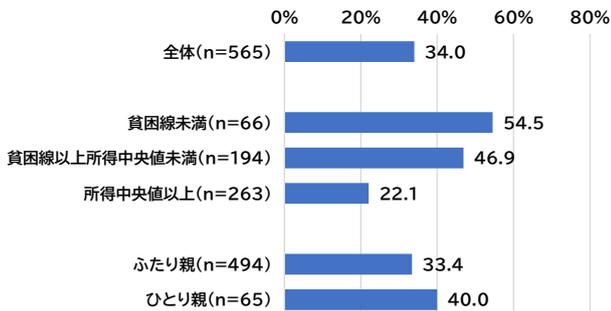


問 25 あなたの世帯では、過去一年間に、経済的な理由で次のようなことはありましたか。

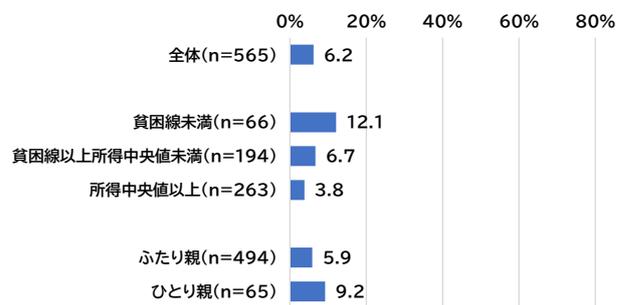


「食料」「衣服」が買えなかったことがあった割合が3割を超えている

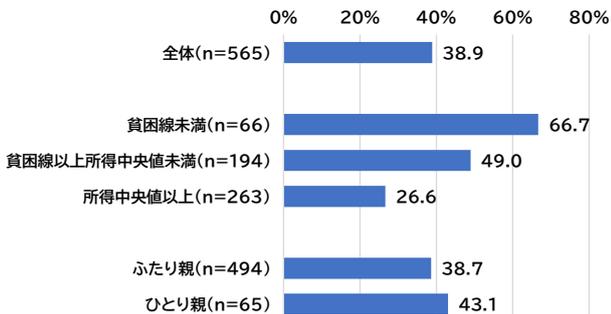
家族の食料が十分に買えなかったことがあった



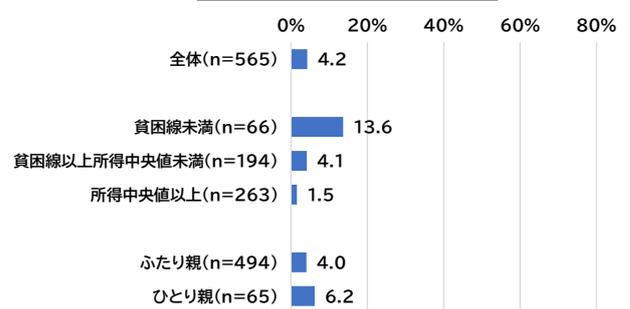
子どもを学校等の行事に参加させられなかったことがあった



家族の衣服が買えなかったことがあった



家賃が払えなかったことがあった



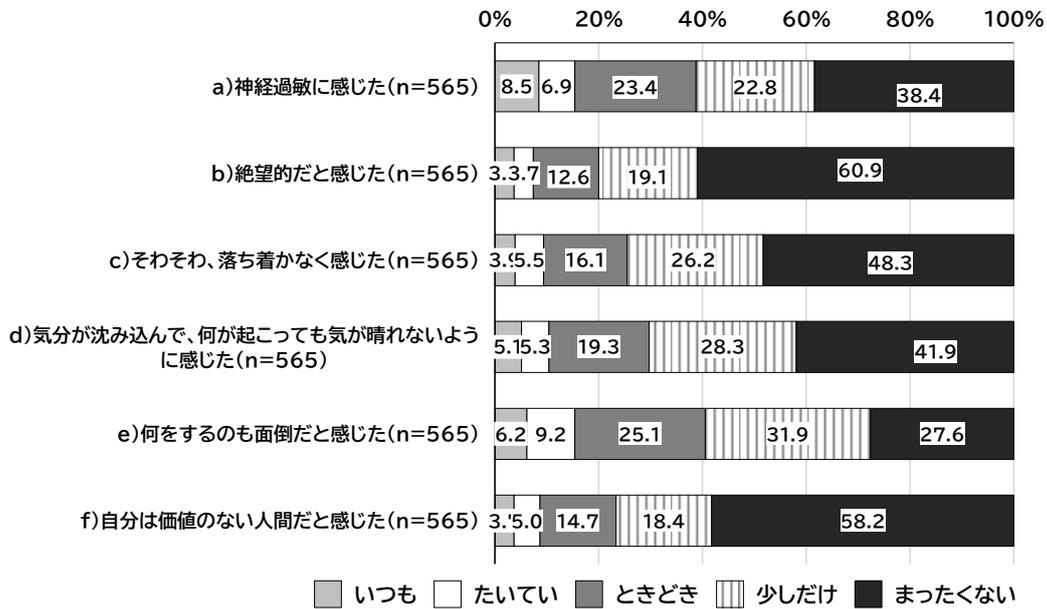
いずれも貧困線未満の割合が高いが、とくに、「食料」「衣服」が買えなかった割合が高く、「家賃」「電気・ガス・水道料金」が払えなかった割合はやや低い

→ “衣食住”で“住”が優先されている

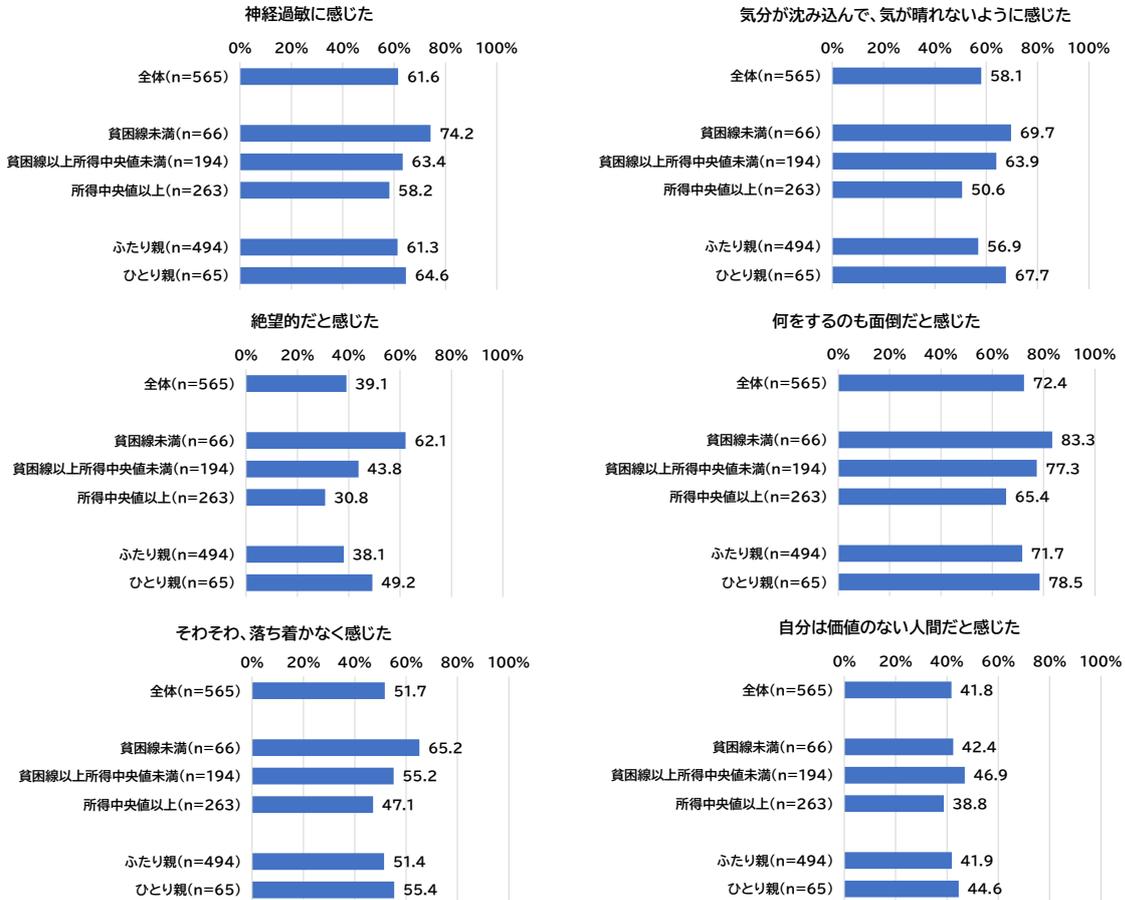
電気・ガス・水道・電話料金が払えなかったことがあった



問 26 この1ヶ月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。

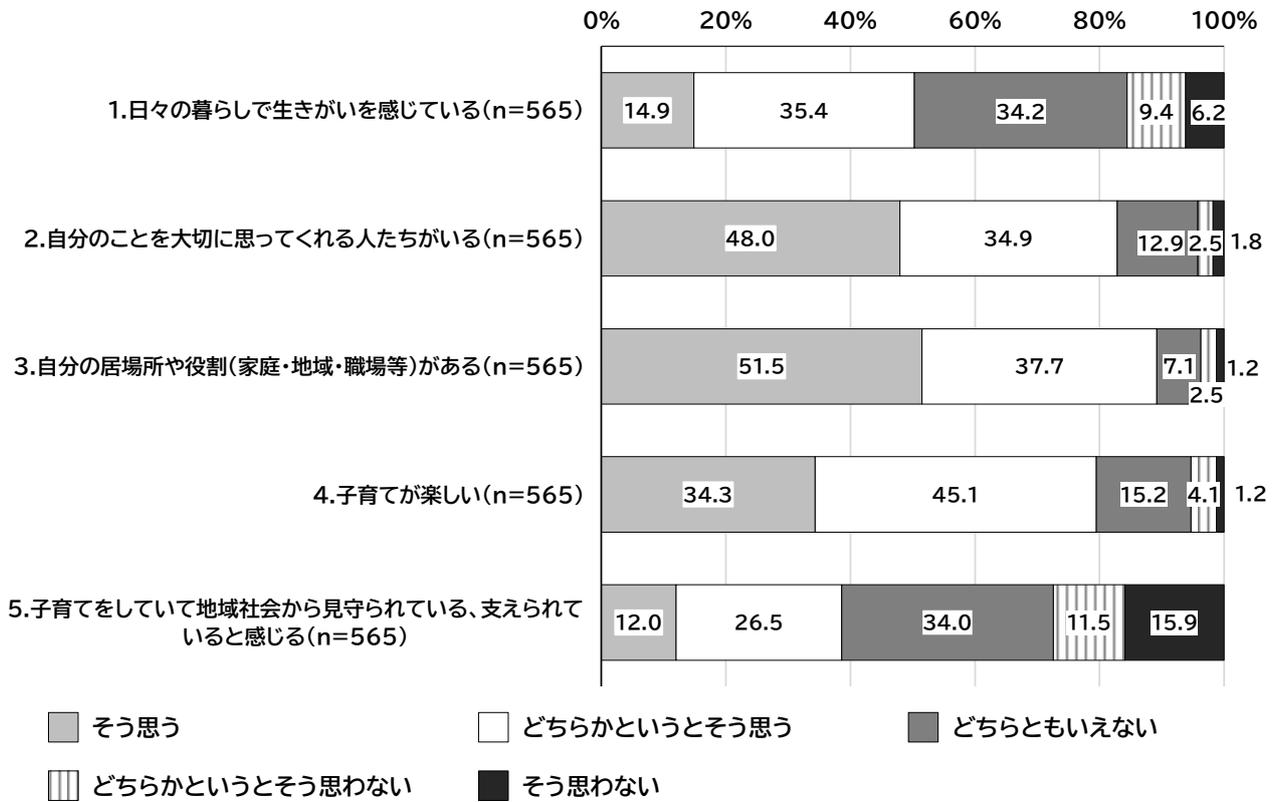


「まったくなかった」割合は最大でも6割
 「少しだけ」を含めると精神的不安定要素は4割～7割みられる



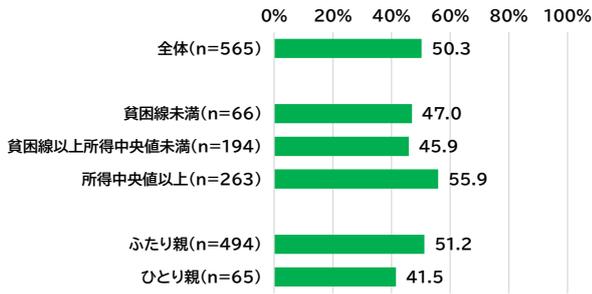
精神的不安定要素は貧困との関係は強くない

問 27 あなたの普段の生活の充実感・満足感をおたずねします。

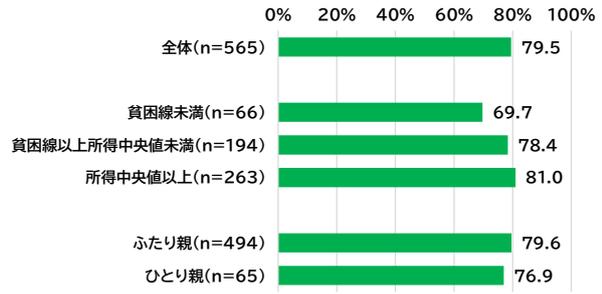


	そう思う どちらかというと思う	どちらかというと思わない そう思わない
生きがい	60.3%	15.6%
大切に思ってくれる人	82.9%	4.3%
自分の居場所	89.2%	3.7%
子育てが楽しい	79.4%	5.3%
地域社会から見守られている	38.5%	27.4%

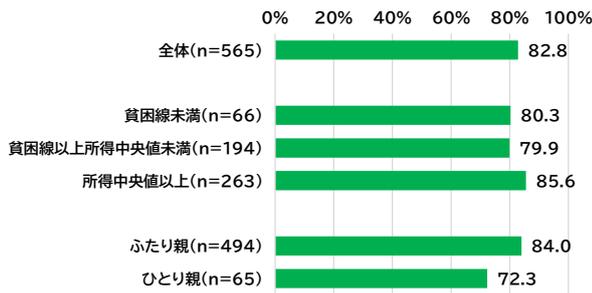
日々の暮らしで生きがいを感じている



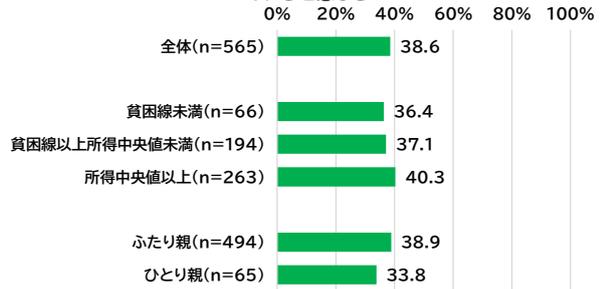
子育てが楽しい



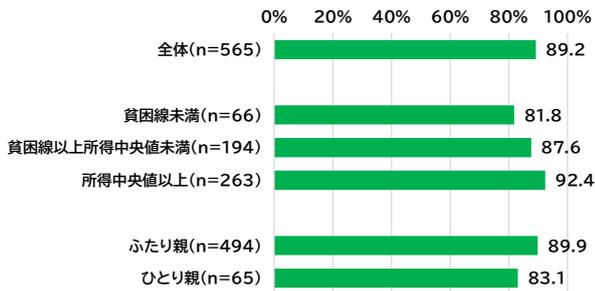
自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる



子育てをしていて地域社会から見守られている、支えられていると感じる

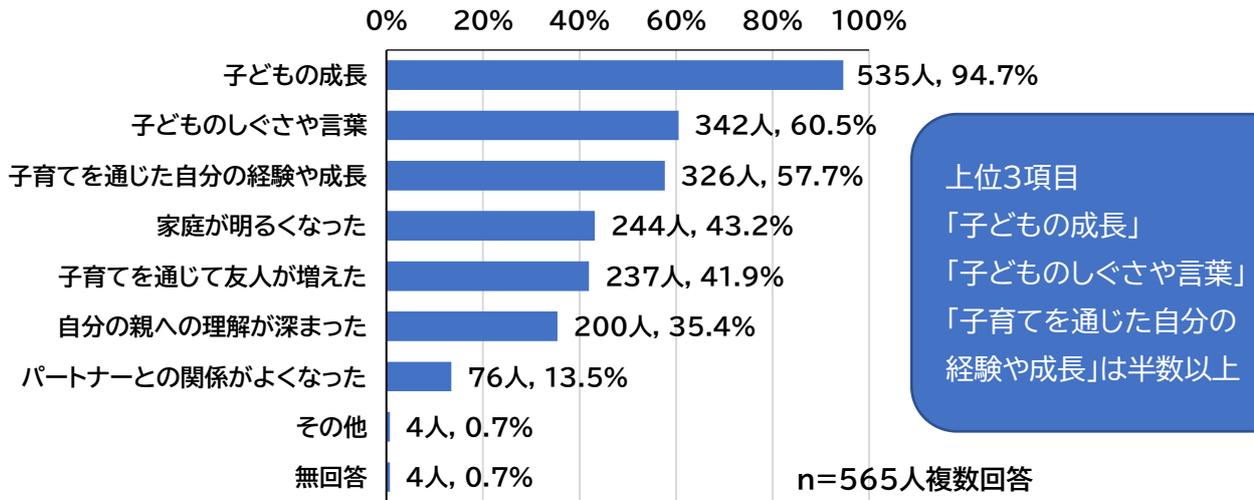


自分の居場所や役割(家庭・地域・職場等)がある

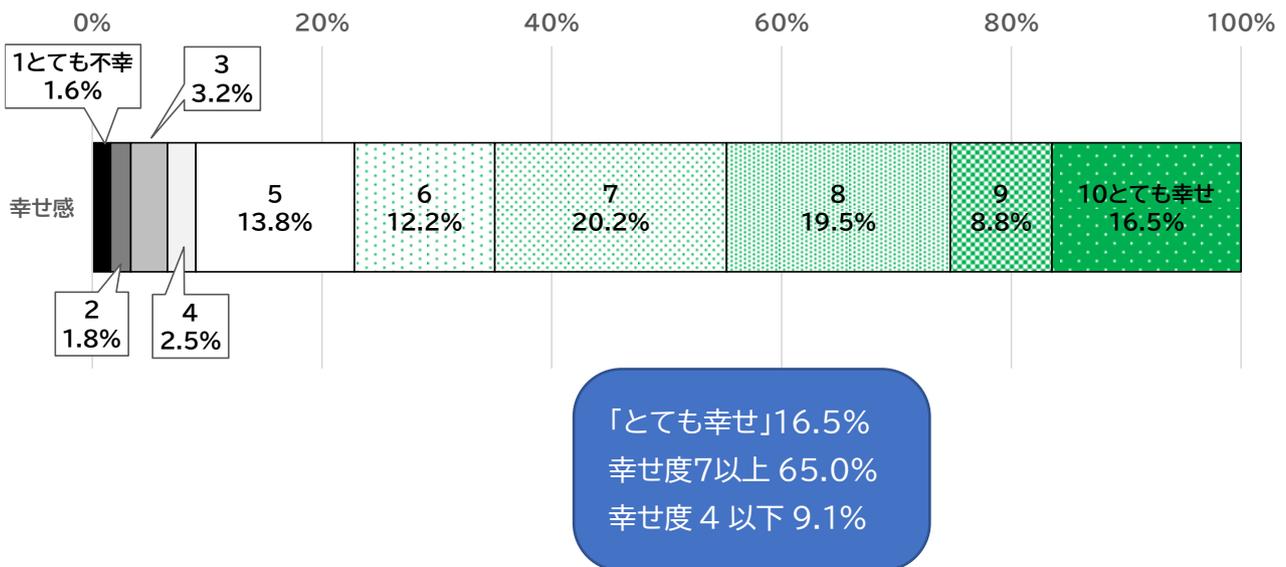


生活の充実感・満足感は貧困との関係は強くない
「日々の生きがい」「地域社会から見守られている」と感じている割合はいずれの層でもやや低い

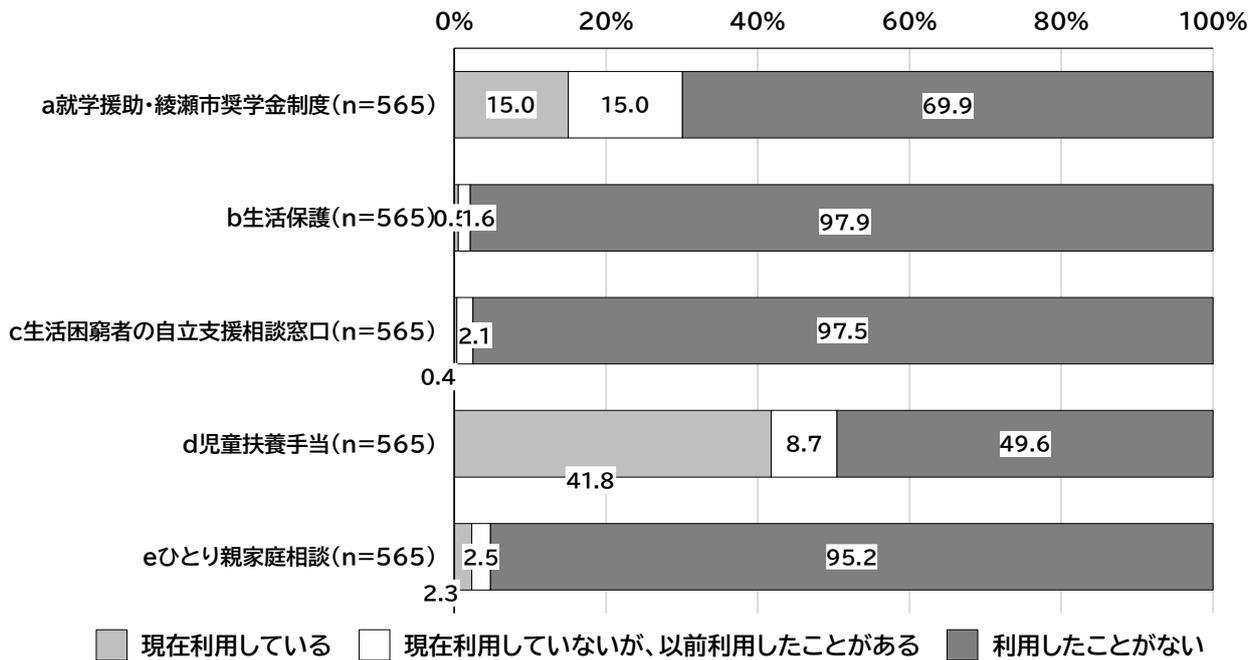
問 28 子育てをしてよかったこと、嬉しかったことは何ですか。



問 29 あなたは現在どの程度幸せだと感じていますか。

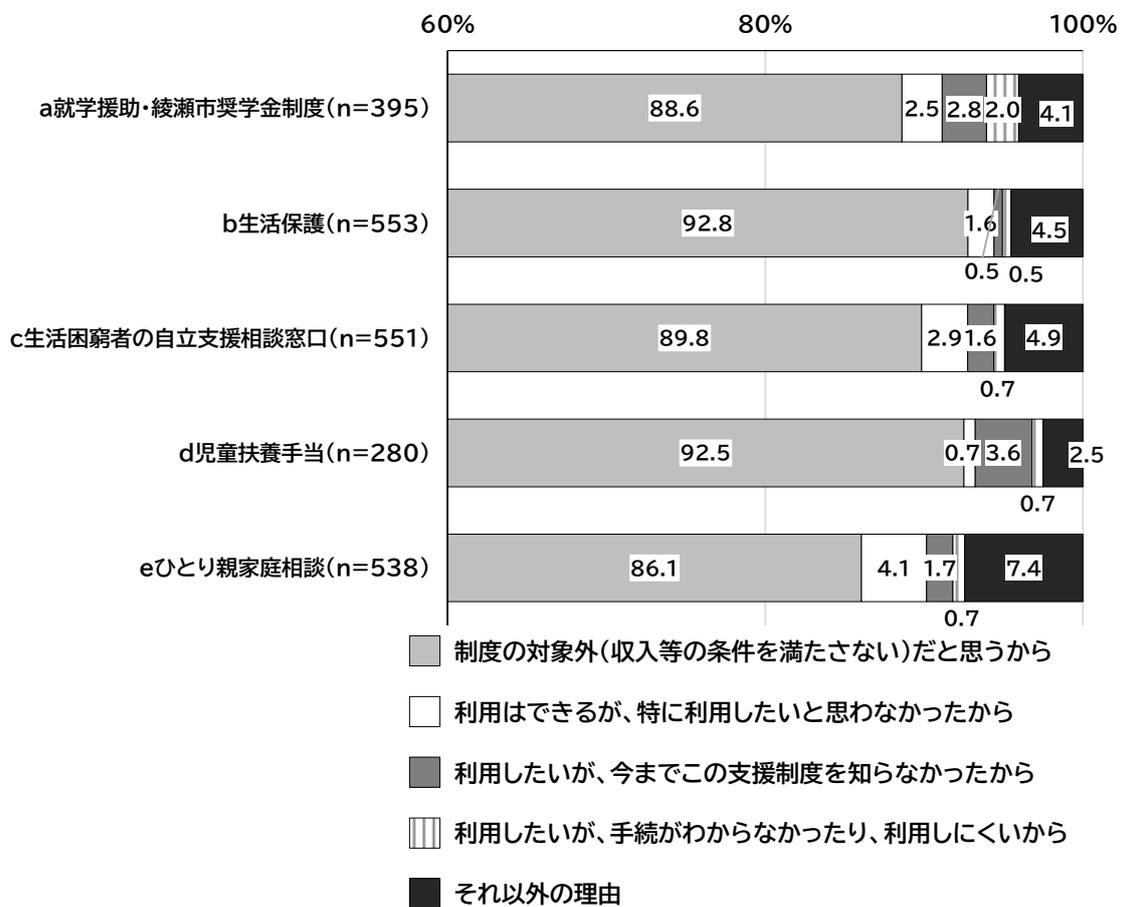


問 30 あなたはご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用した事がありますか。

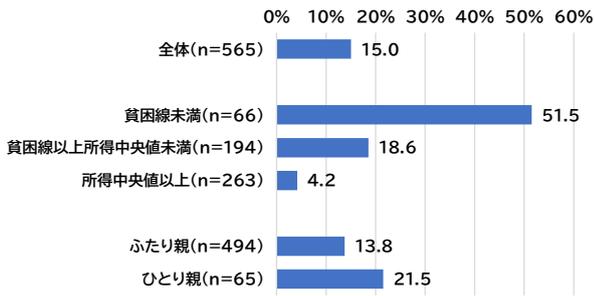


利用経験割合は「児童扶養手当」50.5%、
「就学援助・綾瀬市奨学金制」30.1%

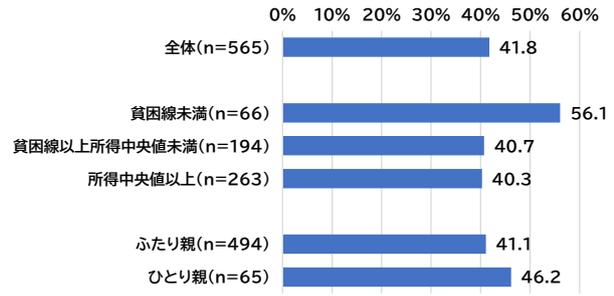
【利用しない理由】



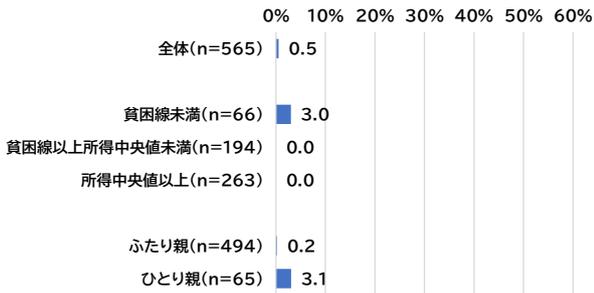
就学援助・綾瀬市奨学金制度



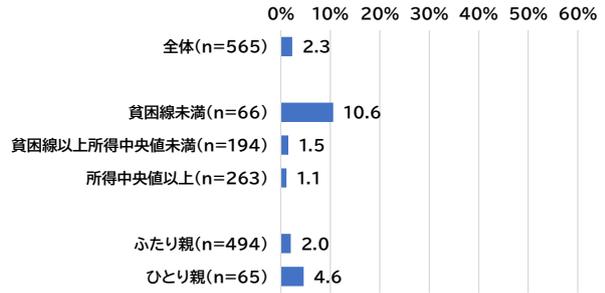
児童扶養手当



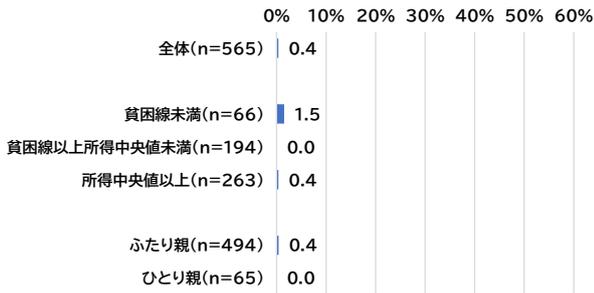
生活保護



ひとり親家庭相談

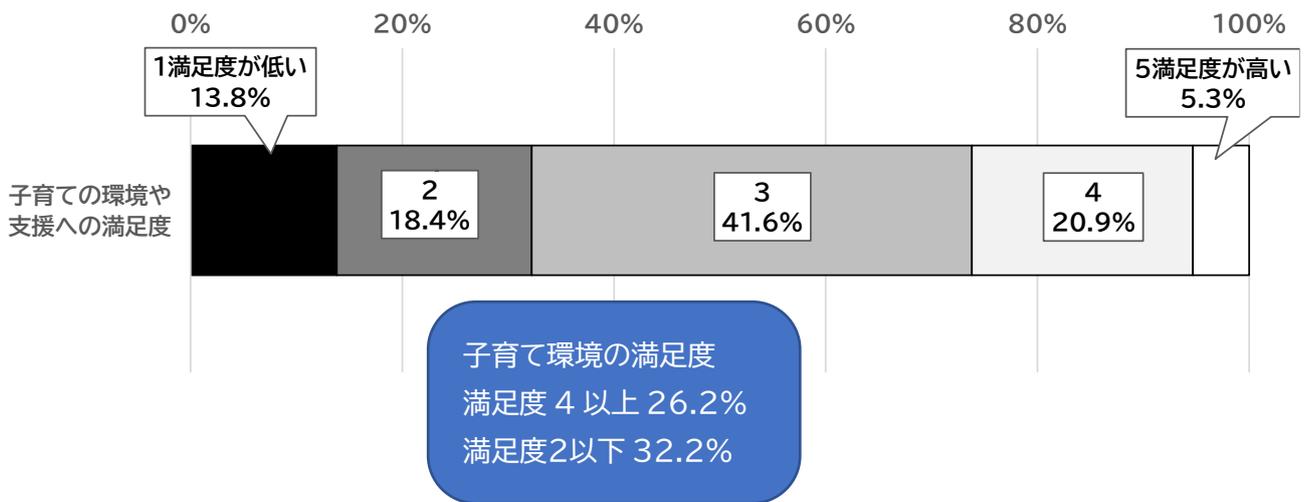


生活困窮者の自立支援相談窓口

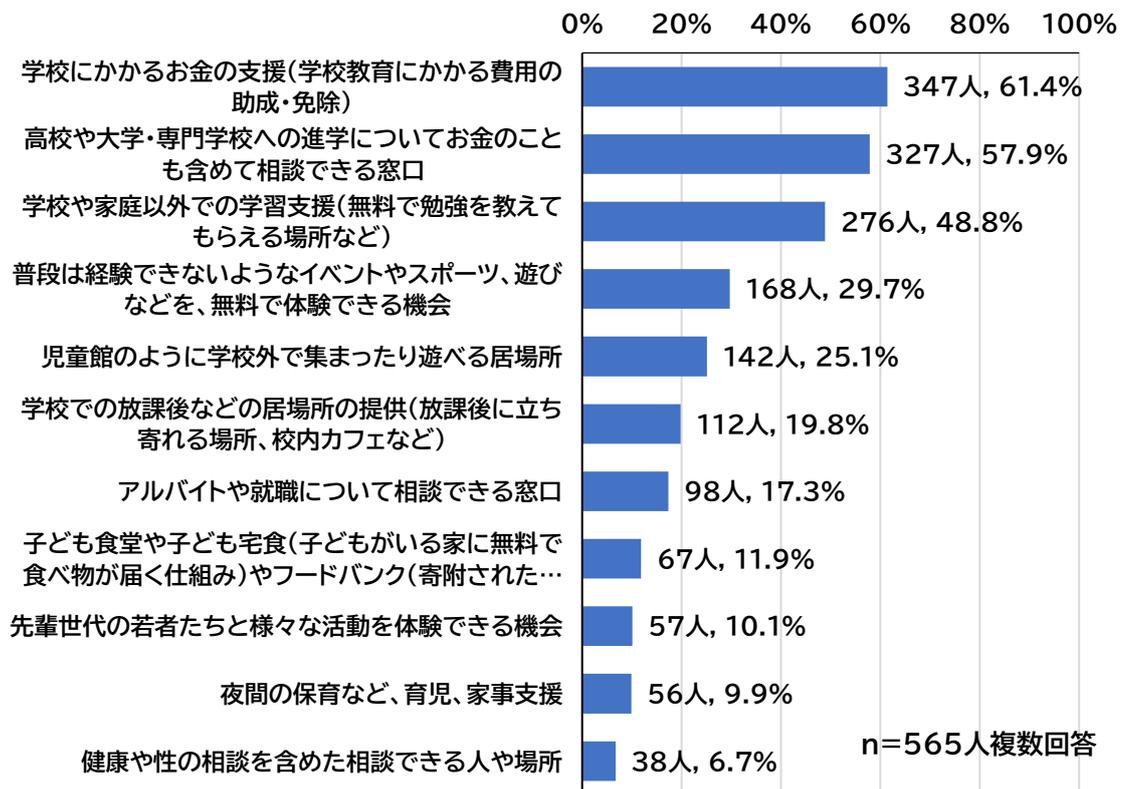


いずれの制度も貧困線未満の利用が多いが、
利用割合が高いのは、「児童扶養手当」と「就学
援助・綾瀬市奨学金制度」

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度



問 32 あなたやお子さんにとって、どのような支援が必要だと思いますか。(複数回答)



上位3項目(4割以上)
「学校教育の費用負担」61.4%
「進学相談窓口」57.9%
「学習支援」48.8%
いずれも費用負担と関係

		問32あなたやお子さんに必要な支援										
		高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口	アルバイトや就職について相談できる窓口	学校や家庭以外での学習支援	子ども食堂や子ども宅食やフードバンクなど、食に関する支援	児童館のように学校外で集まったり遊べる居場所	普段は経験できないようなイベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会	先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会	学校にかかるお金の支援(学校教育にかかる費用の助成・免除)	健康や性の相談を含めた相談できる人や場所	夜間の保育など、育児、家事支援	学校での放課後などの居場所の提供
	全体(n=565)	57.9	17.3	48.8	11.9	25.1	29.7	10.1	61.4	6.7	9.9	19.8
お子さんの年次	小学5年生(n=201)	45.8	7.5	55.2	14.4	40.3	35.8	5.5	50.7	7.0	10.4	25.9
	中学2年生(n=213)	62.9	16.4	47.4	8.9	21.1	31.9	12.7	62.0	6.6	10.3	17.4
	高校2年生相当(n=194)	64.9	27.8	42.8	13.4	13.4	24.2	11.9	71.1	7.7	8.8	13.4
問4母親の年齢(統合)	40歳未満(n=64)	45.3	18.8	57.8	17.2	31.3	25.0	9.4	64.1	1.6	15.6	12.5
	40~44歳(n=99)	59.6	17.2	52.5	8.1	29.3	31.3	11.1	53.5	5.1	7.1	25.3
	45~49歳(n=192)	63.0	18.2	49.0	12.5	25.0	28.1	7.3	65.6	6.8	7.8	16.7
	50歳以上(n=104)	55.8	17.3	46.2	11.5	19.2	32.7	17.3	58.7	4.8	10.6	22.1
父親の年齢	40歳未満(n=46)	32.6	17.4	52.2	17.4	37.0	32.6	4.3	78.3	0.0	8.7	17.4
	40~44歳(n=71)	50.7	14.1	56.3	11.3	26.8	36.6	12.7	53.5	1.4	12.7	23.9
	45~49歳(n=117)	61.5	19.7	48.7	8.5	30.8	28.2	8.5	58.1	11.1	6.8	17.9
	50歳以上(n=246)	60.6	17.9	44.3	10.6	23.6	30.1	12.2	59.3	7.7	9.3	22.0
子育ての環境や支援への満足度	1【不満】(n=78)	62.8	19.2	48.7	20.5	19.2	24.4	6.4	66.7	5.1	10.3	15.4
	2(n=104)	61.5	16.3	48.1	13.5	25.0	18.3	9.6	70.2	6.7	7.7	23.1
	3(n=235)	58.7	16.2	45.1	11.5	26.0	35.3	10.6	58.3	6.4	11.9	17.4
	4(n=118)	50.8	14.4	57.6	7.6	27.1	31.4	13.6	59.3	5.1	8.5	24.6
	5【満足】(n=30)	53.3	36.7	46.7	3.3	26.7	33.3	3.3	50.0	20.0	6.7	20.0
幸せ度(3区分)	幸せ度9,10(n=143)	48.3	15.4	46.2	9.1	34.3	35.0	13.3	51.0	9.1	11.9	25.2
	幸せ度6,7,8(n=293)	57.3	14.7	49.5	12.3	25.3	32.8	9.6	62.8	5.5	9.2	19.5
	幸せ度5以下(n=129)	69.8	25.6	50.4	14.0	14.7	17.1	7.8	69.8	7.0	9.3	14.7
所得分類	貧困線未満(n=66)	62.1	24.2	48.5	22.7	19.7	25.8	6.1	63.6	4.5	9.1	10.6
	貧困線以上所得中央値未満(n=194)	65.5	19.1	52.6	9.3	19.6	26.8	9.8	69.6	6.2	6.7	13.4
	所得中央値以上(n=263)	52.5	15.6	46.0	9.9	30.4	33.1	10.6	56.3	8.0	12.5	24.7
家庭類型	ふたり親(n=494)	57.3	17.6	48.8	11.7	26.5	30.4	10.1	62.1	5.3	9.7	19.4
	ひとり親(n=65)	61.5	16.9	46.2	13.8	13.8	24.6	10.8	55.4	18.5	12.3	23.1

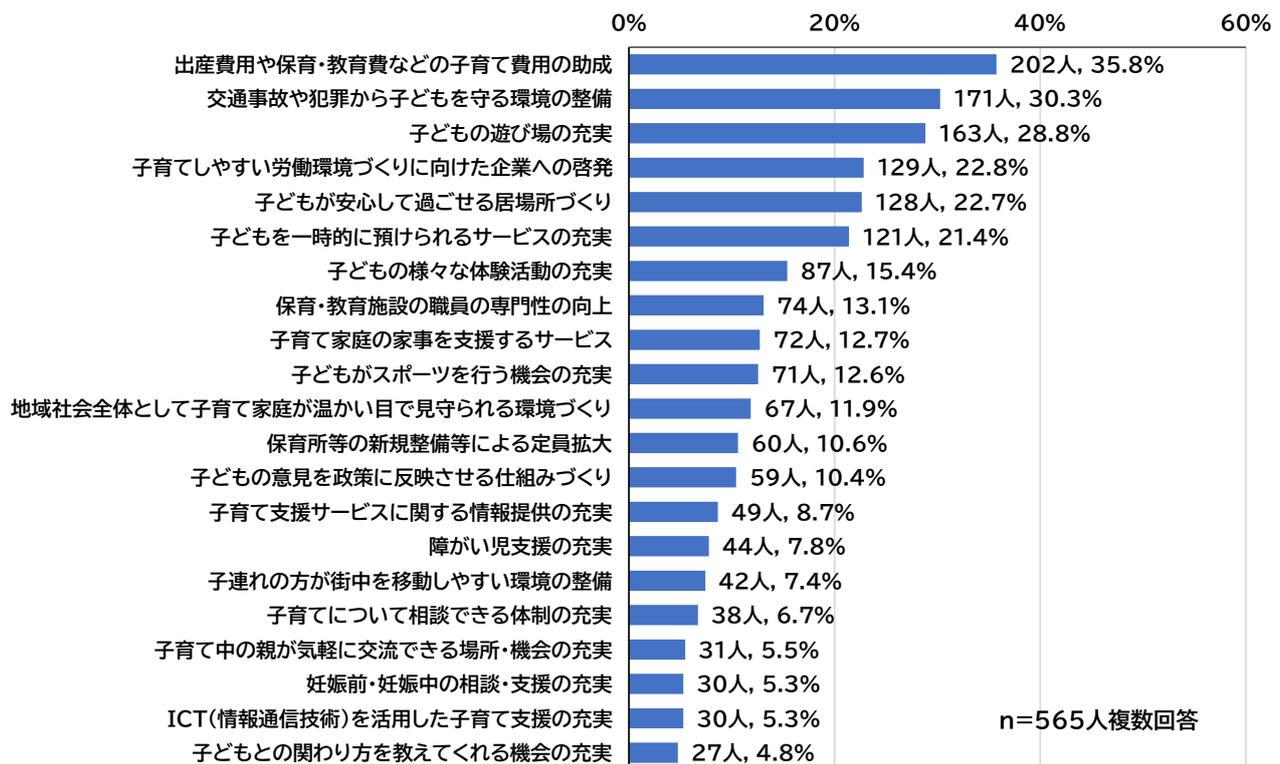
第1位の項目

- 【お子さんの年次】小学生「学習支援」、中学生「進学相談窓口」、高校生「お金の支援」
- 【母親の年齢】40-44歳「進学相談窓口」、その他の年齢「お金の支援」
- 【父親の年齢】40歳未満「お金の支援」、40-44歳「学習支援」、45歳以上「進学相談窓口」
- 【子育ての満足度】不満「お金の支援」、満足「進学相談窓口」
- 【幸せ度】【所得分類】「お金の支援」
- 【家庭類型】ひとり親「進学相談窓口」、ふたり親「お金の支援」

特徴的な項目(全体より10ポイント以上高い)

- 【お子さんの年次】小学生「遊びの居場所」、高校生「アルバイト・就職相談」
- 【父親の年齢】40歳未満「お金の支援」、「遊びの居場所」
- 【子育ての満足度】満足「アルバイト・就職相談」、「健康や性の相談」
- 【幸せ度】幸せ度5以下「お金の支援」、「進学相談窓口」
- 【所得分類】貧困線未満「食に関する支援」
- 【家庭類型】ふたり親「健康や性の相談」

問 33 今後、子育て支援の充実に向けて、どのようなことを望みますか。(複数回答)



上位 6 項目(2 割以上)

- 「子育て費用助成」
- 「交通安全の環境整備」
- 「子どもの遊び場」
- 「子育てしやすい労働環境づくり」
- 「子どもの居場所づくり」
- 「子どもを一時的に預けられるサービス」

問 34 あったらいいと思う支援(具体的に)

152人の方から186件の意見をいただきました。

意見内容	件数
経済的支援(うち教育関連)	35
経済的支援	32
遊び場、公園、居場所	17
障害児、発達障害支援	13
移動支援	9
学習環境改善、教育内容の充実	7
不登校生徒の支援	7
学童、放課後デイ、プラザ等	6
長期、臨時の預け先	5
経済的支援(うち低所得者への支援)	4
防犯対策	4
一人親への支援	3
多世代交流	3
公共交通	3
道路、歩道	3
家庭のトラブル、DV	3
イベントの開催、周知	3
子育て相談	3
まちづくり	3
PTA負担軽減	2
手続き、窓口	2
病児保育	2
部活への支援	2
就労支援	2
国際交流、留学支援	2
高校の義務教育化	2
給食の充実	1
職場環境の改善	1
医療	1
図書館	1
商業施設	1
その他	4
合計	186

問34の「あったらいいと思う支援」の自由記述について、意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 経済的支援(うち教育関連)について

- ・育児にかかる費用は一般家庭と言われても正直厳しいので、大学進学にかかる費用の助成などを拡充して欲しい。
- ・家庭の経済状況に関係なく、子どもがやりたいこと(勉強、部活動、習い事など)ができるといいと思います。
- ・給食費の無償化、制服体操服の無償貸与、ランドセルの無償貸与など、義務教育で必要な費用の無償化。
- ・大学高校と年齢が上がれば上がる程お金の助成が必要だと感じる。もっと大学、高校に目を向けた支援が欲しい。
- ・塾代支援があったら助かります。

⇒ これまでの児童手当や医療費助成などの子育て支援が0歳から中学生までを対象としていたため、高校生や大学生などに対する支援を求める声があります。

(本市では、令和5年度にこども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大したほか、国全体としても令和6年度から児童手当を18歳まで拡大するなど、高校生を持つ保護者への支援は拡充します。)

2 経済的支援について

- ・お金がとにかく足りない。低所得者にばかり支援して中途半端な中間層は生きにくい。
- ・物価高騰や、教育費などで生活はギリギリ。余裕がないので何かしら援助があれば良いと思います。
- ・収入に関わらず。子供の学費援助。多子世帯の援助。上の子が大人になっていくと援助額が減るのはおかしい。

⇒ 昨今の経済状況を鑑み、「生活が苦しい」という意見が多く、これまでの数年間実施されていた低所得世帯への給付金の対象とならなかった中間層からも、経済的支援を求める声があります。

3 遊び場、公園、居場所について

- ・ボールを使用することが出来る大きな公園や広場の整備。
- ・雨の日に予約なしでも子供が動いて遊べる室内の広場が欲しい。
- ・夏休みの遊び場。下の子が小学生ですが、夏は公園で遊んでおいでとは、とても言えないような暑さなので。
- ・放課後に球技遊びができる広場が学区内にあると良い。

⇒ こどもからの意見と同様に、自由に使える広場・公園を求める声や、室内の遊び場を求める声があります。

調査結果からみた綾瀬市こどもの生活状況の特性

(1) こどものアンケートから

【学校の授業や勉強、将来について】

学校の授業以外での勉強

- ・8割のこどもは、ふだんの学校の授業以外での勉強をしている
- ・年次が高くなるほどその割合は減少している

学校の授業以外での勉強の仕方

- ・自分で勉強する割合が高いが、塾を利用しているこどもが4割いる
- ・男女で比較すると、男子は女子より“塾で勉強する”割合が高く、女子は男子より“自分で勉強する”“友達と勉強する”割合が高い
- ・“自分で勉強する”以外では、小学生は“家の人に教えてもらう”、中学生は“塾で勉強する”、高校生は“友達と勉強する”割合が高い

学校の授業以外での勉強の時間

- ・学校がある日では、学年があがるほど学校の授業以外の1時間以上の勉強時間は長くなる傾向があり、小学生に比べると、中学生・高校生の勉強時間は長い
- ・学校がない日では、学校がある日に比べると勉強時間は短くなる傾向だが、高校生は2時間以上勉強する割合が高くなっている
- ・学校の授業以外に1時間以上勉強するこどもは、学校がない日も1時間以上勉強している

学校の授業以外での勉強の時間と成績

- ・学校の授業以外の勉強時間、学校がない日の勉強時間が2時間以上のこどもの成績は「やや上の方」、「上の方」の割合が高く、学校の授業以外の勉強時間の長さは、成績にも影響している

学校の授業でわからないこと

- ・「教科によってはわからないことがある」を含めると、学校の授業で“わからないことがある”と回答したこどもの割合は45.9%と半数近くになり、“いつ頃からわからなくなったか”では、小学校から中学に進んだ段階で授業がわからなくなる割合が高い

将来の進学意向

- ・大学進学希望が56%と半数以上を占め、保護者アンケートの回答では父親、母親共に高卒が最も多かった点、希望の学校に行きたい理由を持つこどもが6割を超え、その理由で最も多かったのが「希望する学校や職業があるから」であることなどから、目的意識を持った高学歴が指向されている

【高校生の通学状況】

- ・高校生の通学状況・高校に通っている人の75%は進学したかった学校であり、進学したかった学校とは別の学校に通っている人の主な理由は“成績”であり、家庭の経済状況から希望の学校に行けなかった人は極めて少なかった

【学校以外の普段の生活】

- ・学校以外の地域の活動、部活動への参加率は74%と高く、男子では小学生・中学生、女子では中学生の参加率が高い一方、小学生の女子、高校生の男女の参加率はやや低くなっている
- ・参加していない理由では「入りたいクラブ・部活動がないから」が半数を占め、家庭の経済状況で参加出来ない割合は13%であった
- ・食事は、朝食を取らないこどもが約1割いて、高校生の女子でその割合が高い

【生活環境や考え方】

- ・困っていることや悩みごとを相談できる人がいない、相談したくないこどもは17%であり、幸せ度が低い(5以下)こどもでその割合が高い
- ・生活の充実度5項目(頼れる人がいる、居場所がある、大切に思ってくれる人がいる、やりたいことができている、楽しく過ごしている)はいずれも“充実している”(「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計)とする割合が8割を超えているが、とくに「頼れる人がいる」、「大切に思ってくれる人がいる」、「居場所がある」の対人関係面での生活の充実度はかなり高く、「やりたいことができている」、「楽しく過ごしている」という個人的な生活の充実度はやや低い
- ・幸せ度と生活の充実度の関係では、幸せ度の低い人(幸せ度5以下)で生活の充実度のいずれの項目でも“そう思わない”の割合が高く、とくに、「日々の暮らしを楽しく過ごしていると思わない」(29.4%)、「自分のやりたいことができていると思わない」(23.5%)の割合が高い
- ・考え方の設問では、思いやり、やさしさ、助け合い、手伝いなど、ポジティブな指標である“人との関係性”は良好だが、不安、心配、落ち込む、人を避けるなど、ネガティブな指標である“個人の精神面”はやや問題があり、幸せ度別にみても、ポジティブな指標では大きな差はないが、ネガティブな指標では幸せ度の低い層の割合が高い傾向にある

【生活の困難さや支援について】

- ・家族の世話をしている子どもの割合が1割みられ、障害や病気、アルコール・薬物・ギャンブル問題等を抱える家族など、若者にとってかなり困難な状況に置かれていることが推察される
- ・こどものためのサービス施設の利用実績・利用意向は低いが、利用したこどものうち3割は変化があったとしており、変化の内容には、「友だちが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」など、対人関係促進の要素が含まれている点は注目すべきである
- ・求められている支援の上位の項目は、「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」、「学校にかかるお金の支援(奨学金制度や学校教育にかかる費用の免除・助成)」、「アルバイトや就職について相談できる窓口」であり、目の前の課題よりも、進学、就職を見据えた将来の支援を求めている

こどものアンケートから得られる示唆

学校の授業以外での学習支援

- ・子ども達は授業以外でもよく勉強しており、塾の利用も多いが、「自分で勉強する」、「友達と勉強する」割合も学年があがるほど高い傾向がみられることから、学校の授業以外で学習を支援する場と機会の提供を検討する必要がある

進級の切れ目の学習支援

- ・小学校から中学校に進んだ段階で「学校の授業でわからないこと」がある割合が高い傾向がみられることから、学年の変わり目、学校の変わり目における学習支援の方法を検討する必要がある

将来の進学を見据えた職業紹介、職業経験の場

- ・「希望する学校や職業があるから」の割合が比較的高く、目的意識を持った高学歴が指向されていることから、どのように希望する学校や職業を選択しているかはあきらかではないが、選択肢の幅を広げるべく、職業紹介の機会、職業経験の場の提供を検討する必要がある

高校選択の要因把握

- ・進学したかった学校とは別の学校に通っている人の主な理由は“成績”であり、家庭の経済状況から希望の学校に行けなかった人は極めて少なかったが、理由の“成績”の背景にも経済的要素が含まれている可能性があり、高校選択の理由、要因のさらなる把握が求められる

地域活動の多様化方策の検討

- ・小学生の女子、高校生の男女の学校以外の地域の活動、部活動への参加率はやや低く、その理由が「入りたいクラブ・部活動がないから」が半数を占め、家庭の経済状況で参加出来ない割合も 13%であったことから、自主的な活動の支援、地域活動の多様化にむけた支援等の検討が求められる

思春期の健康管理

- ・朝食を食べないこどもが1割見られ、高校生の女子にその割合が高く、思春期のダイエット指向等が影響している可能性があり、思春期の健康管理対策が必要である

精神面の貧困への影響に留意

- ・経済面での貧困が目立ちがちであるが、生活の充実度、幸せ度の低い要因にネガティブな精神面の要素が影響していることが見て取れ、その要因としては他人との関係性が大きく影響していることから、対人関係の充実に向けた対応を検討する必要がある

若者向け公共施設のあり方検討

- ・若者が利用可の名公共施設の利用割合は高くないが、利用した人の3割は“変化があった”としており、変化の内容には、「友だちが増えた」、「気軽に話せる大人が増えた」など、対人関係促進の要素が含まれ

ている点に注目し、公共施設が利用されにくい要因の把握と、利用促進の方向を検討すべきである

ヤングケアラー対策

- ・家族の世話をしている子どもの割合が1割みられ、障害や病気、アルコール・薬物・ギャンブル問題等を抱える家族など、若者にとってかなり困難な状況に置かれていることが推察され、これらヤングケアラーの実態の把握と困難さを解消する方向の検討が必要である

進学・就職を見据えた相談及び支援の充実

- ・求められている支援の上位の項目は、「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」、「学校にかかるお金の支援(奨学金制度や学校教育にかかる費用の免除・助成)」、「アルバイトや就職について相談できる窓口」であり、目の前の課題よりも、進学、就職を見据えた将来の支援を求めていることから、進学・就職を見据えた相談及び支援の充実が必要である

(2) 保護者アンケートから

【回答者の属性から】

- ・親の婚姻状況で、離婚、死別、未婚で片親と考えられる世帯が1割見られ、このうち離婚で、離婚相手から養育費を受け取っているのは3割で、7割は養育費を受け取っていない
- ・保護者の卒業・終了した学校で、母親も父親も最も多かったのは高校卒であった

【就労状況】

- ・母親の就労状況で、「働いていない」は18.4%で、就学前児童調査(令和5年綾瀬市こども子育てニーズ調査<就学前児童調査>--以下同様)の34.1%と比べると少ない
- ・就労している母親の就労状況では、パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員が51.7%と半数以上を占めており、就学前児童調査のパート・アルバイト27.2%に比べると多い
- ・父親の非正規就業は2.9%、「働いていない」は1.2%みられた

【お子さんとの関わり】

- ・0~2歳の間は「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が7割と多く、3~5歳の間は「認可保育所・認定保育園」似通っていた割合が9割と多い
- ・「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」割合は59.8%、年次が上がるにつれてその割合は減少し、こどもの自主性に任せるようになっている
- ・「授業参観や運動会などの学校の行事」への参加率は、「ときどき参加している」を含めれば97%と高いのに対して、「PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティア」への参加率は77%とやや低い
- ・将来の進学先に関しては、こどもの希望という理由が半数を占め、大学進学を考えている人が半数以上を占めている
- ・高校に通っている人の81%は進学したかった学校であり、進学したかった学校とは別の学校に通っている人の主な理由は“学力”であり、家庭の経済状況から希望の学校に行けなかった人は極めて少なかった

【生活や暮らしの状況】

生活のゆとり

- ・生活や暮らしのゆとりについての設問では、時間的、経済的、精神的いずれも5割前後は「ふつう」と回答しており、「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”割合は時間的14.9%、精神的16.6%に比べて経済的なゆとりの割合は10%と低い
- ・「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた“苦しい”では、経済的に“苦しい”割合が46%と、時間的32%、精神的30%に比べて高い
- ・幸せ度が低い人(5以下)では、経済的に苦しい割合が7割を超えとくに高いが、時間的、精神的にも苦しい割合の方が高い
- ・経済的なゆとりのなさは、所得分類の相対的貧困の視点で見ると、貧困線前後の差よりも所得中央値前後の差が顕著である

頼れる人

- ・子育てに関する相談、重要な事柄の相談、いざという時のお金の相談、いずれも「家族・親族」の割合が高く、子育てに関する相談では「友人・知人」の割合も60%と高く、いざという時のお金の相談では「そのことでは人に頼らない」の割合が20.7%みられた

コロナ後の変化

- ・新型コロナウイルス感染拡大期と比べた生活の変化で、大きく変化しているのは「生活に必要な支出の変化」であり、その他の項目では「変わらない」が6割以上である
- ・新型コロナウイルス感染拡大期と比べた生活の変化を幸せ度別にみると、幸せ度5以下で、「世帯全体の収入が減った」、「お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないことが増えた」、「お子さんと話をするのが減った」、「家庭内で言い争ったり、もめ事が起こることが増えた」の割合が高くなっており、経済的要因のみならず、精神的、時間的ゆとりのなさが幸せ度を低下させている

経済的な理由でできなかったこと

- ・経済的な理由でできなかったことでは、いずれも貧困線未満の割合が高いが、とくに、「食料」「衣服」が買えなかったことがあった割合が5割を超えているが、「学校行事に参加させられなかった」、「家賃が払えなかった」、「電気・ガス・水道、電話料金が払えなかった」割合はやや低く、低所得層で“衣食住”のうち“住”が優先されていることがわかる

この1ヶ月間のあなたの気持ち

- ・精神的な負担の状況では、「全くなかった」割合が5割を超えているのは、「絶望的だと感じた」、「自分は価値のない人間だと感じた」だけであり、「少しだけあった」を含めると、精神的不安定要素は4割～7割みられ、貧困層区分による差はみられるものの、差はそれほど大きくはないことから、精神的不安定要素の貧困との関係は強くない

生活の充実感・満足感

- ・普段の生活の充実感・満足感では、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた“そう思う”割合は、「自分の居場所や役割(家庭・地域・職場等)がある」、「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる」、「子育てが楽しい」、「日々の暮らしで生きがいを感じている」、「子育てをされていて地域社会から見守られている、支えられていると感じる」の順であり、就学前児童調査と同じ傾向を示しているが、「日々の暮らしで生きがいを感じている」では就学前児童調査と比べると“そう思う”割合が低い
- ・普段の生活の充実感・満足感は貧困との関係は強くなく、「日々の生きがい」「地域社会から見守られている」と感じている割合はいずれの層でもやや低い

子育てをしてよかったこと、うれしかったこと

- ・「子育てをしてよかったこと、うれしかったこと」では、「子どもの成長」、「子どものしぐさや言葉」、「子育てを通じた自分の経験や成長」は半数以上で感じており、就学前児童調査と同じ傾向を示しているが、「子どものしぐさや言葉」の割合は就学前児童調査と比べると低くなっている

各種支援制度の利用

- ・各種支援制度の利用では、いずれの制度も貧困線未満の利用が多いが、利用割合が高いのは、「児童扶養手当」と「就学援助・綾瀬市奨学金制度」である

子育て環境の満足度

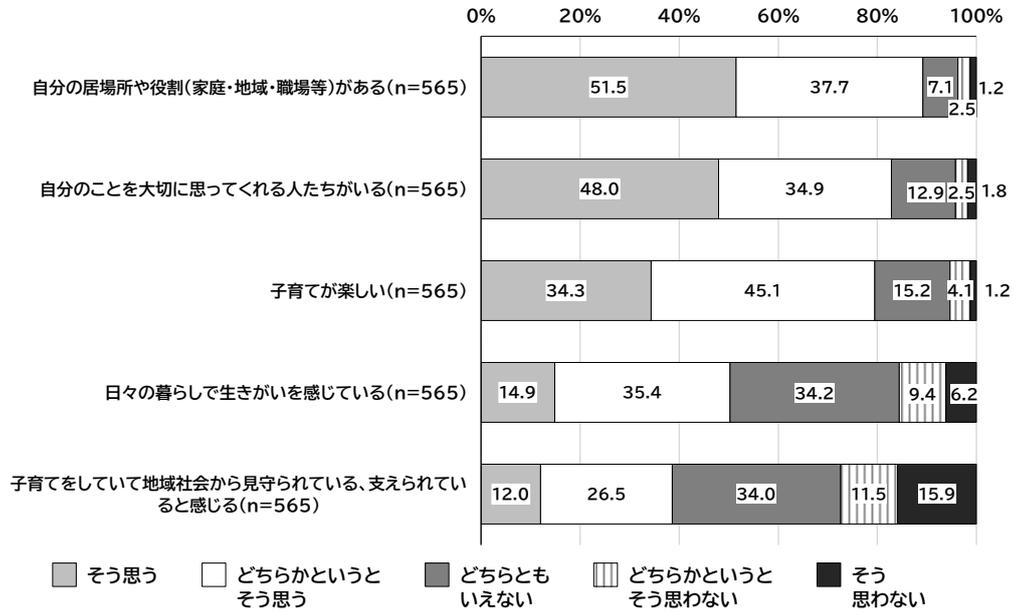
- ・子育て環境の満足度では、満足度3をどちらともいえないと見ると、満足している(満足度4以上)26.2%、満足していない(満足度2以下)32.2%で満足していない方がやや高く、この傾向は就学前児童調査と同様である

お子さんにとって必要な支援

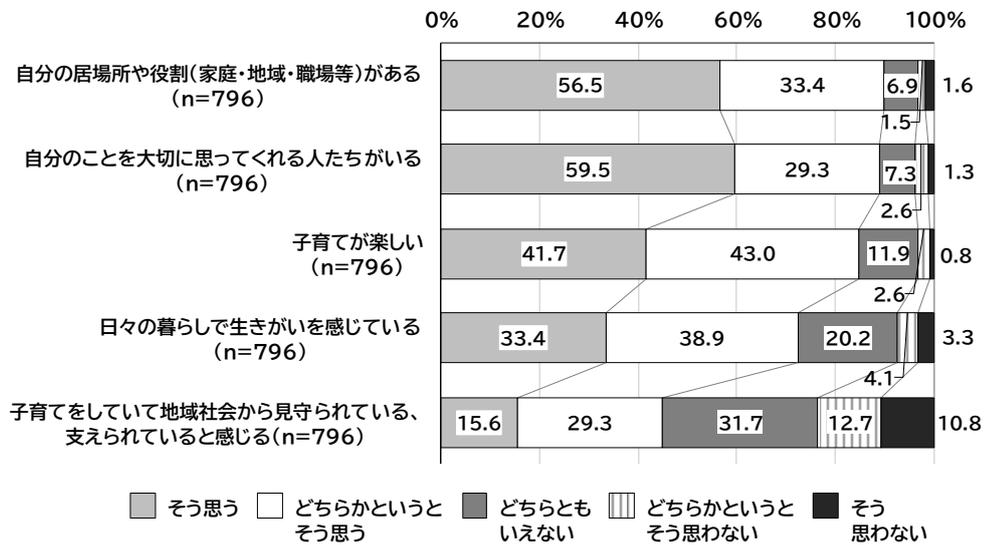
- ・お子さんにとって必要な支援では、「学校にかかるお金の支援(学校教育にかかる費用の助成・免除)」61.4%、「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」57.9%、「学校や家庭以外での学習支援(無料で勉強を教えてもらえる場所など)」48.8%が上位3項目で4割以上が回答しており、いずれも費用負担と関係する項目である

普段の生活の充実感・満足感

こどもの生活状況調査(保護者)



こども子育てニーズ調査 (就学前児童)



保護者のアンケートから得られる示唆

ひとり親家庭への経済的支援

- ・離婚で、離婚相手から養育費を受け取っているのは3割で、7割は養育費を受け取っていないことから、養育費確保の為に法的整備、ひとり親家庭への経済的支援が求められる

非正規就業への支援

- ・働いている母親の半数以上が非正規就業であることから、安定した所得の確保に向けた正規就業支援や所得支援、所得税控除等の対策が求められる

高校選択の要因把握

- ・こどもの調査でもあきらかになったように、進学しなかった学校とは別の学校に通っている人の主な理由は“学力”であり、家庭の経済状況から希望の学校に行けなかった人は極めて少なかったが、理由の“学力”の背景にも経済的要素が含まれている可能性があり、高校選択の理由、要因のさらなる把握が求められる

貧困世帯への経済的支援

- ・貧困世帯に区分される層では、「学校行事に参加させられなかった」、「家賃が払えなかった」、「電気・ガス・水道、電話料金が払えなかった」割合はやや低いものの、「食料」「衣服」が買えなかったことがあった割合が5割を超えており、かなり苦しい状況がみてとれることから、何らかの経済的支援が必要である

生活の充実感・満足感向上に向けた対人関係構築方策

- ・生活のゆとりの無さは、経済的側面はもちろんであるが、精神的な側面も大きく影響しており、貧困家庭でなくても精神的に問題を抱えると、生活の充実感、満足感は低下している。その要因としては、「自分の居場所や役割(家庭・地域・職場等)がある」、「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる」等の対人関係が大きいですが、「地域社会から見守られている」と感じている割合は低いことから、ささえあい、見守りなど地域福祉の視点から地域における子育て支援の充実方策を検討する必要がある

費用負担の軽減策

- ・お子さんにとって必要な支援では、「学校にかかるお金の支援(学校教育にかかる費用の助成・免除)」、「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」、「学校や家庭以外での学習支援(無料で勉強を教えてもらえる場所など)」など、費用負担と関係する項目が上位に位置しており、子育て、教育に関わる負担軽減の取組みの検討が求められている